

大学番号：010

注3

事前伺い

[令和元年度設置]

計画の区分：研究科の専攻の設置又は課程の変更

注1

東北大学大学院 文学研究科  
日本学専攻、広域文化学専攻及び総合人間学専攻

注2

【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人東北大学  
令和元年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 総務企画部法務・コンプライアンス課

職名・氏名 課長 <sup>キムラ</sup>木村 <sup>クニイチ</sup>賢一  
法規係長 <sup>クドウ</sup>工藤 <sup>ジュンペイ</sup>淳平

電話番号 022-217-4809

（夜間） 022-217-4809

F A X 022-217-6068

e-mail hosei@grp.tohoku.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に  
( )書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成31年4月2日付事務連絡「履行状況報告書の提出について  
(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

## 文学研究科

＜日本学専攻＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	8
3. 施設・設備の整備状況、経費	16
4. 既設大学等の状況	17
5. 教員組織の状況	24
6. 附帯事項等に対する履行状況等	45
7. その他全般的事項	46

＜広域文化学専攻＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	49
2. 授業科目の概要	56
3. 施設・設備の整備状況、経費	66
4. 既設大学等の状況	67
5. 教員組織の状況	74
6. 附帯事項等に対する履行状況等	97
7. その他全般的事項	98

＜総合人間学専攻＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	101
2. 授業科目の概要	108
3. 施設・設備の整備状況、経費	116
4. 既設大学等の状況	117
5. 教員組織の状況	124
6. 附帯事項等に対する履行状況等	145
7. その他全般的事項	146

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

国立大学法人東北大学

## (2) 大学名

東北大学大学院

## (3) 調査対象大学等の位置

〒980-8576  
宮城県仙台市青葉区川内27番1号  
(〒980-8577  
宮城県仙台市青葉区片平2丁目1番1号)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(オオノ ヒデオ) 大野 英男 (平成30年4月)		
研究科長	(モリモト コウイチ) 森本 浩一 (平成29年4月)		
専攻長	(オオコウチ ショウ) 大河内 昌 (平成31年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。  
(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)  
令和元年度に報告する内容 → (元)
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
  - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
  - ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合（令和元年度までの5年間）ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
文学研究科 日文学専攻 (博士前期課程) 修士(文学) 修士(学術)	文学関係	2年	29人	— 年次人	58人	基礎となる学部等 文学部

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和元年度		令和2年度		平均入学定員 超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	29 ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	1.13倍	—	
志願者数	43 (0) [13]	— (—) [—]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]			
受験者数	41 (0) [13]	— (—) [—]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]			
合格者数	34 (0) [12]	— (—) [—]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]			
B 入学者数	33 (0) [11]	— (—) [—]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]			
入学定員超過率 B/A	1.13						

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ ( )内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和元年度		令和2年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	33 [ 11 ] ( - )	— [ - ] ( - )	[ ] ( )	[ ] ( )	
2年次	/		[ ] ( )	[ ] ( )	
計	33 [ 11 ] ( - )		[ ] ( )		

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和元年度	33 人	0 人	令和元年度	0 人	0 人	
令和2年度	人	人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
合計		0 人		0 人	0 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
  - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
  - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
  - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(0人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{33} = \boxed{0} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{0} \%$$

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合（令和元年度までの5年間）ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
文学研究科 日本文学専攻 (博士後期課程) 博士（文学） 博士（学術）	文学関係	3年	14人	— 年次人	42人	基礎となる学部等 文学部

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区分	令和元年度		令和2年度		令和3年度		平均入学定員 超過率	開設年度から報告 年度までの平均 入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	14 (—) [—]		( ) [ ]		( ) [ ]		1.42倍	—	
志願者数	27 ( 0 ) [ 16 ]	— (—) [—]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]			
受験者数	26 ( 0 ) [ 16 ]	— (—) [—]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]			
合格者数	20 ( 0 ) [ 13 ]	— (—) [—]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]			
B 入学者数	20 ( 0 ) [ 13 ]	— (—) [—]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]			
入学定員超過率 B/A	1.42								

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ ( ) 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和元年度		令和2年度		令和3年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	20 [ 13 ] ( - )	- [ - ] ( - )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	
2年次	/		[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	
3年次	/		/		[ ] ( )	[ ] ( )	
計	20 [ 13 ] ( - )		[ ] ( )		[ ] ( )		

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。



(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和元年度	20 人	0 人	令和元年度	0 人	0 人	
令和2年度	人	人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
令和3年度	人	人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
合計		0 人		0 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{20} = \boxed{0} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{0} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

## 2 授業科目の概要

<文学研究科 日文学専攻 博士前期課程>

### (1) ① 授業科目表

#### 【事前伺い時】

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼任	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
総合科目	日文学総合科目Ⅰ	1前	2			5	7					
	日文学総合科目Ⅱ	1後	2			7	9					兼1
	広域文化学総合科目Ⅰ	1前		2								兼13
	広域文化学総合科目Ⅱ	1後			2							兼3
	総合人間学総合科目Ⅰ	1前		2								兼7
	総合人間学総合科目Ⅱ	1後			2							兼4
	小計(6科目)	—	4	4	4	7	9					兼24
特論	現代日文学芸分析特論Ⅰ	1前		2		1						
	現代日文学芸分析特論Ⅱ	1後		2								兼1
	現代日文学歴史分析特論Ⅰ	1前		2			1					
	現代日文学社会分析特論Ⅰ	1後		2			1					
	現代日文学日本哲学特論Ⅰ	1前		2								兼1
	現代日文学研究特論Ⅰ	1前		2		1						
	日本思想史特論Ⅰ	1前		2			1					
	日本思想史特論Ⅱ	1後		2			1					
	日本比較思想史特論Ⅰ	1前		2			1					
	日本文化思想史特論Ⅰ	1後		2								兼1
	日本語構造特論Ⅰ	1前		2			1					
	日本語構造特論Ⅱ	1後		2								兼1
	日本語変異論特論Ⅰ	1前		2			1					
	日本語変異論特論Ⅱ	1後		2			1					
	日本語学特論Ⅰ	1前		2								兼1
	日本語教育学特論Ⅰ	1前		2				1				
	日本語教育学特論Ⅱ	1後		2								兼1
	日本語教育学特論Ⅲ	1後		2								兼1
	日本文芸形成論特論Ⅰ	1前		2			1					
	日本文芸形成論特論Ⅱ	1後		2			1					
	日本文芸形成論特論Ⅲ	1前		2				1				
	日本文学形成論特論Ⅳ	1前		2				1				
	日本古代・中世史特論Ⅰ	1前		2				1				
	日本古代・中世史特論Ⅱ	1後		2				1				
	日本近世・近代史特論Ⅰ	1前		2				1				
	日本近世・近代史特論Ⅱ	1後		2				1				
	日本史特論Ⅰ	1前		2								兼1
	日本史特論Ⅱ	1後		2				1				
	史料学Ⅰ	1前		2				1				
	史料学Ⅱ	1後		2					1			
	考古学特論Ⅰ	1前		2					1			
	考古学特論Ⅱ	1後		2					1			
	考古学特論Ⅲ	1前		2								兼1
	考古学特論Ⅳ	1後		2								兼1
	文化財科学特論Ⅰ	1前		2								兼1
	文化財科学特論Ⅱ	1後		2								兼1
	東洋文化学特論Ⅱ	1後		2								兼6
	西洋文化学特論Ⅰ	1前		2								兼1
小計(38科目)	—		76		7	9					兼18	

#### 【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・ 兼任	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
総合科目	日文学総合科目Ⅰ	1前	2			8	4					兼1
	日文学総合科目Ⅱ	1後	2			11	5					兼1
	広域文化学総合科目Ⅰ	1前		2								兼15
	広域文化学総合科目Ⅱ	1後			2							兼3
	総合人間学総合科目Ⅰ	1前		2								兼7
	総合人間学総合科目Ⅱ	1後			2							兼8
	小計(6科目)	—	4	4	4	11	5					兼29
特論	現代日文学芸分析特論Ⅰ	1前		2		1						
	現代日文学芸分析特論Ⅱ	1後		2								兼1
	現代日文学歴史分析特論Ⅰ	1前		2				1				
	現代日文学社会分析特論Ⅰ	1後		2				1				
	現代日文学日本哲学特論Ⅰ	1後		2								兼1
	現代日文学研究特論Ⅰ	1後		2			1					
	日本思想史特論Ⅰ	1後		2				1				
	日本思想史特論Ⅱ	1前		2			1					
	日本比較思想史特論Ⅰ	1後		2								兼1
	日本文化思想史特論Ⅰ	1前		2						1		
	日本語構造特論Ⅰ	1前		2					1			
	日本語構造特論Ⅱ	1前		2								兼1
	日本語変異論特論Ⅰ	1前		2			1					
	日本語変異論特論Ⅱ	1後		2			1					
	日本語学特論Ⅰ	1前		2								兼1
	日本語教育学特論Ⅰ	1後		2				1				
	日本語教育学特論Ⅱ	1前		2					1			
	日本語教育学特論Ⅲ	1後		2								兼1
	日本文芸形成論特論Ⅰ	1後		2			1					
	日本文芸形成論特論Ⅱ	1後		2			1					
	日本文芸形成論特論Ⅲ	1前		2				1				
	日本文学形成論特論Ⅳ	1前		2								兼1
	日本古代・中世史特論Ⅰ	1前		2					1			
	日本古代・中世史特論Ⅱ	1後		2								兼1
	日本近世・近代史特論Ⅰ	1後		2					1			
	日本近世・近代史特論Ⅱ	1前		2					1			
	日本史特論Ⅰ	1前		2								兼1
	日本史特論Ⅱ	1前		2								兼1
	史料学Ⅰ	1前		2					1			
	史料学Ⅱ	1後		2						1		
	考古学特論Ⅰ	1後		2						1		
	考古学特論Ⅱ	1後		2						1		
	考古学特論Ⅲ	1前		2								兼1
	考古学特論Ⅳ	1前		2								兼1
	文化財科学特論Ⅰ	1前		2								兼1
	文化財科学特論Ⅱ	1後		2								兼1
	東洋文化学特論Ⅱ	1後		2								兼3
	西洋文化学特論Ⅰ	1前		2								兼1
小計(38科目)	—		76		11	8			1		兼17	

総合演習	現代日本学総合演習 I	1前	2	1	2			兼1
	現代日本学総合演習 II	1後	2	1	2			兼1
	日本思想史総合演習 I	1前	2		1			
	日本思想史総合演習 II	1後	2		1			
	日本語学総合演習 I	1前	2	2	1			
	日本語学総合演習 II	1後	2	2	1			
	日本語学総合演習 III	1前	2	2	1			
	日本語学総合演習 IV	1後	2	2	1			
	日本語教育学総合演習 I	1通	2		1			兼1
	日本語教育学総合演習 II	2通	2		1			兼1
	日本文学総合演習 I	1前	2	1	1			
	日本文学総合演習 II	1後	2	1	1			
	小計 (12科目)	—	24	4	6			兼2
研究演習	現代日本学芸分析研究演習 I	1前	2	1				兼1
	現代日本学歴史分析研究演習 I	1後	2		1			
	現代日本学社会分析研究演習 I	1前	2		1			
	日本思想史研究演習 I	1前	2		1			
	日本思想史研究演習 II	1後	2		1			
	日本語構造論研究演習 I	1前	2			1		
	日本語構造論研究演習 II	1後	2			1		
	日本語変異論研究演習 I	1前	2	1				
	日本語変異論研究演習 II	1後	2	1				
	日本語変異論研究演習 III	1前	2	1				
	日本語教育方法論研究演習 I	1前	2		1			
	日本語教育方法論研究演習 II	1前	2		1			
	日本語教育方法論研究演習 III	1前	2		1			
	日本語教育学研究演習 I	1後	2		1			
	日本語教育学研究演習 II	1後	2		1			
	日本古典文学研究演習 I	1前	2		1			
	日本古典文学研究演習 II	1後	2		1			
	日本古典文学研究演習 III	1前	2	1				
	日本古典文学研究演習 IV	1後	2	1				
	日本近代文学研究演習 I	1前	2	1				
	日本近代文学研究演習 II	1後	2	1				
	日本古代・中世史研究演習 I	1前	2		1			
	日本古代・中世史研究演習 II	1後	2		1			
	日本古代・中世史研究演習 III	1前	2	1				
	日本古代・中世史研究演習 IV	1後	2	1				
	日本近世・近代史研究演習 I	1前	2		1			
	日本近世・近代史研究演習 II	1後	2		1			
	日本近世・近代史研究演習 III	1前	2	1				
	日本近世・近代史研究演習 IV	1後	2	1				
	考古学研究演習 I	1・2前	2	1				
	考古学研究演習 II	1・2後	2		1			
考古学研究演習 III	1・2前	2	1					
考古学研究演習 IV	1・2後	2		1				
文化財科学研究演習 I	1・2前	2					兼2	
文化財科学研究演習 II	1・2後	2					兼2	
文化財科学研究演習 III	1・2前	2					兼2	
文化財科学研究演習 IV	1・2後	2					兼2	
小計 (37科目)	—	70	7	9			兼3	
研究実習	日本語教育学研究実習 I	1前	2		1			兼2
	日本語教育学研究実習 II	1後	2		1			
	日本史研究実習 I	1前	2		1			
	日本史研究実習 II	1後	2		1			
	考古学研究実習 I	1前	2		1			
	考古学研究実習 II	1後	2	1				
	文化財科学研究実習 I	1・2前	2					
文化財科学研究実習 II	1・2前	2						
小計 (8科目)	—	16	1	3			兼2	

総合演習	現代日本学総合演習 I	1前	2	1	2			兼1
	現代日本学総合演習 II	1後	2	1	2			兼1
	日本思想史総合演習 I	1前	2		1			
	日本思想史総合演習 II	1後	2		1			
	日本語学総合演習 I	1前	2	2	1			兼1
	日本語学総合演習 II	1後	2	2	1			兼1
	日本語学総合演習 III	1前	2	2	1			兼1
	日本語学総合演習 IV	1後	2	2	1			兼1
	日本語教育学総合演習 I	1前	2		1			
	日本語教育学総合演習 II	2後	2		1			
	日本文学総合演習 I	1前	2	2	1			
	日本文学総合演習 II	1後	2	2	1			
	小計 (12科目)	—	24	7	6			兼2
研究演習	現代日本学芸分析研究演習 I	1前	2	1				兼1
	現代日本学歴史分析研究演習 I	1後	2		1			
	現代日本学社会分析研究演習 I	1前	2		1			
	日本思想史研究演習 I	1前	2		1			
	日本思想史研究演習 II	1後	2		1			
	日本語構造論研究演習 I	1後	2			1		
	日本語構造論研究演習 II	1後	2			1		
	日本語変異論研究演習 I	1前	2	1				
	日本語変異論研究演習 II	1後	2	1				
	日本語変異論研究演習 III	1前	2	1				
	日本語教育方法論研究演習 I	1前	2		1			
	日本語教育方法論研究演習 II	1前	2		1			
	日本語教育方法論研究演習 III	1前	2		1			
	日本語教育学研究演習 I	1後	2		1			
	日本語教育学研究演習 II	1前	2		1			
	日本古典文学研究演習 I	1前	2		1			
	日本古典文学研究演習 II	1後	2		1			
	日本古典文学研究演習 III	1前	2	1				
	日本古典文学研究演習 IV	1後	2	1				
	日本近代文学研究演習 I	1前	2		1			
	日本近代文学研究演習 II	1後	2		1			
	日本古代・中世史研究演習 I	1前	2		1			
	日本古代・中世史研究演習 II	1後	2		1			
	日本古代・中世史研究演習 III	1前	2	1				
	日本古代・中世史研究演習 IV	1後	2	1				
	日本近世・近代史研究演習 I	1前	2		1			
	日本近世・近代史研究演習 II	1後	2		1			
	日本近世・近代史研究演習 III	1前	2	1				
	日本近世・近代史研究演習 IV	1後	2	1				
	考古学研究演習 I	1・2前	2	1				
	考古学研究演習 II	1・2後	2		1			
考古学研究演習 III (未開講)	1・2前	2	1					
考古学研究演習 IV (未開講)	1・2後	2		1				
文化財科学研究演習 I	1・2前	2					兼2	
文化財科学研究演習 II	1・2後	2					兼2	
文化財科学研究演習 III (未開講)	1・2前	2					兼2	
文化財科学研究演習 IV (未開講)	1・2後	2					兼2	
小計 (37科目)	—	70	11	8			兼4	
研究実習	日本語教育学研究実習 I	1前	2		1			兼2
	日本語教育学研究実習 II	1後	2		1			
	日本史研究実習 I	1前	2		1			
	日本史研究実習 II	1後	2		1			
	考古学研究実習 I	1前	2		1			
	考古学研究実習 II	1後	2		1			
	文化財科学研究実習 I	1・2前	2					
文化財科学研究実習 II (未開講)	1・2前	2						
小計 (8科目)	—	16	2	3			兼2	

スキル科目	研究倫理特論	1前	2		1					兼7
	西洋古典文化特論	1後	2							兼1
	人文社会科学研究	1前	2							兼1
	英語発表技能演習	1後	2			1				
	英語研究論文作成法	1前	2							兼1
	日本語研究論文作成法	1前	2			1				
	人文統計基礎演習	1後	2							兼1
	キャリア設計演習	1後	2							兼1
	小計(8科目)	—	16		2	1				兼12
	学術実践活動	学術発表実習Ⅰ	1・2通	2						
学術発表実習Ⅱ		1・2通	2							兼1
国際活動実習Ⅰ		1・2通	2							兼1
国際活動実習Ⅱ		1・2通	2							兼1
研究・教育実践活動実習Ⅰ		1・2通	2							兼1
研究・教育実践活動実習Ⅱ		1・2通	2							兼1
小計(6科目)	—	12							兼1	
論文研究	修士論文研究	1・2通	8		7	9				兼1
	小計(1科目)	—	8		7	9				兼1
合計(116科目)		—	12	218	4	7	9			兼69
修了要件及び履修方法										
修了要件30単位を、総合科目6単位、専門科目等16単位、修士論文研究8単位から構成する。総合科目は、日本学専攻で開設するⅠ・Ⅱ(4単位)及び他専攻で開設するⅠ(2単位)を必修とする。専門科目等は、専攻で開設する専門科目(特論・総合演習・研究演習・総合演習)から16単位を選択必修とするが、このうち6単位までを、スキル科目、学術実践活動又は他専攻の専門科目で充当することができる。修士論文研究は学期毎に2単位、修了までに計8単位を履修しなければならない。										

スキル科目	研究倫理特論	1前	2		1					兼7
	西洋古典文化特論	1後	2							兼1
	人文社会科学研究Ⅰ	1前	2							兼1
	人文社会科学研究Ⅱ	1後	2							兼1
	日本語・日本文化論特論Ⅰ	1前	2							兼2
	日本語・日本文化論特論Ⅱ	1後	2							兼2
	英語発表技能演習	1後	2			1				
	英語研究論文作成法Ⅰ	1前	2							兼1
	英語研究論文作成法Ⅱ	1後	2							兼1
	日本語研究論文作成法Ⅰ	1前	2							兼1
日本語研究論文作成法Ⅱ	1後	2							兼1	
人文統計基礎演習	1前	2							兼1	
キャリア設計演習	1後	2							兼1	
小計(13科目)	—	26		1	1					兼13
学術実践活動	学術発表実習Ⅰ	1・2通	2							兼1
	学術発表実習Ⅱ	1・2通	2							兼1
	国際活動実習Ⅰ	1・2通	2							兼1
	国際活動実習Ⅱ	1・2通	2							兼1
	研究・教育実践活動実習Ⅰ	1・2通	2							兼1
	研究・教育実践活動実習Ⅱ	1・2通	2							兼1
小計(6科目)	—	12							兼1	
論文研究	修士論文研究	1・2通	8		11	8				兼1
	小計(1科目)	—	8		11	8				兼1
合計(121科目)		—	12	228	4	11	8		1	兼52
修了要件及び履修方法										
修了要件30単位を、総合科目6単位、専門科目等16単位、修士論文研究8単位から構成する。総合科目は、日本学専攻で開設するⅠ・Ⅱ(4単位)及び他専攻で開設するⅠ(2単位)を必修とする。専門科目等は、専攻で開設する専門科目(特論・総合演習・研究演習・総合演習)から16単位を選択必修とするが、このうち6単位までを、スキル科目、学術実践活動又は他専攻の専門科目で充当することができる。修士論文研究は学期毎に2単位、修了までに計8単位を履修しなければならない。										

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
  - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
  - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
  - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和元年度】

<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育内容の充実及び准教授から教授への昇任のため、「日本学総合科目Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授5、准教授7」から「教授8、准教授4、兼1」に変更。</li> <li>・准教授から教授への昇任のため、「日本学総合科目Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授7、准教授9」から「教授11、准教授5」に変更。</li> <li>・教育内容の充実のため、「広域文化学総合科目Ⅰ」の専任教員等の配置を「兼13」から「兼15」に変更。</li> <li>・教育内容の充実のため、「総合人間学総合科目Ⅱ」の専任教員等の配置を「兼4」から「兼8」に変更。</li> <li>・教育効果向上のため、「現代日本学日本哲学特論Ⅰ」の開講時期を「1前」から「1後」に変更。</li> <li>・教育効果向上のため、「現代日本学研究特論Ⅰ」の開講時期を「1前」から「1後」に変更。</li> <li>・教育効果向上のため、「日本思想史特論Ⅰ」の開講時期を「1前」から「1後」に変更。</li> <li>・教育効果向上及び准教授から教授への昇任のため、「日本思想史特論Ⅱ」の開講時期を「1後」から「1前」に、専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。</li> <li>・教育効果向上及び担当教員見直しのため、「日本比較思想史特論Ⅰ」の開講時期を「1前」から「1後」に、専任教員等の配置を「准教授1」から「兼1」に変更。</li> <li>・教育効果向上及び助教1名採用のため、「日本文化思想史特論Ⅰ」の開講時期を「1後」から「1前」に、専任教員等の配置を「兼1」から「助教1」に変更。</li> <li>・教育効果向上のため、「日本語構造論特論Ⅱ」の開講時期を「1後」から「1前」に変更。</li> <li>・教育効果向上及び准教授から教授への昇任のため、「日本語教育学特論Ⅰ」の開講時期を「1前」から「1後」に、専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。</li> <li>・教育効果向上並びに講師1名兼任から専任に切替及び准教授への昇任のため、「日本語教育学特論Ⅱ」の開講時期を「1後」から「1前」に、専任教員等の配置を「兼1」から「准教授1」に変更。</li> <li>・教育効果向上のため、「日本文芸形成論特論Ⅰ」の開講時期を「1前」から「1後」に変更。</li> <li>・担当教員見直しのため、「日本文芸形成論特論Ⅳ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「兼1」に変更。</li> <li>・准教授から教授への昇任のため、「日本古代・中世史特論Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。</li> <li>・担当教員見直しのため、「日本古代・中世史特論Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼1」に変更。</li> <li>・教育効果向上のため、「日本近世・近代史特論Ⅰ」の開講時期を「1前」から「1後」に変更。</li> <li>・教育効果向上のため、「日本近世・近代史特論Ⅱ」の開講時期を「1後」から「1前」に変更。</li> <li>・教育効果向上及び担当教員見直しのため、「日本史特論Ⅱ」の開講時期を「1後」から「1前」に、専任教員等の配置を「教授1」から「兼1」に変更。</li> <li>・教育効果向上のため、「考古学特論Ⅰ」の開講時期を「1前」から「1後」に変更。</li> <li>・教育効果向上のため、「考古学特論Ⅳ」の開講時期を「1後」から「1前」に変更。</li> <li>・担当教員見直しのため、「東洋文化学特論Ⅱ」の専任教員等の配置を「兼6」から「兼3」に変更。</li> <li>・教育内容の充実のため、「日本語学総合演習Ⅰ」の専任教員等の配置に「兼1」を追加。</li> <li>・教育内容の充実のため、「日本語学総合演習Ⅱ」の専任教員等の配置に「兼1」を追加。</li> <li>・教育内容の充実のため、「日本語学総合演習Ⅲ」の専任教員等の配置に「兼1」を追加。</li> <li>・教育内容の充実のため、「日本語学総合演習Ⅳ」の専任教員等の配置に「兼1」を追加。</li> <li>・教育効果向上、准教授から教授への昇任並びに講師1名兼任から専任に切替及び准教授への昇任のため、「日本語教育学総合演習Ⅰ」の開講時期を「1通」から「1前」に、専任教員等の配置を「准教授1、兼1」から「教授1、准教授1」に変更。</li> <li>・准教授から教授への昇任及び准教授1名採用のため、「日本文学総合演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1、准教授1」から「教授2、准教授1」に変更。</li> <li>・准教授から教授への昇任及び准教授1名採用のため、「日本文学総合演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1、准教授1」から「教授2、准教授1」に変更。</li> <li>・准教授から教授への昇任のため、「日本思想史研究演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。</li> <li>・准教授から教授への昇任及び准教授1名採用のため、「日本思想史研究演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1、准教授1」に変更。</li> <li>・教育効果向上のため、「日本語構造論研究演習Ⅰ」の開講時期を「1前」から「1後」に変更。</li> <li>・准教授から教授への昇任のため、「日本語教育方法論研究演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。</li> <li>・担当教員見直しのため、「日本語教育方法論研究演習Ⅲ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「兼1」に変更。</li> <li>・教育効果向上及び准教授から教授への昇任のため、「日本語教育学研究演習Ⅱ」の開講時期を「1後」から「1前」に、専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。</li> <li>・准教授から教授への昇任のため、「日本古典文学研究演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。</li> <li>・准教授から教授への昇任のため、「日本古典文学研究演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。</li> <li>・担当教員見直しのため、「日本近代文学研究演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。</li> <li>・担当教員見直しのため、「日本近代文学研究演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。</li> <li>・准教授から教授への昇任のため、「日本古代・中世史研究演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。</li> <li>・准教授から教授への昇任のため、「日本古代・中世史研究演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。</li> <li>・准教授から教授への昇任及び教育内容の充実のため、「日本語教育学研究実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1、准教授1」に変更。</li> <li>・准教授から教授への昇任並びに講師1名兼任から専任に切替及び准教授への昇任のため、「日本語教育学研究実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1、准教授1」に変更。</li> <li>・担当教員見直しのため、「考古学研究実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。</li> <li>・担当教員見直しのため、「考古学研究実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。</li> <li>・教育課程の充実のため、授業科目名を「人文社会科学研究」から「人文社会科学研究Ⅰ」に変更するとともに、「人文社会科学研究Ⅱ」を新設。</li> <li>・教育課程の充実のため、「日本語・日本文化論特論Ⅰ」を新設。</li> <li>・教育課程の充実のため、「日本語・日本文化論特論Ⅱ」を新設。</li> <li>・教育課程の充実のため、授業科目名を「英語研究論文作成法Ⅰ」から「英語研究論文作成法Ⅱ」に変更するとともに、「英語研究論文作成法Ⅱ」を新設。</li> <li>・教育課程の充実及び担当教員見直しのため、授業科目名を「日本語研究論文作成法Ⅰ」から「日本語研究論文作成法Ⅱ」に変更するとともに、「日本語研究論文作成法Ⅱ」を新設。</li> <li>・教育効果向上のため、「人文統計基礎演習」の開講時期を「1後」から「1前」に変更。</li> <li>・准教授から教授への昇任4名、准教授2名採用並びに講師1名兼任から専任に切替及び准教授への昇任のため、「修士論文研修」の専任教員等の配置を「教授7、准教授9」から「教授11、准教授8」に変更。</li> </ul>
--

- (注) ・ 2(1)① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
3 科目	109 科目	2 科目	116 科目	3 科目 [ 0 ]	114 科目 [ 5 ]	2 科目 [ 0 ]	121 科目 [ 5 ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	考古学研究演習Ⅲ	2	1・2前	専門	選択	隔年開講(令和元年度非開講)
2	考古学研究演習Ⅳ	2	1・2後	専門	選択	隔年開講(令和元年度非開講)
3	文化財科学研究演習Ⅲ	2	1・2前	専門	選択	隔年開講(令和元年度非開講)
4	文化財科学研究演習Ⅳ	2	1・2後	専門	選択	隔年開講(令和元年度非開講)
5	文化財科学研究実習Ⅱ	2	1・2前	専門	選択	隔年開講(令和元年度非開講)

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。  
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>「大学の所見」 未開講科目は、隔年開講の科目であるため今年度は開講しないものである。学生には在学期間中の履修機会を確保しているため、教育上の問題は無い。</p> <p>「学生への周知方法」 学生便覧及び入学オリエンテーションにおいて周知を図っている。</p>
--

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{5}{116} = \boxed{4.31} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。  
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

## 2 授業科目の概要

<文学研究科 日本学専攻 博士後期課程>

### (1) -① 授業科目表

#### 【事前伺い時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合科目	人文社会科学特別科目	1前	2			1						兼2
	小計(1科目)	—	2			1						兼2
スキル科目	研究倫理特論	1前	2			1						兼7
	西洋古典文化特論	1後	2									兼1
	人文社会科学研究	1前	2									兼1
	英語発表技能演習	1後	2				1					
	英語研究論文作成法	1前	2									兼1
	日本語研究論文作成法	1前	2			1						
	人文統計基礎演習	1後	2									兼1
	キャリア設計演習	1後	2									兼1
	小計(8科目)	—	16			2	1					兼12
学術実践活動	学術発表実習Ⅰ	1・2・3通	2									兼1
	学術発表実習Ⅱ	1・2・3通	2									兼1
	国際活動実習Ⅰ	1・2・3通	2									兼1
	国際活動実習Ⅱ	1・2・3通	2									兼1
	研究・教育実践活動実習Ⅰ	1・2・3通	2									兼1
	研究・教育実践活動実習Ⅱ	1・2・3通	2									兼1
	小計(6科目)	—	12									兼1
論文研究	博士論文研究	1・2・3通	8			6	9					兼2
	小計(1科目)	—	8			6	9					兼2
	合計(16科目)	—	10	28		6	9					兼16
修了要件及び履修方法												
修了要件12単位を、総合科目2単位、スキル科目又は学術実践活動(選択必修)2単位、博士論文研究8単位から構成する。博士論文研究は学期毎に2単位、修了までに計8単位を履修しなければならない。												

#### 【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合科目	人文社会科学特別科目	1前	2			3	2					兼10
	小計(1科目)	—	2			3	2					兼10
スキル科目	研究倫理特論	1前	2			1						兼7
	西洋古典文化特論	1後	2									兼1
	人文社会科学研究Ⅰ	1前	2									兼1
	人文社会科学研究Ⅱ	1後	2									兼1
	日本語・日本文化論特論Ⅰ	1前	2									兼2
	日本語・日本文化論特論Ⅱ	1後	2									兼2
	英語発表技能演習	1後	2				1					
	英語研究論文作成法Ⅰ	1前	2									兼1
	英語研究論文作成法Ⅱ	1後	2									兼1
	日本語研究論文作成法Ⅰ	1前	2									兼1
	日本語研究論文作成法Ⅱ	1後	2									兼1
	人文統計基礎演習	1前	2									兼1
	キャリア設計演習	1後	2									兼1
	小計(13科目)	—	26			1	1					兼13
学術実践活動	学術発表実習Ⅰ	1・2・3通	2									兼1
	学術発表実習Ⅱ	1・2・3通	2									兼1
	国際活動実習Ⅰ	1・2・3通	2									兼1
	国際活動実習Ⅱ	1・2・3通	2									兼1
	研究・教育実践活動実習Ⅰ	1・2・3通	2									兼1
	研究・教育実践活動実習Ⅱ	1・2・3通	2									兼1
	小計(6科目)	—	12									兼1
論文研究	博士論文研究	1・2・3通	8			10	8					兼2
	小計(1科目)	—	8			10	8					兼2
	合計(21科目)	—	10	38		10	8					兼22
修了要件及び履修方法												
修了要件12単位を、総合科目2単位、スキル科目又は学術実践活動(選択必修)2単位、博士論文研究8単位から構成する。博士論文研究は学期毎に2単位、修了までに計8単位を履修しなければならない。												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
  - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
  - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
  - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

**【令和元年度】**

- ・教育内容の充実のため、「人文社会科学特別科目」の専任教員等の配置を「教授1、兼2」から「教授3、准教授2、兼10」に変更。
- ・教育課程の充実のため、授業科目名を「人文社会科学研究」から「人文社会科学研究Ⅰ」に変更するとともに、「人文社会科学研究Ⅱ」を新設。
- ・教育課程の充実のため、「日本語・日本文化論特論Ⅰ」を新設。
- ・教育課程の充実のため、「日本語・日本文化論特論Ⅱ」を新設。
- ・教育課程の充実のため、授業科目名を「英語研究論文作成法」から「英語研究論文作成法Ⅰ」に変更するとともに、「英語研究論文作成法Ⅱ」を新設。
- ・教育課程の充実及び担当教員見直しのため、授業科目名を「日本語研究論文作成法」から「日本語研究論文作成法Ⅰ」に、専任教員等の配置を「教授1」から「兼1」に変更するとともに、「日本研究論文作成法Ⅱ」を新設。
- ・教育効果向上のため、「人文統計基礎演習」の開講時期を「1後」から「1前」に変更。
- ・准教授から教授への昇任4名、准教授2名採用並びに講師1名兼担から専任に切替及び准教授への昇任のため、「博士論文研修」の専任教員等の配置を「教授6、准教授9」から「教授10、准教授8」に変更。

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
2	14	0	16	2	19	0	21	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
				[ 0 ]	[ 5 ]	[ 0 ]	[ 5 ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）



(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。  
・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{16} = \boxed{\phantom{0}}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。  
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計			
	校舎敷地	21,915,365㎡	0㎡	0㎡	21,915,365㎡			
	運動場用地	132,573㎡	0㎡	0㎡	132,573㎡			
	小 計	22,047,938㎡	0㎡	0㎡	22,047,938㎡			
	そ の 他	0㎡	0㎡	0㎡	0㎡			
	合 計	22,047,938㎡	0㎡	0㎡	22,047,938㎡			
(2) 校舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計			
		1,121,513㎡ (1,121,513㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	1,121,513㎡ (1,121,513㎡)			
(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
	12 室	16 室	13 室	1 室 (補助職員 3 人)	0 室 (補助職員 0 人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	文学研究科日本学専攻			20 室				
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕	学術雑誌 〔うち外国書〕	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料	機械・器具	標 本	研究科単位での特定不能なため、大学全体の数
		冊	種	〔うち外国書〕	点	点	点	
	文学研究科日本学専攻	4,168,468 [1,974,876] (4,168,468 [1,974,876])	86,198 [42,422] (86,198 [42,422])	13,287 [13,272] (13,287 [13,272])	8,242 (8,242)	45,198 (45,198)	2,432,339 (2,432,339)	
	計	4,168,468 [1,974,876] (4,168,468 [1,974,876])	86,198 [42,422] (86,198 [42,422])	13,287 [13,272] (13,287 [13,272])	8,242 (8,242)	45,198 (45,198)	2,432,339 (2,432,339)	
(6) 図書館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体	
	45,481㎡		2,885席		4,328,122冊			
(7) 体育館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
	7,024㎡		武道場					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員 1 人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生 1 人当り納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	学生納付金以外の維持方法の概要							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第 2 号 (その 1 の 1) に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1) 校地等」及び「(2) 校舎」は大学全体の数字を、その他の項目は A C 対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨 (所要時間・距離等) を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5) 図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年 5 月 1 日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更 (校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延) がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
  - ・ 国立大学については「(8) 経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

#### 4 既設大学等の状況

大学の名称		東北大学									備考
既設学部等の名称		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
		年	人	年次人	人		倍	年度	年度		
文学部	人文社会学科	4	210	—	840	学士(文学)	1.06		平9年度改組	宮城県仙台市青葉区川内27番1号	大11年学部設置 法文学部から分立(昭24年度)
教育学部	教育科学科	4	70	—	280	学士(教育学)	1.05		平10年度改組	宮城県仙台市青葉区川内27番1号	昭24年度学部設置
法学部	法学科	4	160	—	640	学士(法学)	1.06		昭24年度	宮城県仙台市青葉区川内27番1号	
経済学部	経済学科	4	130	3年次10	540	学士(経済学)	1.04		昭24年度	宮城県仙台市青葉区川内27番1号	大11年学部設置 法文学部から分立(昭24年度)
	経営学科	4	130	3年次10	540				昭43年度		
	計		260	20	1,080						
理学部	数学科	4	45	—	180	学士(理学)	0.99		昭24年度	宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉6番3号	大8年理科大学から理学部となる
	物理学科	4	78	—	312		1.00		平6年度改組・統合		
	宇宙地球物理学科	4	41	—	164				平4年度改組		
	化学科	4	70	—	280		1.07		平7年度改組・統合		
	地圏環境科学科	4	30	—	120				平4年度改組		
	地球惑星物質科学科	4	20	—	80		0.99		平4年度改組(平20年度改称)		
	生物学科	4	40	—	160		0.99		昭24年度		
	計		324	—	1,296			1.01			
医学部	医学科	6	135	—	810	学士(医学)	1.00	平成30	昭24年度	宮城県仙台市青葉区星陵町2番1号	大8年医科大学から改称
	保健学科	4	144	—	576	学士(看護学) 学士(保健学)	1.01		平16年度改組		平16年医療技術短期大学部から医学部保健学科となる 平26年度より3年次編入学廃止
	計		279	—	1,386		1.01				
歯学部	歯学科	6	53	—	318	学士(歯学)	1.00		昭40年度	宮城県仙台市青葉区星陵町2番1号	

薬学部	創薬科学科	4	60	—	240	学士 (創薬科学)	1.07		平18年度改組	宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉6番3号	昭47年度学部設置	
	薬学科	6	20	—	120	学士 (薬学)	1.07					
	計		80	—	360		1.06					
工学部	機械知能・航空工学科	4	234	—	936	学士 (工学)	1.04		平16年度改組	宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉6番6号	大8年学部設置	
	電気情報物理工学科	4	243	—	972		1.01		平16年度改組 (平19年度・平27年度改称)			
	化学・バイオ工学科	4	113	—	452		0.99					
	材料科学総合学科	4	113	—	452		1.02		平16年度改組			
	建築・社会環境工学科	4	107	—	428		0.99					
	計		810	—	3,240			1.01				
農学部	生物生産科学科	4	90	—	360	学士 (農学)	1.04		平4年度	宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉468-1	昭22年度学部設置	
	応用生物化学科	4	60	—	240							
	計		150	—	600			1.04				
※ 複数の学科を有する学部の学生募集は、経済学部、薬学部及び農学部にあつては学部一括で、理学部にあつては1又は複数の学科毎にそれぞれ行い、学生の所属学科は、第1年次修了時、第2年次又は第3年次に決定する。												
文学研究科	日本学専攻	5	29	—	29	修士 (文学) 修士 (学術) 博士 (文学) 博士 (学術)	1.13	令和元	令和元年度改組	宮城県仙台市青葉区川内27番1号	学生数は、上段が前期課程で、下段が後期課程である。	
		5	14	—	14		1.42	令和元				
	広域文化学専攻	5	29	—	29		1.00	令和元				
		5	12	—	12		0.75	令和元				
	総合人間学専攻	5	31	—	31		1.29	令和元				
		5	12	—	12		1.00	令和元				
	文化科学専攻	5	—	—	—		—		平11年度改組			令和元年度より学生募集停止
	言語科学専攻	5	—	—	—		—					令和元年度より学生募集停止
歴史科学専攻	5	—	—	—	—		平12年度改組	令和元年度より学生募集停止				
人間科学専攻	5	—	—	—	—			令和元年度より学生募集停止				
教育学研究科	総合教育科学専攻	5	45	—	90	修士 (教育学) 修士 (教育情報学) 博士 (教育学) 博士 (教育情報学)	0.97	平成30	平30年度改組	宮城県仙台市青葉区川内27番1号	平成30年度より学生募集停止	
		5	15	—	46	1.09	平成30					
	教育設計評価専攻	5	—	—	—	修士 (教育学) 修士 (学術) 博士 (教育学) 博士 (学術)	—		平20年度改組			

法学研究科	法政理論研究専攻	5	10	—	20	修士 (法学) 修士 (学術) 博士 (法学) 博士 (学術)	0.65		平12年 度改組 (平18年 度改称)	宮城県仙台市青葉 区川内27番1号
			12	—	44		0.49			
	総合法制専攻 (法科大学院の課 程)	3	50	—	150	法務博士 (専門職)	0.76		平16年 度改組	宮城県仙台市青葉 区片平二丁目1番1 号
	公共法政策専攻 (専門職学位課程)	2	30	—	60	公共法政策修 士 (専門職)	0.99			
経済学研究科	経済経営学専攻	5	50	—	100	修士 (経済学) 修士 (経営学) 修士 (学術) 博士 (経済学) 博士 (経営学) 博士 (学術)	0.77		平17年 度改組	宮城県仙台市青葉 区川内27番1号
			20	—	60		0.53			
	会計専門職専攻 (専門職学位課程)	2	40	—	80	会計修士 (専門職)	0.97		平17年 度	
理学研究科	数学専攻	5	38	—	76	修士 (理学) 修士 (学術) 博士 (理学) 博士 (学術)	0.93	平7年 度 改組	宮城県仙台市青葉 区荒巻字青葉6番3 号	
			18	—	54		0.55			
	物理学専攻	5	91	—	182		0.94	平6年 度 改組		
			46	—	138		0.55			
	天文学専攻	5	9	—	18		1.16	平6年 度 改組		
			4	—	12		0.58			
	地球物理学専攻	5	26	—	52		1.03	平7年 度 改組		
			13	—	39		0.58			
	化学専攻	5	66	—	132		1.14	平7年 度 改組		
			33	—	99		0.42			
地学専攻	5	32	—	64	1.35	平6年 度 改組				
		16	—	48	0.68					

医学系研究科	医科学専攻 (修士課程)	2	30	—	60	修士 (医科学) 修士 (学術)	1.15		平15年 度改組	宮城県仙台市青葉 区星陵町2番1号
	医科学専攻 (博士課程)	4	130	—	520	博士 (医学) 博士 (学術)	1.11		平9年 度改組	
	障害科学専攻	5	20	—	40	修士 (障害科学) 修士 (学術)	0.72		平6年 度改組	
			9	—	29	博士 (障害科学) 博士 (学術)	1.27		平8年 度改組	
	保健学専攻	5	32	—	64	修士 (看護学) 修士 (保健学) 修士 (学術)	1.20		平20年 度改組	
			12	—	34	博士 (看護学) 博士 (保健学) 博士 (学術)	1.24		平22年 度改組	
公衆衛生学専攻 (修士課程)	2	10	—	20	修士 (公衆衛生学)	1.05		平27年 度		
歯学研究科	歯科学専攻 (修士課程)	2	6	—	12	修士 (口腔科学) 修士 (学術)	0.91		平16年 度	宮城県仙台市青葉 区星陵町4番1号
	歯科学専攻 (博士課程)	4	42	—	168	博士 (歯学) 博士 (学術)	0.97		平12年 度改組	
薬学研究科	分子薬科学専攻	5	22	—	44	修士 (薬科学) 修士 (学術)	1.35	平22年 度	宮城県仙台市青葉 区荒巻字青葉6番3 号	
			8	—	24		0.62			
	生命薬科学専攻	5	32	—	64	博士 (薬科学) 博士 (学術)	0.95			
			10	—	30	0.60				
医療薬学専攻 (博士課程)	4	4	—	16	博士 (薬学) 博士 (学術)	0.37		平24年 度		

工 学 研 究 科	機械機能創成専攻	5	42	—	84	修士 (工学) 修士 (学術) 博士 (工学) 博士 (学術)	1.29	平7年度 改組(平 16年度 改称・ 平28年 度改称)	宮城県仙台市青葉 区荒巻字青葉6番6 号	
			10	—	30		1.16			
	ファインメカニクス専攻	5	45	—	90		1.16			
			11	—	33		0.48			
	ロボティクス専攻	5	42	—	84		0.86			平15年 度(平 28年 度改 称)
			11	—	33		0.57			
	航空宇宙工学専攻	5	42	—	84		1.59			平7年度 改組
			11	—	33		1.11			
	量子エネルギー工 学専攻	5	38	—	76		1.04			昭33年 度(平8 年度改 称)
			11	—	33		0.78			
	電気エネルギーシ ステム専攻	5	32	—	64		1.06			平24年 度
			8	—	24		0.45			
	通信工学専攻	5	31	—	62		1.44			
			8	—	24		0.70			
	電子工学専攻	5	51	—	102		0.86			昭28年 度
			15	—	45		0.37			
	応用物理学専攻	5	32	—	64		1.12			
			11	—	33		0.75			
	応用化学専攻	5	26	—	52		1.11			
			8	—	24		0.83			
化学工学専攻	5	34	—	68	1.05	昭40年 度				
		7	—	21	0.42					
バイオ工学専攻	5	19	—	38	1.21	平4年度 (平16年 度改称)				
		5	—	15	0.60					
金属フロンティア 工学専攻	5	26	—	52	1.15	昭28年 度(平16 年度改 称)				
		7	—	21	1.23					
知能デバイス材料 学専攻	5	37	—	74	1.23	昭39年 度(昭62 年度・ 平16年 度改称)				
		10	—	30	1.23					
材料システム工学 専攻	5	30	—	60	1.16	昭44年 度(平9 年度・ 平16年 度改称)				
		8	—	24	0.87					
土木工学専攻	5	43	—	86	1.15	昭38年 度				
		12	—	36	1.35					
都市・建築学専攻	5	45	—	90	1.25	昭38年 度(平8 年度改 称)				
		8	—	24	1.29					
技術社会システム 専攻	5	21	—	42	1.14	平14年 度				
		13	—	39	0.32					

農学研究科	資源生物科学専攻	5	36 13	— —	72 39	修士 (農学) 修士 (学術)	1.29 0.91			平15年 度改組	宮城県仙台市青葉 区荒巻字青葉468- 1	
	応用生命科学専攻	5	35 13	— —	70 39	修士 (農学) 博士 (農学)	1.12 0.68					
	生物産業創成科学 専攻	5	38	—	76	修士 (農学) 博士 (学術)	1.27					
			11	—	33		1.18					
国際文化研究科	国際文化研究専攻	5	35	—	70	修士 (国際文化) 修士 (学術) 博士 (国際文化)	0.81			平27年 度改組	宮城県仙台市青葉 区川内41	
			16	—	48	修士 (学術)	0.62					
情報科学研究科	情報基礎科学専攻	5	38 11	— —	76 33	修士 (情報科学) 修士 (学術) 博士 (情報科学) 博士 (学術)	0.89 0.48			平5年 度	宮城県仙台市青葉 区荒巻字青葉6番3 号	
	システム情報科学 専攻	5	37 11	— —	74 33		1.40 0.99					
	人間社会情報科学 専攻	5	30 10	— —	60 30		0.70 0.60					
	応用情報科学専攻	5	35 10	— —	70 30		1.38 0.83		平15年 度			
生命科学研究科	脳生命統御科学専攻	5	36 10	— —	72 20	修士 (生命科学) 修士 (学術) 博士 (生命科学) 博士 (学術)	0.70 0.36	平成30 平成30	平30年 度改組	宮城県仙台市青葉 区片平二丁目1番1 号		
	生態発生活適科学 専攻	5	35 10	— —	70 20		0.86 0.53	平成30 平成30				
	分子化学生物学専攻	5	35 10	— —	70 20		1.30 0.33	平成30 平成30				
	分子生命科学専攻	5	— —	— —	— —		— —					平成30年度より 学生募集停止
	生命機能科学専攻	5	— —	— —	— —		— —					平成30年度より 学生募集停止
	生態システム生命 科学専攻	5	— —	— —	— —		— —					平成30年度より 学生募集停止
環境科学研究科	先進社会環境学専攻	5	40 13	— —	80 39	修士 (環境科学) 修士 (学術) 博士 (環境科学)	1.19 1.33			平27年 度改組	宮城県仙台市青葉 区荒巻字青葉468- 1	
	先端環境創成学専攻	5	60 20	— —	120 60	修士 (環境科学) 博士 (学術)	0.95 0.43					
医工学研究科	医工学専攻	5	39	—	78	修士 (医工学) 修士 (学術) 博士 (医工学)	1.15			平20年 度	宮城県仙台市青葉 区星陵町2番1号 宮城県仙台市青葉 区荒巻字青葉6番6 号 宮城県仙台市青葉 区片平二丁目1番1 号	
			12	—	34	修士 (学術) 博士 (学術)	0.82					



教育情報学教育部	教育情報学専攻	5	—	—	—	修士 (教育情報学)	—	平14年 度	宮城県仙台市青葉 区川内27番1号	平成30年度より 学生募集停止
			—	—	—	修士 (学術) 博士 (教育情報学) 博士 (学術)	—			

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学（大学院含む）、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校種ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。  
（専攻科及び別科を除く）。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き（平成31年度改訂版）」と同じです。
  - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<文学研究科 日文学専攻 博士前期課程>

(1) -① 担当教員表

【事前伺い時】

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	高橋 章則 (60) <平成31年4月> 博士(社会学)
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ 現代日本学芸分析特論Ⅰ 現代日本学研究特論Ⅰ 現代日本学総合演習Ⅰ 現代日本学総合演習Ⅱ 現代日本学芸分析研究演習Ⅰ 日本語研究論文作成法 修士論文研究
専	教授	齋藤 倫明 (63) <平成31年4月> 博士(文学)
		日本学総合科目Ⅱ 日本語構造論特論Ⅱ 日本語構造論研究演習Ⅰ  修士論文研究
兼任	講師	齋藤 倫明 (63) <平成32年4月> 博士(文学)
		日本学総合科目Ⅱ 日本語構造論特論Ⅱ 日本語構造論研究演習Ⅰ  修士論文研究
専	教授	小林 隆 (60) <平成31年4月> 博士(文学)
		日本学総合科目Ⅱ 日本語変異論特論Ⅱ 日本語総合演習Ⅰ 日本語総合演習Ⅱ 日本語総合演習Ⅲ 日本語総合演習Ⅳ 日本語変異論研究演習Ⅲ 研究倫理特論 修士論文研究
専	教授	大木 一夫 (51) <平成31年4月> 博士(文学)
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ 日本語変異論特論Ⅰ 日本語総合演習Ⅰ 日本語総合演習Ⅱ 日本語総合演習Ⅲ 日本語総合演習Ⅳ 日本語変異論研究演習Ⅰ 日本語変異論研究演習Ⅱ 修士論文研究
専	教授	佐倉 由泰 (56) <平成31年4月> 博士(文学)
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ 日本文芸形成論特論Ⅰ 日本文芸形成論特論Ⅱ 日本文学総合演習Ⅰ 日本文学総合演習Ⅱ 日本古典文学研究演習Ⅲ 日本古典文学研究演習Ⅳ 日本近代文学研究演習Ⅰ 日本近代文学研究演習Ⅱ 修士論文研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	高橋 章則 (61) <平成31年4月> 博士(社会学)
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ 現代日本学芸分析特論Ⅰ 現代日本学研究特論Ⅰ 現代日本学総合演習Ⅰ 現代日本学総合演習Ⅱ 現代日本学芸分析研究演習Ⅰ 修士論文研究
専	教授	齋藤 倫明 (64) <平成31年4月> 博士(文学)
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ 日本語構造論特論Ⅱ 日本語構造論研究演習Ⅰ 日本語総合演習Ⅰ 日本語総合演習Ⅱ 日本語総合演習Ⅲ 日本語総合演習Ⅳ 修士論文研究
兼任	講師	齋藤 倫明 (64) <令和2年4月> 博士(文学)
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ 日本語構造論特論Ⅱ 日本語構造論研究演習Ⅰ 日本語総合演習Ⅰ 日本語総合演習Ⅱ 日本語総合演習Ⅲ 日本語総合演習Ⅳ 修士論文研究
専	教授	小林 隆 (61) <平成31年4月> 博士(文学)
		日本学総合科目Ⅱ 日本語変異論特論Ⅱ 日本語総合演習Ⅰ 日本語総合演習Ⅱ 日本語総合演習Ⅲ 日本語総合演習Ⅳ 日本語変異論研究演習Ⅲ 研究倫理特論 修士論文研究
専	教授	大木 一夫 (52) <平成31年4月> 博士(文学)
		日本学総合科目Ⅱ 日本語変異論特論Ⅰ 日本語総合演習Ⅰ 日本語総合演習Ⅱ 日本語総合演習Ⅲ 日本語総合演習Ⅳ 日本語変異論研究演習Ⅰ 日本語変異論研究演習Ⅱ 修士論文研究
専	教授	佐倉 由泰 (57) <平成31年4月> 博士(文学)
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ 日本文芸形成論特論Ⅱ 日本文学総合演習Ⅰ 日本文学総合演習Ⅱ 日本古典文学研究演習Ⅲ 日本古典文学研究演習Ⅳ 修士論文研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	柳原 敏昭 (56) <平成31年4月> 博士(文学)
		日本学総合科目Ⅱ 日本古代・中世史特論Ⅱ 日本史特論Ⅱ 史料学Ⅰ 日本古代・中世史研究演習Ⅲ 日本古代・中世史研究演習Ⅳ 修士論文研究
専	教授	安達 宏昭 (53) <平成31年4月> 博士(文学)
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ 日本近世・近代史特論Ⅱ 日本近世・近代史研究演習Ⅲ 日本近世・近代史研究演習Ⅳ 修士論文研究
専	教授	阿子島 香 (62) <平成31年4月> P h . D . (アメリカ)
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ 考古学特論Ⅱ 考古学研究演習Ⅰ 考古学研究演習Ⅲ 考古学研究実習Ⅱ 修士論文研究
専	准教授	田中(仙田) 重人 (47) <平成31年4月> 博士(人間科学)
		日本学総合科目Ⅱ 現代日本学社会分析特論Ⅰ 現代日本学総合演習Ⅰ 現代日本学総合演習Ⅱ 現代日本学社会分析研究演習Ⅰ 修士論文研究
専	准教授	CRAIG CHRISTOPHER ROBIN JAMIE (43) <平成31年4月> P h . D . (アメリカ)
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ 現代日本学歴史分析特論Ⅰ 現代日本学総合演習Ⅰ 現代日本学総合演習Ⅱ 現代日本学歴史分析研究演習Ⅰ 英語発表技能演習 修士論文研究
専	准教授	片岡 龍 (52) <平成31年4月> 修士(文学)
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ 日本思想史特論Ⅰ 日本思想史特論Ⅱ 日本比較思想史特論Ⅰ 日本思想史総合演習Ⅰ 日本思想史総合演習Ⅱ 日本思想史研究演習Ⅰ 日本思想史研究演習Ⅱ 修士論文研究
専	准教授	甲田(高橋) 直美 (48) <平成31年4月> 博士(人間・環境学)
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ 日本語構造論特論Ⅰ 日本語総合演習Ⅰ 日本語総合演習Ⅱ 日本語総合演習Ⅲ 日本語総合演習Ⅳ 日本語構造論研究演習Ⅱ 修士論文研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	柳原 敏昭 (57) <平成31年4月> 博士(文学)
		日本学総合科目Ⅱ 史料学Ⅰ 日本古代・中世史研究演習Ⅲ 日本古代・中世史研究演習Ⅳ 修士論文研究
専	教授	安達 宏昭 (54) <平成31年4月> 博士(文学)
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ 日本近世・近代史特論Ⅱ 日本近世・近代史研究演習Ⅲ 日本近世・近代史研究演習Ⅳ 修士論文研究
専	教授	阿子島 香 (63) <平成31年4月> P h . D . (アメリカ)
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ 考古学特論Ⅱ 考古学研究演習Ⅰ 考古学研究演習Ⅲ <b>考古学研究実習Ⅰ</b> 修士論文研究
専	准教授	田中(仙田) 重人 (48) <平成31年4月> 博士(人間科学)
		日本学総合科目Ⅱ 現代日本学社会分析特論Ⅰ 現代日本学総合演習Ⅰ 現代日本学総合演習Ⅱ 現代日本学社会分析研究演習Ⅰ 修士論文研究
専	准教授	CRAIG CHRISTOPHER ROBIN JAMIE (44) <平成31年4月> P h . D . (アメリカ)
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ 現代日本学歴史分析特論Ⅰ 現代日本学総合演習Ⅰ 現代日本学総合演習Ⅱ 現代日本学歴史分析研究演習Ⅰ 英語発表技能演習 修士論文研究
専	教授	片岡 龍 (53) <平成31年4月> <b>博士(文学)</b>
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ 日本思想史特論Ⅱ 日本思想史総合演習Ⅰ 日本思想史総合演習Ⅱ 日本思想史研究演習Ⅰ 日本思想史研究演習Ⅱ 修士論文研究
専	准教授	甲田(高橋) 直美 (49) <平成31年4月> 博士(人間・環境学)
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ 日本語構造論特論Ⅰ 日本語総合演習Ⅰ 日本語総合演習Ⅱ 日本語総合演習Ⅲ 日本語総合演習Ⅳ 日本語構造論研究演習Ⅱ 修士論文研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	小河原 義朗 (49) <平成31年4月> 博士(文学)
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ 日本語教育学特論Ⅰ 日本語教育学総合演習Ⅰ 日本語教育学総合演習Ⅱ 日本語教育方法論研究演習Ⅰ 日本語教育方法論研究演習Ⅱ 日本語教育方法論研究演習Ⅲ 日本語教育学研究演習Ⅰ 日本語教育学研究演習Ⅱ 日本語教育学研究実習Ⅰ 日本語教育学研究実習Ⅱ 修士論文研究
専	准教授	横溝 博 (46) <平成31年4月> 博士(文学)
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ 日本文学形成論特論Ⅲ 日本文学形成論特論Ⅳ 日本文学総合演習Ⅰ 日本文学総合演習Ⅱ 日本古典文学研究演習Ⅰ 日本古典文学研究演習Ⅱ 修士論文研究
専	准教授	堀 裕 (49) <平成31年4月> 博士(文学)
		日本学総合科目Ⅱ 日本古代・中世史特論Ⅰ 日本古代・中世史研究演習Ⅰ 日本古代・中世史研究演習Ⅱ 修士論文研究
専	准教授	籠橋 俊光 (46) <平成31年4月> 博士(文学)
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ 日本近世・近代史特論Ⅰ 史料学Ⅱ 日本近世・近代史研究演習Ⅰ 日本近世・近代史研究演習Ⅱ 日本史研究実習Ⅰ 日本史研究実習Ⅱ 修士論文研究
専	准教授	鹿又 喜隆 (44) <平成31年4月> 博士(文学)
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ 考古学特論Ⅰ 考古学研究演習Ⅱ 考古学研究演習Ⅳ 考古学研究実習Ⅰ 修士論文研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	小河原 義朗 (50) <平成31年4月> 博士(文学)
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ 日本語教育学特論Ⅰ 日本語教育学総合演習Ⅰ 日本語教育学総合演習Ⅱ 日本語教育方法論研究演習Ⅱ 日本語教育学研究演習Ⅱ 日本語教育学研究実習Ⅰ 日本語教育学研究実習Ⅱ 修士論文研究
専	教授	横溝 博 (47) <平成31年4月> 博士(文学)
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ <b>日本文学形成論特論Ⅰ</b> 日本文学総合演習Ⅰ 日本文学総合演習Ⅱ 日本古典文学研究演習Ⅰ 日本古典文学研究演習Ⅱ 修士論文研究
専	教授	堀 裕 (50) <平成31年4月> 博士(文学)
		<b>日本学総合科目Ⅰ</b> 日本学総合科目Ⅱ 日本古代・中世史特論Ⅰ 日本古代・中世史研究演習Ⅰ 日本古代・中世史研究演習Ⅱ 修士論文研究
専	准教授	籠橋 俊光 (47) <平成31年4月> 博士(文学)
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ 日本近世・近代史特論Ⅰ 史料学Ⅱ 日本近世・近代史研究演習Ⅰ 日本近世・近代史研究演習Ⅱ 日本史研究実習Ⅰ 日本史研究実習Ⅱ 修士論文研究
専	准教授	鹿又 喜隆 (45) <平成31年4月> 博士(文学)
		日本学総合科目Ⅱ 考古学特論Ⅰ 考古学研究演習Ⅱ 考古学研究演習Ⅳ <b>考古学研究実習Ⅱ</b> 修士論文研究
専	准教授	<b>引野 享輔</b> (44) <平成31年4月> 博士(文学)
		<b>日本思想史特論Ⅰ</b> <b>日本思想史総合演習Ⅱ</b> <b>日本思想史研究演習Ⅱ</b> 修士論文研究
専	准教授	<b>仁平 政人</b> (40) <平成31年4月> 博士(文学)
		<b>日本文学形成論特論Ⅲ</b> <b>日本文学総合演習Ⅰ</b> <b>日本文学総合演習Ⅱ</b> <b>日本近代文学研究演習Ⅰ</b> <b>日本近代文学研究演習Ⅱ</b> 修士論文研究
専	助教	<b>岡安 備之</b> (42) <平成31年4月> 博士(文学)
		<b>日本文化思想史特論Ⅰ</b>

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	教授	沼崎 一郎 (59) <平成31年4月> P h. D. (アメリカ)	兼任	教授	沼崎 一郎 (60) <平成31年4月> P h. D. (アメリカ)
		広域文化学総合科目 I			広域文化学総合科目 I
兼任	教授	木村 敏明 (52) <平成31年4月> 博士(文学)	兼任	教授	木村 敏明 (53) <平成31年4月> 博士(文学)
		広域文化学総合科目 I 広域文化学総合科目 II			広域文化学総合科目 I 広域文化学総合科目 II
兼任	教授	桜井 宗信 (57) <平成31年4月> 博士(文学)	兼任	教授	桜井 宗信 (58) <平成31年4月> 博士(文学)
		広域文化学総合科目 I			広域文化学総合科目 I
兼任	教授	三浦 秀一 (60) <平成31年4月> 博士(文学)	兼任	教授	三浦 秀一 (61) <平成31年4月> 博士(文学)
		広域文化学総合科目 I 東洋文化学特論 II			東洋文化学特論 II
兼任	教授	川合 安 (60) <平成31年4月> 博士(文学)	兼任	教授	川合 安 (61) <平成31年4月> 博士(文学)
		広域文化学総合科目 I 東洋文化学特論 II			広域文化学総合科目 I
兼任	教授	大河内 昌 (58) <平成31年4月> 博士(文学)	兼任	教授	大河内 昌 (59) <平成31年4月> 博士(文学)
		広域文化学総合科目 I			広域文化学総合科目 I
兼任	教授	島 越郎 (50) <平成31年4月> 博士(文学)	兼任	教授	島 越郎 (51) <平成31年4月> 博士(文学)
		広域文化学総合科目 I			広域文化学総合科目 I
兼任	教授	森本 浩一 (61) <平成31年4月> 文学修士	兼任	教授	森本 浩一 (62) <平成31年4月> 文学修士
		広域文化学総合科目 I 西洋文化学特論 I			広域文化学総合科目 I 西洋文化学特論 I
兼任	教授	今井 勉 (55) <平成31年4月> 博士(文学)	兼任	教授	今井 勉 (56) <平成31年4月> 博士(文学)
		広域文化学総合科目 I 広域文化学総合科目 II キャリア設計演習			広域文化学総合科目 I 広域文化学総合科目 II キャリア設計演習
兼任	教授	有光 秀行 (57) <平成31年4月> 博士(文学)	兼任	教授	有光 秀行 (58) <平成31年4月> 博士(文学)
		広域文化学総合科目 I			広域文化学総合科目 I
兼任	教授	戸島 貴代志 (59) <平成31年4月> 博士(文学)	兼任	教授	戸島 貴代志 (60) <平成31年4月> 博士(文学)
		研究倫理特論			研究倫理特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	長岡 龍作 (58) <平成31年4月> 文学修士
		総合人間学総合科目Ⅰ 総合人間学総合科目Ⅱ 学術発表実習Ⅰ 学術発表実習Ⅱ 国際活動実習Ⅰ 国際活動実習Ⅱ 研究・教育実践活動実習Ⅰ 研究・教育実践活動実習Ⅱ
兼任	教授	阿部 恒之 (56) <平成31年4月> 博士(文学)
		総合人間学総合科目Ⅰ 総合人間学総合科目Ⅱ 研究倫理特論
兼任	教授	坂井 信之 (48) <平成31年4月> 博士(人間科学)
		総合人間学総合科目Ⅰ 研究倫理特論
兼任	教授	小泉 政利 (53) <平成31年4月> P h . D . (アメリカ)
		研究倫理特論
兼任	教授	永井 彰 (58) <平成31年4月> 博士(文学)
		総合人間学総合科目Ⅱ
兼任	教授	小松 文晃 (49) <平成31年4月> 博士(文学)
		総合人間学総合科目Ⅰ
兼任	教授	木村 邦博 (59) <平成31年4月> 博士(文学)
		総合人間学総合科目Ⅰ 研究倫理特論 人文統計基礎演習
兼任	教授	藤澤 敦 (58) <平成31年4月> 博士(文学)
		文化財科学特論Ⅰ 文化財科学特論Ⅱ
兼任	准教授	山田 仁史 (45) <平成31年4月> D r . P h i l . (ドイツ)
		広域文化学総合科目Ⅰ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	長岡 龍作 (59) <平成31年4月> 文学修士
		総合人間学総合科目Ⅰ 総合人間学総合科目Ⅱ 学術発表実習Ⅰ 学術発表実習Ⅱ 国際活動実習Ⅰ 国際活動実習Ⅱ 研究・教育実践活動実習Ⅰ 研究・教育実践活動実習Ⅱ
兼任	教授	阿部 恒之 (57) <平成31年4月> 博士(文学)
		総合人間学総合科目Ⅰ 総合人間学総合科目Ⅱ 研究倫理特論 <b>日本語・日本文化論特論Ⅰ</b> <b>日本語・日本文化論特論Ⅱ</b>
兼任	教授	坂井 信之 (49) <平成31年4月> 博士(人間科学)
		総合人間学総合科目Ⅰ 研究倫理特論
兼任	教授	小泉 政利 (54) <平成31年4月> P h . D . (アメリカ)
		<b>総合人間学総合科目Ⅱ</b> 研究倫理特論
兼任	教授	永井 彰 (59) <平成31年4月> 博士(文学)
		総合人間学総合科目Ⅱ
兼任	教授	小松 文晃 (50) <平成31年4月> 博士(文学)
		総合人間学総合科目Ⅰ
兼任	教授	木村 邦博 (60) <平成31年4月> 博士(文学)
		総合人間学総合科目Ⅰ 研究倫理特論 人文統計基礎演習
兼任	教授	藤澤 敦 (59) <平成31年4月> 博士(文学)
		文化財科学特論Ⅰ 文化財科学特論Ⅱ
兼任	教授	<b>尾崎 彰宏</b> (64) <平成31年4月> 修士(文学)
		<b>総合人間学総合科目Ⅱ</b>
兼任	教授	<b>佐藤 嘉倫</b> (61) <平成31年4月> 博士(文学)
		<b>総合人間学総合科目Ⅱ</b>
兼任	准教授	山田 仁史 (46) <平成31年4月> D r . P h i l . (ドイツ)
		広域文化学総合科目Ⅰ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	准教授	谷山 洋三 (46) <平成31年4月> 博士(文学)	兼任	准教授	谷山 洋三 (47) <平成31年4月> 博士(文学)
		広域文化学総合科目 I 人文社会科学研究			広域文化学総合科目 I
兼任	准教授	齋藤 智寛 (43) <平成31年4月> 博士(文学)	兼任	准教授	齋藤 智寛 (44) <平成31年4月> 博士(文学)
		広域文化学総合科目 II 東洋文化学特論 II			広域文化学総合科目 I 広域文化学総合科目 II
兼任	准教授	土屋 育子 (45) <平成31年4月> 博士(文学)	兼任	教授	土屋 育子 (46) <平成31年4月> 博士(文学)
		広域文化学総合科目 I 東洋文化学特論 II			広域文化学総合科目 I 東洋文化学特論 II
兼任	准教授	矢田 尚子 (51) <平成31年4月> 博士(文学)	兼任	准教授	矢田 尚子 (52) <平成31年4月> 博士(文学)
		東洋文化学特論 II			広域文化学総合科目 I
兼任	准教授	大野 晃嗣 (46) <平成31年4月> 博士(文学)	兼任	准教授	大野 晃嗣 (47) <平成31年4月> 博士(文学)
		東洋文化学特論 II			広域文化学総合科目 I 東洋文化学特論 II
兼任	准教授	荻原 理 (50) <平成31年4月> P h. D. (アメリカ)	兼任	准教授	荻原 理 (51) <平成31年4月> P h. D. (アメリカ)
		総合人間学総合科目 I 西洋古典文化特論			総合人間学総合科目 I 西洋古典文化特論
兼任	准教授	原 壱 (49) <平成31年4月> P h. D. (ドイツ)	兼任	准教授	原 壱 (50) <平成31年4月> P h. D. (ドイツ)
		総合人間学総合科目 II 研究倫理特論			総合人間学総合科目 II 研究倫理特論
兼任	准教授	辻本 昌弘 (46) <平成31年4月> 博士(文学)	兼任	准教授	辻本 昌弘 (47) <平成31年4月> 博士(文学)
		研究倫理特論			研究倫理特論
兼任	准教授	木山 幸子 (39) <平成31年4月> 博士(文学)	兼任	准教授	木山 幸子 (40) <平成31年4月> 博士(文学)
		総合人間学総合科目 I			総合人間学総合科目 I
兼任	准教授	FONGARO ENRICO (48) <平成31年4月> laureato in filosofia	兼任	准教授	FONGARO ENRICO (49) <平成31年4月> laureato in filosofia
		現代日本学日本哲学特論 I 現代日本学総合演習 I 現代日本学総合演習 II			現代日本学日本哲学特論 I 現代日本学総合演習 I 現代日本学総合演習 II
兼任	准教授	佐藤 大介 (44) <平成31年4月> 博士(文学)	兼任	准教授	佐藤 大介 (45) <平成31年4月> 博士(文学)
		日本史特論 I			日本史特論 I
			兼任	准教授	村山 達也 (43) <平成31年4月> 博士(哲学)
					総合人間学総合科目 II





専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	奈良 貴史 (57) <平成31年4月> Ph.D.(フランス)			
		考古学特論Ⅲ			
兼任	講師	Max Phillips (49) <平成31年4月> MA (TESOL: Teaching English (to) Speakers (of) Other Langauges)	兼任	講師	Max Phillips (50) <平成31年4月> MA (TESOL: Teaching English (to) Speakers (of) Other Langauges)
		英語研究論文作成法			英語研究論文作成法Ⅰ 英語研究論文作成法Ⅱ
			兼任	講師	高橋 栄一 (53) <平成31年4月> 学士(学校教育学)
					文化財科学研究演習Ⅰ 文化財科学研究演習Ⅱ 文化財科学研究演習Ⅲ 文化財科学研究演習Ⅳ 文化財科学研究実習Ⅰ 文化財科学研究実習Ⅱ
			兼任	講師	須賀 正義 (56) <平成31年4月> 学士(文学)
					文化財科学研究演習Ⅰ 文化財科学研究演習Ⅱ 文化財科学研究演習Ⅲ 文化財科学研究演習Ⅳ
			兼任	講師	白崎 意介 (50) <平成31年4月> 学士(工学)
					文化財科学研究実習Ⅰ 文化財科学研究実習Ⅱ
			兼任	講師	山岡 政紀 (56) <平成31年4月> 博士(言語学)
					日本語学特論Ⅰ
			兼任	講師	柳田 直美 (39) <平成31年4月> 博士(言語学)
					日本語教育学特論Ⅲ
			兼任	講師	池谷 和信 (60) <平成31年4月> 博士(理学)
					考古学特論Ⅲ
			兼任	講師	小倉 紀蔵 (59) <平成31年4月> 修士(文学)
					日本比較思想史特論Ⅰ
			兼任	講師	平田 英夫 (51) <平成31年4月> 博士(文学)
					日本文芸形成論特論Ⅳ
			兼任	講師	七海 雅人 (50) <平成31年4月> 博士(文学)
					日本古代・中世史特論Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	大友 一雄 (63) <平成31年4月> 博士(歴史学)
		日本史特論Ⅱ
兼任	講師	難波 康治 (58) <平成31年4月> 修士(教育学)
		日本語教育方法論研究演習Ⅲ
兼任	講師	高橋(安住) 亜希子 (50) <平成31年4月> 博士(文学)
		日本語研究論文作成法Ⅰ 日本語研究論文作成法Ⅱ

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和元年度】

- ・担当教員見直しのため、高橋章則教授の授業担当科目を削除。
- ・担当教員見直し及び教育内容の充実のため、齋藤倫明教授の授業担当科目を追加。
- ・担当教員見直しのため、大木一夫教授の授業担当科目を削除。
- ・担当教員見直しのため、佐倉由泰教授の授業担当科目を削除。
- ・担当教員見直しのため、柳原敏昭教授の授業担当科目を削除。
- ・担当教員見直しのため、阿子島春教授の授業担当科目を追加及び削除。
- ・片岡龍准教授を教授に昇任。担当教員見直しのため、授業担当科目を削除。
- ・小河原義朗准教授を教授に昇任。担当教員見直しのため、授業担当科目を削除。
- ・横溝博准教授を教授に昇任。担当教員見直しのため、授業担当科目を追加及び削除。
- ・堀裕准教授を教授に昇任。教育内容の充実のため、授業担当科目を追加。
- ・担当教員見直しのため、鹿又喜隆准教授の授業担当科目を削除及び追加。
- ・平成31年4月引野亨輔准教授就任。教育内容の充実のための担当者増及び担当教員見直しのため。
- ・平成31年4月仁平政人准教授就任。教育内容の充実のための担当者増及び担当教員見直しのため。
- ・宇野田尚敬講師就任辞退により、岡安儀之助教に変更。
- ・担当教員見直しのため、三浦秀一教授の授業担当科目を削除。
- ・担当教員見直しのため、川合安教授の授業担当科目を削除。
- ・教育課程の充実のため、阿部恒之教授の授業担当科目を追加。
- ・教育内容の充実のため、小泉政利教授の授業担当科目を追加。
- ・平成31年4月尾崎彰宏教授就任。教育内容の充実のため。
- ・平成31年4月佐藤嘉倫教授就任。教育内容の充実のため。
- ・担当教員見直しのため、谷山洋三准教授の授業担当科目を削除。
- ・教育内容の充実及び担当教員見直しのため、齋藤智寛准教授の授業担当科目を追加及び削除。
- ・土屋育子准教授を教授に昇任。
- ・教育内容の充実及び担当教員見直しのため、矢田尚子准教授の授業担当科目を追加及び削除。
- ・教育内容の充実のため、大野晃嗣准教授の授業担当科目を追加。
- ・平成31年4月村山達也准教授就任。教育内容の充実のため。
- ・平成31年4月大村哲夫准教授就任。担当教員見直し及び教育課程の充実のため。
- ・平成31年4月島崎薫講師を兼任から専任に切替及び准教授に昇任。教育内容充実及び担当教員見直しのため。
- ・平成31年4月KOPYLOVA OLGA助教就任。教育課程の充実のため。
- ・須田良平講師就任辞退により、高橋栄一講師に変更。
- ・古川一郎講師就任辞退により、須賀正美講師に変更。
- ・吉野武講師就任辞退により、白崎恵介講師に変更。
- ・小柳智一講師就任辞退により、山岡正紀講師に変更。
- ・衣川隆生講師就任辞退により、柳田直美講師に変更。
- ・奈良貴史講師就任辞退により、池谷信講師に変更。
- ・教育課程の充実のため、Max Phillips講師の授業担当科目を名称変更及び追加。
- ・平成31年4月小倉紀蔵講師就任。担当教員見直しのため。
- ・平成31年4月平田英夫講師就任。担当教員見直しのため。
- ・平成31年4月七海雅人講師就任。担当教員見直しのため。
- ・平成31年4月大友一雄講師就任。担当教員見直しのため。
- ・平成31年4月難波康治講師就任。担当教員見直しのため。
- ・平成31年4月高橋（安住）亜希子講師就任。担当教員見直し及び教育課程の充実のため

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書（A C）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導補助教員数
3	2	3
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数【大学院】

設置時の計画					現在（報告時）の状況				
教授	准教授	講師	助教	計（A）	教授	准教授	講師	助教	計（B）
7	9	0	0	16	12	8	0	1	21
(12)	(8)	(0)	(1)	(21)					
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数	/		研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数	/	
16	0	0			20	1	0		
(20)	(1)	(0)			(20)	(1)	(0)		
現在（報告時）の完成年度時の状況					現在（報告時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計（C）	教授	准教授	講師	助教	計（D）
11	8	0	1	20	11	8	0	1	20
[ 4 ]	[ Δ1 ]	[ 0 ]	[ 1 ]	[ 4 ]	[ 4 ]	[ Δ1 ]	[ 0 ]	[ 1 ]	[ 4 ]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数	/		研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数	/	
19	1	0			19	1	0		
[ 3 ]	[ 1 ]	[ 0 ]			[ 3 ]	[ 1 ]	[ 0 ]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）  
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段階書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。  
 [ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{20}{16} = \boxed{125} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{21} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
		該当なし								
合計（D）					後任補充状況の集計（E）					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
		該当なし								
合計（F）					後任補充状況の集計（G）					
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について**に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（D）+（F）					後任補充状況の集計（E）+（G）					
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-(3)合計(D)+(F)}{(2)-(2)設置時の計画(A)} = \frac{0}{16} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		該当なし								
合計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および ( ) 書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

5 教員組織の状況

<文学研究科 日本文学専攻 博士後期課程>

(1) -① 担当教員表

【事前伺い時】

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	高橋 章則 (61) <平成31年4月> 博士(社会学)
		日本語研究論文作成法 博士論文研究
専	教授	齋藤 倫明 (63) <平成31年4月> 博士(文学)
		博士論文研究
兼任	講師	齋藤 倫明 (63) <平成32年4月> 博士(文学)
		博士論文研究
専	教授	小林 隆 (60) <平成31年4月> 博士(文学)
		研究倫理特論 博士論文研究
専	教授	大木 一夫 (52) <平成31年4月> 博士(文学)
		博士論文研究
専	教授	佐倉 由泰 (56) <平成31年4月> 博士(文学)
		人文社会科学特別科目 博士論文研究
専	教授	柳原 敏昭 (56) <平成31年4月> 博士(文学)
		博士論文研究
専	教授	安達 宏昭 (52) <平成31年4月> 博士(文学)
		博士論文研究
専	教授	阿子島 香 (62) <平成31年4月> P h . D . (アメリカ)
		博士論文研究
兼任	講師	阿子島 香 (62) <令和3年4月> P h . D . (アメリカ)
		博士論文研究
専	准教授	田中(仙田) 重人 (47) <平成31年4月> 博士(人間科学)
		博士論文研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	高橋 章則 (62) <平成31年4月> 博士(社会学)
		博士論文研究
専	教授	齋藤 倫明 (64) <平成31年4月> 博士(文学)
		博士論文研究
兼任	講師	齋藤 倫明 (64) <令和2年4月> 博士(文学)
		博士論文研究
専	教授	小林 隆 (61) <平成31年4月> 博士(文学)
		人文社会科学特別科目 研究倫理特論 博士論文研究
専	教授	大木 一夫 (53) <平成31年4月> 博士(文学)
		博士論文研究
専	教授	佐倉 由泰 (57) <平成31年4月> 博士(文学)
		人文社会科学特別科目 博士論文研究
専	教授	柳原 敏昭 (57) <平成31年4月> 博士(文学)
		博士論文研究
専	教授	安達 宏昭 (53) <平成31年4月> 博士(文学)
		博士論文研究
専	教授	阿子島 香 (63) <平成31年4月> P h . D . (アメリカ)
		博士論文研究
兼任	講師	阿子島 香 (63) <令和3年4月> P h . D . (アメリカ)
		博士論文研究
専	准教授	田中(仙田) 重人 (48) <平成31年4月> 博士(人間科学)
		博士論文研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	CRAIG CHRISTOPHER ROBIN JAMIE (43) <平成31年4月> P h . D . (アメリカ)
		英語発表技能演習 博士論文研究
専	准教授	片岡 龍 (52) <平成31年4月> 修士(文学)
		博士論文研究
専	准教授	甲田(高橋)直美 (48) <平成31年4月> 博士(人間・環境学)
		博士論文研究
専	准教授	小河原 義朗 (49) <平成31年4月> 博士(文学)
		博士論文研究
専	准教授	横溝 博 (46) <平成31年4月> 博士(文学)
		博士論文研究
専	准教授	堀 裕 (49) <平成31年4月> 博士(文学)
		博士論文研究
専	准教授	籠橋 俊光 (46) <平成31年4月> 博士(文学)
		博士論文研究
専	准教授	鹿又 喜隆 (45) <平成31年4月> 博士(文学)
		博士論文研究
兼任	教授	木村 敬明 (52) <平成31年4月> 博士(文学)
		人文社会科学特別科目

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	CRAIG CHRISTOPHER ROBIN JAMIE (44) <平成31年4月> P h . D . (アメリカ)
		人文社会科学特別科目 英語発表技能演習 博士論文研究
専	教授	片岡 龍 (53) <平成31年4月> 博士(文学)
		博士論文研究
専	准教授	甲田(高橋)直美 (49) <平成31年4月> 博士(人間・環境学)
		博士論文研究
専	教授	小河原 義朗 (50) <平成31年4月> 博士(文学)
		人文社会科学特別科目 博士論文研究
専	教授	横溝 博 (47) <平成31年4月> 博士(文学)
		博士論文研究
専	教授	堀 裕 (50) <平成31年4月> 博士(文学)
		博士論文研究
専	准教授	籠橋 俊光 (47) <平成31年4月> 博士(文学)
		人文社会科学特別科目 博士論文研究
専	准教授	鹿又 喜隆 (46) <平成31年4月> 博士(文学)
		博士論文研究
専	准教授	高崎 薫 (34) <平成31年4月> Ph. D . (オーストラリア)
		博士論文研究
専	准教授	引野 享輔 (44) <平成31年4月> 博士(文学)
		博士論文研究
専	准教授	仁平 政人 (40) <平成31年4月> 博士(文学)
		博士論文研究



専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	今井 勉 (56) <平成31年4月> 博士(文学)
		キャリア設計演習
兼任	教授	戸島 貴代志 (59) <平成31年4月> 博士(文学)
		研究倫理特論
兼任	教授	長岡 龍作 (58) <平成31年4月> 文学修士
		学術発表実習Ⅰ 学術発表実習Ⅱ 国際活動実習Ⅰ 国際活動実習Ⅱ 研究・教育実践活動実習Ⅰ 研究・教育実践活動実習Ⅱ
兼任	教授	阿部 恒之 (56) <平成31年4月> 博士(文学)
		人文社会科学特別科目 研究倫理特論
兼任	教授	坂井 信之 (48) <平成31年4月> 博士(人間科学)
		研究倫理特論
兼任	教授	小泉 政利 (53) <平成31年4月> Ph.D.(アメリカ)
		研究倫理特論
兼任	教授	木村 邦博 (59) <平成31年4月> 博士(文学)
		研究倫理特論 人文統計基礎演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	今井 勉 (57) <平成31年4月> 博士(文学)
		人文社会科学特別科目 キャリア設計演習
兼任	教授	戸島 貴代志 (60) <平成31年4月> 博士(文学)
		人文社会科学特別科目 研究倫理特論
兼任	教授	長岡 龍作 (59) <平成31年4月> 文学修士
		人文社会科学特別科目 学術発表実習Ⅰ 学術発表実習Ⅱ 国際活動実習Ⅰ 国際活動実習Ⅱ 研究・教育実践活動実習Ⅰ 研究・教育実践活動実習Ⅱ
兼任	教授	阿部 恒之 (57) <平成31年4月> 博士(文学)
		人文社会科学特別科目 研究倫理特論 日本語・日本文化論特論Ⅰ 日本語・日本文化論特論Ⅱ
兼任	教授	坂井 信之 (49) <平成31年4月> 博士(人間科学)
		研究倫理特論
兼任	教授	小泉 政利 (54) <平成31年4月> Ph.D.(アメリカ)
		研究倫理特論
兼任	教授	木村 邦博 (60) <平成31年4月> 博士(文学)
		研究倫理特論 人文統計基礎演習
兼任	教授	三浦 秀一 (61) <平成31年4月> 博士(文学)
		人文社会科学特別科目
兼任	教授	沼崎 一郎 (60) <平成31年4月> Ph.D.(アメリカ)
		人文社会科学特別科目
兼任	教授	小松 文晃 (50) <平成31年4月> 博士(文学)
		人文社会科学特別科目
兼任	教授	佐藤 喜倫 (61) <平成31年4月> 博士(文学)
		人文社会科学特別科目

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	准教授	谷山 洋三 (46) <平成31年4月> 博士(文学)	兼任	准教授	谷山 洋三 (47) <平成31年4月> 博士(文学)
		人文社会科学研究			人文社会科学特別科目
兼任	准教授	萩原 理 (51) <平成31年4月> P h. D. (アメリカ)	兼任	准教授	萩原 理 (52) <平成31年4月> P h. D. (アメリカ)
		西洋古典文化特論			西洋古典文化特論
兼任	准教授	原 望 (49) <平成31年4月> P h. D. (ドイツ)	兼任	准教授	原 望 (50) <平成31年4月> P h. D. (ドイツ)
		研究倫理特論			研究倫理特論
兼任	准教授	辻本 昌弘 (46) <平成31年4月> 博士(文学)	兼任	准教授	辻本 昌弘 (47) <平成31年4月> 博士(文学)
		研究倫理特論			研究倫理特論
			兼任	准教授	山田 仁史 (46) <平成31年4月> D r. P h i l. (ドイツ)
					人文社会科学特別科目
			兼任	准教授	大村 哲夫 (59) <平成31年4月> 博士(文学)
					人文社会科学研究 I 人文社会科学研究 II
			兼任	助教	KOPYLOVA OLGA (35) <平成31年4月> 博士(文学)
					日本語・日本文化論特論 I 日本語・日本文化論特論 II
兼任	講師	Max Phillips (49) <平成31年4月> MA (TESOL: Teaching English (to) Speakers (of) Other Langaues)	兼任	講師	Max Phillips (50) <平成31年4月> MA (TESOL: Teaching English (to) Speakers (of) Other Langaues)
		英語研究論文作成法			英語研究論文作成法 I 英語研究論文作成法 II
			兼任	講師	高橋(安住) 亜希子 (50) <平成31年4月> 博士(文学)
					日本語研究論文作成法 I 日本語研究論文作成法 II

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和元年度】

- ・担当教員見直しのため、高橋章則教授の授業担当科目を削除。
- ・教育内容の充実のため、小林隆教授の授業担当科目を追加。
- ・教育内容の充実のため、CRAIG CHRISTOPHER ROBIN JAMIE准教授の授業担当科目を追加。
- ・片岡龍准教授を教授に昇任。
- ・小河原善朗准教授を教授に昇任。教育内容の充実のため、授業担当科目を追加。
- ・横溝博准教授を教授に昇任。
- ・堀裕准教授を教授に昇任。
- ・教育内容の充実のため、龍橋俊光准教授の授業担当科目を追加。
- ・平成31年4月島崎薫准教授就任。教育内容の充実のための担当者増。
- ・平成31年4月引野亨輔准教授就任。教育内容の充実のための担当者増。
- ・平成31年4月仁平政人准教授就任。教育内容の充実のための担当者増。
- ・木村敏明教授就任辞退。他に担当教員がいるため支障なし。
- ・教育内容の充実のため、今井勉教授の授業担当科目を追加。
- ・教育内容の充実のため、戸島貴代志教授の授業担当科目を追加。
- ・教育内容の充実のため、長岡龍作教授の授業担当科目を追加。
- ・教育課程の充実のため、阿部恒之教授の授業担当科目を追加。
- ・平成31年4月三浦秀一教授就任。教育内容の充実のための担当者増。
- ・平成31年4月沼崎一郎教授就任。教育内容の充実のための担当者増。
- ・平成31年4月小松丈晃教授就任。教育内容の充実のための担当者増。
- ・平成31年4月佐藤嘉倫教授就任。教育内容の充実のための担当者増。
- ・教育内容の充実及び担当教員見直しのため、谷山洋三准教授の授業担当科目を追加及び削除。
- ・平成31年4月山田仁史准教授就任。教育内容の充実のための担当者増。
- ・平成31年4月大村哲夫准教授就任。担当教員見直し及び教育課程の充実のため。
- ・平成31年4月KOPYLOVA OLGA助教就任。教育課程の充実のため。
- ・教育課程の充実のため、Max Phillips講師の授業担当科目を名称変更及び追加。
- ・平成31年4月高橋（安住）亜希子講師就任。担当教員見直し及び教育課程の充実のため。

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書（A C）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導補助教員数
4	3	3
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数【大学院】

設置時の計画					現在（報告時）の状況				
教授	准教授	講師	助教	計（A）	教授	准教授	講師	助教	計（B）
6	9	0	0	15	12	8	0	0	20
(12)	(8)	(0)	(0)	(20)					
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数	/		研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数	/	
15	0	0			20	0	0		
(20)	(0)	(0)							
現在（報告時）の完成年度時の状況					現在（報告時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計（C）	教授	准教授	講師	助教	計（D）
10	8	0	0	18	10	8	0	0	18
[ 4 ]	[ Δ1 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 3 ]	[ 4 ]	[ Δ1 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 3 ]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数	/		研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数	/	
18	0	0			18	0	0		
[ 3 ]	[ 0 ]	[ 0 ]			[ 3 ]	[ 0 ]	[ 0 ]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）  
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、 定年を延長して採用している 教員数	完成年度時（上記（C））の教員うち、 定年を延長して採用する 教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段階書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。  
 [ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C）}}{\text{設置時の計画（A）}} = \frac{18}{15} = \boxed{120} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況（B）}} = \frac{0}{20} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
		該当なし								
合計（D）					後任補充状況の集計（E）					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
		該当なし								
合計（F）					後任補充状況の集計（G）					
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について**に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（D）+（F）					後任補充状況の集計（E）+（G）					
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-(3)合計(D)+(F)}{(2)-(2)設置時の計画(A)} = \frac{0}{15} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		該当なし								
合計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および ( ) 書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

## 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の の 実 施 計 画
	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

<文学研究科 日本学専攻>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

#### ① 実施体制

##### a 委員会の設置状況

運営会議、コンプライアンス推進委員会

##### b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

<運営会議>

木曜日を開催曜日とし、年間約20回開催。参加者は、研究科長（委員長）、副研究科長（国際交流室長を兼ねる）、評議員（評価・研究推進室長を兼ねる）、総務企画室長、学務教育室長、入試渉外室長、社会連携室長、事務長で、各係長が陪席する。

<コンプライアンス推進委員会>

令和元年度は不定期開催を予定。参加者は、研究科長（委員長）、副研究科長、評議員、事務長。

##### c 委員会の審議事項等

<運営会議>

研究科及び学部への運営に関する全般（中期目標・中期計画に関する事柄、各種評価・研究推進に関する事柄、を含む）。

<コンプライアンス推進委員会>

公正な研究・教育活動推進のための施策全般（研究倫理遵守・ハラスメント防止に関する教育・FDの実施に関する事柄、教員研修に関する事柄、研究データの保存・管理に関する事柄を含む）。

#### ② 実施状況

##### a 実施内容

令和元年度は、評価・研究推進室（運営会議）及びコンプライアンス推進委員会の企画のもと、APRIN eラーニングプログラムの100%受講を実現するとともに、「研究倫理に関するFD」を実施する予定である。

また、学務教育室（運営会議）の企画のもと、「教育に関するFD」を実施する予定である。

本学高度教養教育・学生支援機構・大学教育支援センターが提供する「新任教員プログラム（NFP）」を新任教員に受講させる。また、同センターが提供する「専門性開発プログラム（PDF）」の受講を教員に推奨する。

##### b 実施方法

APRIN eラーニングプログラムは ISTUを利用して実施する。FDは講義形式で実施する。高度教養教育・学生支援機構から講師を派遣してもらう。



c 開催状況（教員の参加状況含む）

APRIN eラーニングプログラムは随時、FDは各年1回を予定。全員の受講を促す。また新任教員研修は、NFPに沿って1年間をかけて実施される。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

教育方法等に関して「教育に関するFD」で得られた知見を授業改善に反映させるべく、学務教育室（運営会議）を中心に検討を進める。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

すべての開講科目で実施。セメスターの終了時期にアンケートを配付し、実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

アンケート結果は教員にフィードバックし、次学期以降の授業の改善に役立てている。評価結果の公開は行っていない。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

（4）自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置の趣旨・目的の達成に向けて設置計画に沿って取り組んでいるところである。

設置の趣旨・目的の達成状況に関する自己点検・評価としては、東北大学が毎年度実施している部局評価において実施するが、これと並行して評価・研究推進室（運営会議）を中心に、当研究科独自の自己点検評価を行う予定である。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

令和元年度中に公表を予定。

b 公表方法

自己点検・評価報告書を作成し公表する予定。

③ 認証評価を受ける計画

令和3年度に評価機関の評価を受けるべく、学内で検討中。

（注）・設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）

a ホームページへの公表予定の有無 （  有 ・  無 ）

b 公表有の場合の公表（予定）時期 （ 令和元年8月1日 ）

b 公表無の場合の特段の理由 （ ）

（注） ・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

国立大学法人東北大学

## (2) 大学名

東北大学大学院

## (3) 調査対象大学等の位置

〒980-8576  
宮城県仙台市青葉区川内27番1号  
(〒980-8577  
宮城県仙台市青葉区片平2丁目1番1号)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(オオノ ヒデオ) 大野 英男 (平成30年4月)		
研究科長	(モリモト コウイチ) 森本 浩一 (平成29年4月)		
専攻長	(カネコ ヨシアキ) 金子 義明 (平成31年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合（令和元年度までの5年間）ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
文学研究科 広域文化学専攻 （博士前期課程） 修士（文学） 修士（学術）	文学関係	2年	29人	— 年次人	58人	基礎となる学部等 文学部

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和元年度		令和2年度		平均入学定員 超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	29 ( ) [ ]	— ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	1.00倍	—	
志願者数	52 ( 0 ) [ 22 ]	— ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]			
受験者数	49 ( 0 ) [ 20 ]	— ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]			
合格者数	32 ( 0 ) [ 9 ]	— ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]			
B 入学者数	29 ( 0 ) [ 9 ]	— ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]			
入学定員超過率 B/A	1.00						

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ ( )内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和元年度		令和2年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	29 [ 9 ] ( - )	- [ - ] ( - )	[ ] ( )	[ ] ( )	
2年次	/		[ ] ( )	[ ] ( )	
計	29 [ 9 ] ( - )		[ ] ( )		

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和元年度	29 人	0 人	令和元年度	0 人	0 人	
令和2年度	人	人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
合計		0 人		0 人	0 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
  - ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
  - ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
  - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(0人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{29} = \boxed{0} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{0} \%$$

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合（令和元年度までの5年間）ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
文学研究科 広域文化学専攻 （博士後期課程） 博士（文学） 博士（学術）	文学関係	3年	12人	— 年次人	36人	基礎となる学部等 文学部

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和元年度		令和2年度		令和3年度		平均入学定員 超過率	開設年度から報告 年度までの平均 入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	12 (—) [—]		( ) [ ]		( ) [ ]		0.75倍	—	
志願者数	12 ( 0 ) [ 2 ]	— ( — ) [ — ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]			
受験者数	12 ( 0 ) [ 2 ]	— ( — ) [ — ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]			
合格者数	9 ( 0 ) [ 1 ]	— ( — ) [ — ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]			
B 入学者数	9 ( 0 ) [ 1 ]	— ( — ) [ — ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]			
入学定員超過率 B/A	0.75								

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ ( ) 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和元年度		令和2年度		令和3年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	9 [ 1 ] ( - )	- [ - ] ( - )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	
2年次	/		[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	
3年次	/		/		[ ] ( )	[ ] ( )	
計	9 [ 1 ] ( - )		[ ] ( )		[ ] ( )		

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。



(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和元年度	9人	0人	令和元年度	0人	0人	
令和2年度	人	人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
令和3年度	人	人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
合計		0人		0人	0人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{9} = \boxed{0} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{0} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

## 2 授業科目の概要

<文学研究科 広域文化学専攻 博士前期課程>

### (1) ① 授業科目表

#### 【事前伺い時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合科目	日本学総合科目Ⅰ	1前		2								兼12
	日本学総合科目Ⅱ	1後			2							兼17
	広域文化学総合科目Ⅰ	1前	2			10	3					
	広域文化学総合科目Ⅱ	1後	2			2	1					
	総合人間学総合科目Ⅰ	1前		2								兼7
	総合人間学総合科目Ⅱ	1後			2							兼4
	小計(6科目)	—	4	4	2	10	4					兼26
特論	文化人類学特論Ⅰ	1・2前		2								兼1
	文化人類学特論Ⅱ	1・2後		2								兼1
	文化人類学特論Ⅲ	1・2前		2								兼1
	文化人類学特論Ⅳ	1・2後		2			1					
	宗教学特論Ⅰ	1前		2		1						
	宗教学特論Ⅱ	1後		2			1					
	宗教学特論Ⅲ	1後		2								兼1
	死生学特論Ⅰ	1前		2			1					
	死生学特論Ⅱ	1後		2			1					
	死生学特論Ⅲ	1前		2			1					
	実践宗教学特論Ⅰ	1前		2			1					
	実践宗教学特論Ⅱ	1後		2			1					
	インド学特論Ⅰ	1前		2								兼1
	インド学特論Ⅱ	1後		2								兼1
	インド仏教史特論Ⅰ	1前		2		1						
	インド仏教史特論Ⅱ	1後		2		1						
	インド学仏教史特論Ⅰ	1前		2		1						
	東洋文化学特論Ⅰ	1前		2		2	4					
	東洋文化学特論Ⅱ	1後		2		2	4					
	中国語学中国文学特論Ⅰ	1前		2			1					
	中国語学中国文学特論Ⅱ	1後		2			1					
	中国語学中国文学特論Ⅲ	1前		2								兼1
	中国思想特論Ⅰ	1前		2			1					
	中国思想特論Ⅱ	1後		2			1					
	中国思想特論Ⅲ	1前		2								兼1
	東洋古代中世史特論Ⅰ	1前		2		1						
	東洋古代中世史特論Ⅱ	1後		2		1						
	東洋古代中世史特論Ⅲ	1前		2		1						
	東洋近世史特論Ⅰ	1前		2			1					
	東洋近世史特論Ⅱ	1後		2			1					
	東洋近世史特論Ⅲ	1前		2								兼1
	西洋文化学特論Ⅰ	1前		2			1					
	西洋文化学特論Ⅱ	1後		2			1					
英文学特論Ⅰ	1・2前		2		1							
英文学特論Ⅱ	1・2後		2		1							
英文学特論Ⅲ	1・2前		2		1							
英文学特論Ⅳ	1・2後		2		1							
英語文化論特論Ⅰ	1・2前		2								兼1	
英語文化論特論Ⅱ	1・2前		2								兼1	

#### 【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合科目	日本学総合科目Ⅰ	1前		2								兼13
	日本学総合科目Ⅱ	1後			2							兼17
	広域文化学総合科目Ⅰ	1前	2			10	5					
	広域文化学総合科目Ⅱ	1後	2			2	1					
	総合人間学総合科目Ⅰ	1前		2								兼7
	総合人間学総合科目Ⅱ	1後			2							兼8
	小計(6科目)	—	4	4	4	10	5					兼31
特論	文化人類学特論Ⅰ	1・2前		2								兼1
	文化人類学特論Ⅱ	1・2前		2								兼1
	文化人類学特論Ⅲ(未開講)	1・2前		2								兼1
	文化人類学特論Ⅳ(未開講)	1・2後		2			1					
	宗教学特論Ⅰ	1後		2		1						
	宗教学特論Ⅱ	1前		2			1					
	宗教学特論Ⅲ	1後		2								兼1
	死生学特論Ⅰ	1前		2			1					
	死生学特論Ⅱ	1後		2			1					
	死生学特論Ⅲ	1後		2								兼1
	実践宗教学特論Ⅰ	1前		2			1					兼1
	実践宗教学特論Ⅱ	1後		2			1					兼1
	実践宗教学特論Ⅲ	1前		2		1						兼1
	実践宗教学特論Ⅳ	1後		2		1						兼1
	インド学特論Ⅰ	1前		2				1				
	インド学特論Ⅱ	1後		2				1				
	インド仏教史特論Ⅰ	1前		2		1						
	インド仏教史特論Ⅱ	1後		2		1						
	インド学仏教史特論Ⅰ	1前		2		1						兼1
	東洋文化学特論Ⅰ	1前		2		1	2					
	東洋文化学特論Ⅱ	1後		2		2	1					
	中国語学中国文学特論Ⅰ	1前		2			1					
	中国語学中国文学特論Ⅱ	1後		2				1				
	中国語学中国文学特論Ⅲ	1前		2								兼1
	中国思想特論Ⅰ	1後		2			1					
	中国思想特論Ⅱ	1前		2			1					
	中国思想特論Ⅲ	1後		2								兼1
	東洋古代中世史特論Ⅰ	1前		2		1						
	東洋古代中世史特論Ⅱ	1後		2		1						
	東洋古代中世史特論Ⅲ	1後		2		1						兼1
	東洋近世史特論Ⅰ	1前		2			1					
	東洋近世史特論Ⅱ	1後		2			1					
	東洋近世史特論Ⅲ	1前		2								兼1
西洋文化学特論Ⅰ	1前		2			1						
西洋文化学特論Ⅱ	1後		2			1						
英文学特論Ⅰ	1・2前		2		1							
英文学特論Ⅱ	1・2後		2		1							
英文学特論Ⅲ(未開講)	1・2前		2		1							
英文学特論Ⅳ(未開講)	1・2後		2		1							
英語文化論特論Ⅰ	1・2前		2								兼1	
英語文化論特論Ⅱ(未開講)	1・2前		2								兼1	





学 術 実 践 活 動	学術発表実習Ⅰ	1・2通		2								兼1
	学術発表実習Ⅱ	1・2通		2								兼1
	国際活動実習Ⅰ	1・2通		2								兼1
	国際活動実習Ⅱ	1・2通		2								兼1
	研究・教育実践活動実習Ⅰ	1・2通		2								兼1
	研究・教育実践活動実習Ⅱ	1・2通		2								兼1
	小計（6科目）	—		12								兼1
論 文 研 究	修士論文研究	1・2通	8			14	12					兼1
	小計（1科目）	—	8			14	12					兼1
合計（154科目）		—	12	298	2	14	12					兼59
修了要件及び履修方法												
<p>修了要件30単位を、総合科目6単位、専門科目等16単位、修士論文研究8単位から構成する。総合科目は、広域文化学専攻で開設するⅠ・Ⅱ（4単位）及び他専攻で開設するⅠ（2単位）を必修とする。専門科目等は、専攻で開設する専門科目（特論・総合演習・研究演習・研究実習）から16単位を選択必修とするが、このうち6単位までを、スキル科目、学術実践活動又は他専攻の専門科目で充当することができる。修士論文研究は学期毎に2単位、修了までに計8単位を履修しなければならない。</p>												

学 術 実 践 活 動	学術発表実習Ⅰ	1・2通		2								兼1
	学術発表実習Ⅱ	1・2通		2								兼1
	国際活動実習Ⅰ	1・2通		2								兼1
	国際活動実習Ⅱ	1・2通		2								兼1
	研究・教育実践活動実習Ⅰ	1・2通		2								兼1
	研究・教育実践活動実習Ⅱ	1・2通		2								兼1
	小計（6科目）	—		12								兼1
論 文 研 究	修士論文研究	1・2通	8					16	12			兼1
	小計（1科目）	—	8					16	12			兼1
合計（162科目）		—	12	314	4	16	12					兼57
修了要件及び履修方法												
<p>修了要件30単位を、総合科目6単位、専門科目等16単位、修士論文研究8単位から構成する。総合科目は、広域文化学専攻で開設するⅠ・Ⅱ（4単位）及び他専攻で開設するⅠ（2単位）を必修とする。専門科目等は、専攻で開設する専門科目（特論・総合演習・研究演習・研究実習）から16単位を選択必修とするが、このうち6単位までを、スキル科目、学術実践活動又は他専攻の専門科目で充当することができる。修士論文研究は学期毎に2単位、修了までに計8単位を履修しなければならない。</p>												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
  - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て（兼任、兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「（未開講）」として記入してください。
  - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
  - ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。（2つの表が1ページに表示されるようにしてください。）

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和元年度】

・教育内容の充実のため、「日本学総合科目Ⅰ」の専任教員等の配置を「兼12」から「兼13」に変更。  
 ・教育内容の充実のため、「広域文化学総合科目Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授3」から「准教授5」に変更。  
 ・教育内容の充実のため、「総合人間学総合科目Ⅱ」の専任教員等の配置を「兼4」から「兼8」に変更。  
 ・事前伺い時の記載誤りのため、総合科目の自由科目の小計を「2単位」から「4単位」に変更。  
 ・教育効果向上のため、「文化人類学特論Ⅱ」の開講時期を「1・2後」から「1・2前」に変更。  
 ・教育効果向上のため、「宗教学特論Ⅰ」の開講時期を「1前」から「1後」に変更。  
 ・教育効果向上のため、「宗教学特論Ⅱ」の開講時期を「1後」から「1前」に変更。  
 ・担当教員見直しのため、「死生学特論Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。  
 ・担当教員見直しのため、「死生学特論Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。  
 ・教育効果向上及び担当教員見直しのため、「死生学特論Ⅲ」の開講時期を「1前」から「1後」に、専任教員等の配置を「准教授1」から「兼1」に変更。  
 ・教育課程の充実のため、「実践宗教学特論Ⅲ」を新設。  
 ・教育課程の充実のため、「実践宗教学特論Ⅳ」を新設。  
 ・准教授1名採用（兼任講師からの切替）のため、「インド学特論Ⅰ」の専任教員等の配置を「兼1」から「准教授1」に変更。  
 ・准教授1名採用のため、「インド学特論Ⅱ」の専任教員等の配置を「兼1」から「准教授1」に変更。  
 ・担当教員見直しのため、「インド学仏教史特論Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼1」に変更。  
 ・担当教員見直しのため、「東洋文化学特論Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授2、准教授4」から「教授1、准教授2」に変更。  
 ・担当教員見直し及び准教授から教授への昇任のため、「東洋文化学特論Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授2、准教授4」から「教授2、准教授1」に変更。  
 ・准教授から教授への昇任のため、「中国語学中国文学特論Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。  
 ・教育効果向上のため、「中国思想特論Ⅰ」の開講時期を「1前」から「1後」に変更。  
 ・教育効果向上のため、「中国思想特論Ⅱ」の開講時期を「1後」から「1前」に変更。  
 ・教育効果向上のため、「中国思想特論Ⅲ」の開講時期を「1前」から「1後」に変更。  
 ・教育効果向上及び担当教員見直しのため、「東洋古代中世史特論Ⅲ」の開講時期を「1前」から「1後」に、専任教員等の配置を「教授1」から「兼1」に変更。  
 ・教育課程の充実のため、「東洋近世史特論Ⅳ」を新設。  
 ・事前伺い時の記載誤りのため、「英語学特論Ⅰ」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。  
 ・事前伺い時の記載誤りのため、「英語学特論Ⅲ」の専任教員等の配置を「兼1」から「兼2」に変更。  
 ・担当教員見直しのため、「ドイツ文化学特論Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼1」に変更。  
 ・教育効果向上のため、「フランス文化学特論Ⅱ」の開講時期を「1後」から「1前」に変更。  
 ・担当教員見直しのため、「西洋史特論Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼1」に変更。  
 ・教育効果向上のため、「西洋史特論Ⅱ」の開講時期を「1後」から「1前」に変更。  
 ・教育効果向上のため、「西洋史特論Ⅲ」の開講時期を「1後」から「1前」に変更。  
 ・教育効果向上のため、「比較文化史学特論Ⅰ」の開講時期を「1前」から「1後」に変更。  
 ・教授1名採用及び教育内容の充実のため、「宗教学死生学総合演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1、准教授2」から「教授2、准教授2、兼1」に変更。  
 ・教授1名採用及び教育内容の充実のため、「宗教学死生学総合演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1、准教授2」から「教授2、准教授2、兼1」に変更。  
 ・准教授から教授への昇任のため、「中国語学中国文学史総合演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授2」から「教授1、准教授1」に変更。  
 ・准教授から教授への昇任のため、「中国語学中国文学史総合演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授2」から「教授1、准教授1」に変更。  
 ・教育効果向上のため、「文化人類学研究演習Ⅲ」の開講時期を「1前」から「1後」に変更。  
 ・担当教員見直しのため、「宗教学死生学研究演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。  
 ・担当教員見直しのため、「宗教学死生学研究演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。  
 ・准教授1名採用（兼任講師から切替）のため、「インド学研究演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「兼1」から「准教授1」に変更。  
 ・准教授1名採用のため、「インド学研究演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「兼1」から「准教授1」に変更。  
 ・准教授から教授への昇任のため、「中国語学中国文学研究演習Ⅲ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。  
 ・准教授から教授への昇任のため、「中国語学中国文学研究演習Ⅳ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。  
 ・教育効果向上及び担当教員見直しのため、「中国思想文献研究演習Ⅰ」の開講時期を「1前」から「1後」に、専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。  
 ・教育効果向上及び担当教員見直しのため、「中国思想文献研究演習Ⅱ」の開講時期を「1後」から「1前」に、専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。  
 ・教授1名採用及び教育内容の充実のため、「応用死生学研究実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1・准教授1・兼1」に変更。  
 ・教授1名採用及び教育内容の充実、「応用死生学研究実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1・准教授1・兼1」に変更。  
 ・教授1名採用及び教育内容の充実のため、「応用死生学研究実習Ⅲ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1・准教授1・兼1」に変更。  
 ・教授1名採用及び教育内容の充実のため、「応用死生学研究実習Ⅳ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1・准教授1・兼1」に変更。  
 ・教育課程の充実のため、授業科目名を「人文社会科学研究Ⅰ」に変更するとともに、「人文社会科学研究Ⅱ」を新設。  
 ・教育課程の充実のため、「日本語・日本文化論特論Ⅰ」を新設。  
 ・教育課程の充実のため、「日本語・日本文化論特論Ⅱ」を新設。  
 ・教育課程の充実のため、授業科目名を「英語研究論文作成法Ⅰ」から「英語研究論文作成法Ⅱ」に変更するとともに、「英語研究論文作成法Ⅱ」を新設。  
 ・教育課程の充実のため、授業科目名を「日本語研究論文作成法Ⅰ」から「日本語研究論文作成法Ⅱ」に変更するとともに、「日本語研究論文作成法Ⅱ」を新設。  
 ・教育効果向上のため、「人文統計基礎演習」の開講時期を「1後」から「1前」に変更。  
 ・教授1名及び准教授1名採用並びに准教授から教授への昇任のため、「修士論文研究」の専任教員等の配置を「教授14、准教授12」から「教授16、准教授12」に変更。

- (注) ・ 2(1)① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。  
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。  
 ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
3 科目	149 科目	2 科目	154 科目	3 科目	157 科目 [ 8 ]	2 科目	162 科目 [ 8 ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	文化人類学特論Ⅲ	2	1・2前	専門	選択	隔年開講（令和元年度非開講）
2	文化人類学特論Ⅳ	2	1・2後	専門	選択	隔年開講（令和元年度非開講）
3	英文学特論Ⅲ	2	1・2前	専門	選択	隔年開講（令和元年度非開講）
4	英文学特論Ⅳ	2	1・2後	専門	選択	隔年開講（令和元年度非開講）
5	英語文化論特論Ⅱ	2	1・2前	専門	選択	隔年開講（令和元年度非開講）
6	英文学・英語学論文作成法特論Ⅲ	2	1・2前	専門	選択	隔年開講（令和元年度非開講）
7	英文学・英語学論文作成法特論Ⅳ	2	1・2後	専門	選択	隔年開講（令和元年度非開講）
8	英語学基礎特論Ⅱ	2	1・2前	専門	選択	隔年開講（令和元年度非開講）
9	英語学特論Ⅲ	2	1・2前	専門	選択	隔年開講（令和元年度非開講）
10	英語学特論Ⅳ	2	1・2後	専門	選択	隔年開講（令和元年度非開講）
11	英語学総合演習Ⅲ	2	1・2前	専門	選択	隔年開講（令和元年度非開講）
12	英語学総合演習Ⅳ	2	1・2後	専門	選択	隔年開講（令和元年度非開講）
13	英文学研究演習Ⅲ	2	1・2前	専門	選択	隔年開講（令和元年度非開講）
14	英文学研究演習Ⅳ	2	1・2後	専門	選択	隔年開講（令和元年度非開講）
15	英語文化論研究演習Ⅲ	2	1・2前	専門	選択	隔年開講（令和元年度非開講）
16	英語文化論研究演習Ⅳ	2	1・2後	専門	選択	隔年開講（令和元年度非開講）
17	英語学研究演習Ⅲ	2	1・2前	専門	選択	隔年開講（令和元年度非開講）
18	英語学研究演習Ⅳ	2	1・2後	専門	選択	隔年開講（令和元年度非開講）

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。  
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>「大学の所見」 未開講科目は、隔年開講の科目であるため今年度は開講しないものである。学生には在学期間中の履修機会を確保しているため、教育上の問題はない。</p> <p>「学生への周知方法」 学生便覧及び入学オリエンテーションにおいて周知を図っている。</p>
--

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{18}{154} = \boxed{11.68}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。  
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。



## 2 授業科目の概要

<文学研究科 広域文化学専攻 博士後期課程>

### (1) ① 授業科目表

#### 【事前伺い時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
総合科目	人文社会科学特別科目	1前	2			1						兼2	
	小計(1科目)	—	2			1						兼2	
スキル科目	研究倫理特論	1前	2									兼8	
	西洋古典文化特論	1後	2									兼1	
	人文社会科学研究	1前	2			1							
	英語発表技能演習	1後	2									兼1	
	英語研究論文作成法	1前	2									兼1	
	日本語研究論文作成法	1前	2									兼1	
	人文統計基礎演習	1後	2									兼1	
	キャリア設計演習	1後	2			1							
	小計(8科目)	—		16		1	1						兼13
	学術実践活動	学術発表実習Ⅰ	1・2・3通	2									兼1
学術発表実習Ⅱ		1・2・3通	2									兼1	
国際活動実習Ⅰ		1・2・3通	2									兼1	
国際活動実習Ⅱ		1・2・3通	2									兼1	
研究・教育実践活動実習Ⅰ		1・2・3通	2									兼1	
研究・教育実践活動実習Ⅱ		1・2・3通	2									兼1	
小計(6科目)	—		12									兼1	
論文研究	博士論文研究	1・2・3通	8			14	12					兼1	
	小計(1科目)	—	8			14	12					兼1	
合計(16科目)			—	10	28		14	12					兼16
修了要件及び履修方法													
修了要件12単位を、総合科目2単位、スキル科目又は学術実践活動(選択必修)2単位、博士論文研究8単位から構成する。博士論文研究は毎学期2単位、修了までに計8単位を履修しなければならない。													

#### 【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
総合科目	人文社会科学特別科目	1前	2			3	2					兼10	
	小計(1科目)	—	2			3	2					兼10	
スキル科目	研究倫理特論	1前	2									兼8	
	西洋古典文化特論	1後	2									兼1	
	人文社会科学研究Ⅰ	1前	2									兼1	
	人文社会科学研究Ⅱ	1後	2									兼1	
	日本語・日本文化論特論Ⅰ	1前	2									兼2	
	日本語・日本文化論特論Ⅱ	1後	2									兼2	
	英語発表技能演習	1後	2									兼1	
	英語研究論文作成法Ⅰ	1前	2									兼1	
	英語研究論文作成法Ⅱ	1後	2									兼1	
	日本語研究論文作成法Ⅰ	1前	2									兼1	
	日本語研究論文作成法Ⅱ	1後	2									兼1	
	人文統計基礎演習	1前	2									兼1	
	キャリア設計演習	1後	2			1							
小計(13科目)	—		26		1							兼14	
学術実践活動	学術発表実習Ⅰ	1・2・3通	2									兼1	
	学術発表実習Ⅱ	1・2・3通	2									兼1	
	国際活動実習Ⅰ	1・2・3通	2									兼1	
	国際活動実習Ⅱ	1・2・3通	2									兼1	
	研究・教育実践活動実習Ⅰ	1・2・3通	2									兼1	
	研究・教育実践活動実習Ⅱ	1・2・3通	2									兼1	
小計(6科目)	—		12									兼1	
論文研究	博士論文研究	1・2・3通	8			16	12					兼1	
	小計(1科目)	—	8			16	12					兼1	
合計(21科目)			—	10	38		16	12					兼21
修了要件及び履修方法													
修了要件12単位を、総合科目2単位、スキル科目又は学術実践活動(選択必修)2単位、博士論文研究8単位から構成する。博士論文研究は毎学期2単位、修了までに計8単位を履修しなければならない。													

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
  - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任・兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
  - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
  - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。
- (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

**【令和元年度】**

- ・教育内容の充実のため、「人文社会科学特別科目」の専任教員等の配置を「教授1、兼2」から「教授3、准教授2、兼10」に変更。
- ・教育課程の充実のため、授業科目名を「人文社会科学研究」から「人文社会科学研究Ⅰ」に変更するとともに、「人文社会科学研究Ⅱ」を新設。
- ・教育課程の充実のため、「日本語・日本文化論特論Ⅰ」を新設。
- ・教育課程の充実のため、「日本語・日本文化論特論Ⅱ」を新設。
- ・教育課程の充実のため、授業科目名を「英語研究論文作成法」から「英語研究論文作成法Ⅰ」に変更するとともに、「英語研究論文作成法Ⅱ」を新設。
- ・教育課程の充実のため、授業科目名を「日本語研究論文作成法」から「日本語研究論文作成法Ⅰ」に変更するとともに、「日本研究論文作成法Ⅱ」を新設。
- ・教育効果向上のため、「人文統計基礎演習」の開講時期を「1後」から「1前」に変更。
- ・教授1名及び准教授1名採用並びに准教授から教授への昇任のため、「博士論文研修」の専任教員等の配置を「教授14・准教授12」から「教授16・准教授12」に変更。

- (注) ・ 2(1)① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
2	14	0	16	2	19	0	21	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
				[ 0 ]	[ 5 ]	[ 0 ]	[ 5 ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{16} = \boxed{0}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計				
	校舎敷地	21,915,365㎡	0㎡	0㎡	21,915,365㎡				
	運動場用地	132,573㎡	0㎡	0㎡	132,573㎡				
	小 計	22,047,938㎡	0㎡	0㎡	22,047,938㎡				
	そ の 他	0㎡	0㎡	0㎡	0㎡				
	合 計	22,047,938㎡	0㎡	0㎡	22,047,938㎡				
(2) 校舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計				
		1,121,513㎡ (1,121,513㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	1,121,513㎡ (1,121,513㎡)				
(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設				
	12 室	16 室	13 室	1 室 (補助職員 3 人)	0 室 (補助職員 0 人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	文学研究科広域文化学専攻			29 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機械・器具	標 本	研究科単位での特定不能なため、大学全体の数	
		〔うち外国書〕	〔うち外国書〕	電子ジャーナル					
	冊	種	〔うち外国書〕	点	点	点			
	文学研究科広域文化学専攻	4,168,468 [1,974,876] (4,168,468 [1,974,876])	86,198 [42,422] (86,198 [42,422])	13,287 [13,272] (13,287 [13,272])	8,242 (8,242)	45,198 (45,198)	2,432,339 (2,432,339)		
計	4,168,468 [1,974,876] (4,168,468 [1,974,876])	86,198 [42,422] (86,198 [42,422])	13,287 [13,272] (13,287 [13,272])	8,242 (8,242)	45,198 (45,198)	2,432,339 (2,432,339)			
(6) 図書館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数				
	45,481㎡		2,885席		4,328,122冊		大学全体		
(7) 体育館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要						
	7,024㎡		武道場						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員 1 人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円	
		共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生 1 人当り納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次		
		千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要								

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第 2 号 (その 1 の 1) に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1) 校地等」及び「(2) 校舎」は大学全体の数字を、その他の項目は A C 対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨 (所要時間・距離等) を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5) 図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年 5 月 1 日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更 (校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延) がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
  - ・ 国立大学については「(8) 経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

#### 4 既設大学等の状況

大学の名称		東北大学									備考
既設学部等の名称		修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入 学定員 超過率	定員変更 年度 (AC 期間の学 科のみ)	開設 年度	所在地	
		年	人	年次 人	人		倍	年度	年度		
文学部	人文社会学科	4	210	—	840	学士 (文学)	1.06		平9年度 改組	宮城県仙台市青葉 区川内27番1号	大11年学部設置 法文学部から分 立(昭24年度)
教育学部	教育科学科	4	70	—	280	学士 (教育学)	1.05		平10年 度改組	宮城県仙台市青葉 区川内27番1号	昭24年度学部設 置
法学部	法学科	4	160	—	640	学士 (法学)	1.06		昭24年 度	宮城県仙台市青葉 区川内27番1号	
経済学部	経済学科	4	130	3年次 10	540	学士 (経済学)	1.04		昭24年 度	宮城県仙台市青葉 区川内27番1号	大11年学部設置 法文学部から分 立(昭24年度)
	経営学科	4	130	3年次 10	540				昭43年 度		
	計		260	20	1,080						
理学部	数学科	4	45	—	180	学士 (理学)	0.99		昭24年 度	宮城県仙台市青葉 区荒巻字青葉6番3 号	大8年理科大学 から理学部とな る
	物理学科	4	78	—	312				平6年度 改組・統 合		
	宇宙地球物理学科	4	41	—	164				平4年度 改組		
	化学科	4	70	—	280				平7年度 改組・統 合		
	地圏環境科学科	4	30	—	120				平4年度 改組		
	地球惑星物質科学科	4	20	—	80				平4年度 改組(平 20年度 改称)		
	生物学科	4	40	—	160				昭24年 度		
	計		324	—	1,296				1.01		
医学部	医学科	6	135	—	810	学士 (医学)	1.00	平成30	昭24年 度	宮城県仙台市青葉 区星陵町2番1号	大8年医科大学 から改称
	保健学科	4	144	—	576	学士 (看護学) 学士 (保健学)	1.01		平16年 度改組		平16年医療技術 短期大学部から 医学部保健学科 となる 平26年度より3 年次編入学廃止
	計		279	—	1,386		1.01				
歯学部	歯学科	6	53	—	318	学士 (歯学)	1.00		昭40年 度	宮城県仙台市青葉 区星陵町2番1号	

薬学部	創薬科学科	4	60	—	240	学士 (創薬科学)	1.07		平18年度改組	宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉6番3号	昭47年度学部設置	
	薬学科	6	20	—	120	学士 (薬学)	1.07					
	計		80	—	360		1.06					
工学部	機械知能・航空工学科	4	234	—	936	学士 (工学)	1.04		平16年度改組	宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉6番6号	大8年学部設置	
	電気情報物理工学科	4	243	—	972		1.01		平16年度改組 (平19年度・平27年度改称)			
	化学・バイオ工学科	4	113	—	452		0.99					
	材料科学総合学科	4	113	—	452		1.02		平16年度改組			
	建築・社会環境工学科	4	107	—	428		0.99					
	計		810	—	3,240			1.01				
農学部	生物生産科学科	4	90	—	360	学士 (農学)	1.04		平4年度	宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉468-1	昭22年度学部設置	
	応用生物化学科	4	60	—	240							
	計		150	—	600			1.04				
※ 複数の学科を有する学部の学生募集は、経済学部、薬学部及び農学部にあつては学部一括で、理学部にあつては1又は複数の学科毎にそれぞれ行い、学生の所属学科は、第1年次修了時、第2年次又は第3年次に決定する。												
文学研究科	日本学専攻	5	29	—	29	修士 (文学) 修士 (学術) 博士 (文学) 博士 (学術)	1.13	令和元	令和元年度改組	宮城県仙台市青葉区川内27番1号	学生数は、上段が前期課程で、下段が後期課程である。	
		5	14	—	14		1.42	令和元				
	広域文化学専攻	5	29	—	29		1.00	令和元				
		5	12	—	12		0.75	令和元				
	総合人間学専攻	5	31	—	31		1.29	令和元				
		5	12	—	12		1.00	令和元				
	文化科学専攻	5	—	—	—		—		平11年度改組			令和元年度より学生募集停止
	言語科学専攻	5	—	—	—		—					令和元年度より学生募集停止
歴史科学専攻	5	—	—	—	—		平12年度改組	令和元年度より学生募集停止				
人間科学専攻	5	—	—	—	—			令和元年度より学生募集停止				
教育学研究科	総合教育科学専攻	5	45	—	90	修士 (教育学) 修士 (教育情報学) 博士 (教育学) 博士 (教育情報学)	0.97	平成30	平30年度改組	宮城県仙台市青葉区川内27番1号	平成30年度より学生募集停止	
		5	15	—	46	修士 (教育学) 修士 (学術) 博士 (教育学) 博士 (学術)	1.09	平成30				
	教育設計評価専攻	5	—	—	—	—		平20年度改組				

法学研究科	法政理論研究専攻	5	10	—	20	修士 (法学) 修士 (学術) 博士 (法学) 博士 (学術)	0.65	平12年 度改組 (平18年 度改称)	宮城県仙台市青葉 区川内27番1号
			12	—	44		0.49		
	総合法制専攻 (法科大学院の課 程)	3	50	—	150	法務博士 (専門職)	0.76	平16年 度改組	宮城県仙台市青葉 区片平二丁目1番1 号
公共法政策専攻 (専門職学位課程)	2	30	—	60	公共法政策修 士 (専門職)	0.99			
経済学研究科	経済経営学専攻	5	50	—	100	修士 (経済学) 修士 (経営学) 修士 (学術) 博士 (経済学) 博士 (経営学) 博士 (学術)	0.77	平17年 度改組	宮城県仙台市青葉 区川内27番1号
			20	—	60		0.53		
	会計専門職専攻 (専門職学位課程)	2	40	—	80	会計修士 (専門職)	0.97	平17年 度	
理学研究科	数学専攻	5	38	—	76	修士 (理学) 修士 (学術) 博士 (理学) 博士 (学術)	0.93	平7年度 改組	宮城県仙台市青葉 区荒巻字青葉6番3 号
			18	—	54		0.55		
	物理学専攻	5	91	—	182		0.94	平6年度 改組	
			46	—	138		0.55		
	天文学専攻	5	9	—	18		1.16	平6年度 改組	
			4	—	12		0.58		
	地球物理学専攻	5	26	—	52		1.03	平7年度 改組	
			13	—	39		0.58		
化学専攻	5	66	—	132	1.14	平7年度 改組			
		33	—	99	0.42				
地学専攻	5	32	—	64	1.35	平6年度 改組			
		16	—	48	0.68				

医学系研究科	医科学専攻 (修士課程)	2	30	—	60	修士 (医科学) 修士 (学術)	1.15		平15年 度改組	宮城県仙台市青葉 区星陵町2番1号
	医科学専攻 (博士課程)	4	130	—	520	博士 (医学) 博士 (学術)	1.11		平9年 度改組	
	障害科学専攻	5	20	—	40	修士 (障害科学) 修士 (学術)	0.72		平6年 度改組	
			9	—	29	博士 (障害科学) 博士 (学術)	1.27		平8年 度改組	
	保健学専攻	5	32	—	64	修士 (看護学) 修士 (保健学) 修士 (学術)	1.20		平20年 度改組	
			12	—	34	博士 (看護学) 博士 (保健学) 博士 (学術)	1.24		平22年 度改組	
公衆衛生学専攻 (修士課程)	2	10	—	20	修士 (公衆衛生学)	1.05		平27年 度		
歯学研究科	歯科学専攻 (修士課程)	2	6	—	12	修士 (口腔科学) 修士 (学術)	0.91		平16年 度	宮城県仙台市青葉 区星陵町4番1号
	歯科学専攻 (博士課程)	4	42	—	168	博士 (歯学) 博士 (学術)	0.97		平12年 度改組	
薬学研究科	分子薬科学専攻	5	22	—	44	修士 (薬科学) 修士 (学術)	1.35	平22年 度	宮城県仙台市青葉 区荒巻字青葉6番3 号	
			8	—	24		0.62			
	生命薬科学専攻	5	32	—	64	博士 (薬科学) 博士 (学術)	0.95			
			10	—	30	0.60				
医療薬学専攻 (博士課程)	4	4	—	16	博士 (薬学) 博士 (学術)	0.37		平24年 度		



工 学 研 究 科	機械機能創成専攻	5	42	—	84	修士 (工学) 修士 (学術) 博士 (工学) 博士 (学術)	1.29	平7年度 改組(平 16年度 改称・ 平28年 度改称)	宮城県仙台市青葉 区荒巻字青葉6番6 号	
			10	—	30		1.16			
	ファインメカニクス専攻	5	45	—	90		1.16			
			11	—	33		0.48			
	ロボティクス専攻	5	42	—	84		0.86			平15年 度(平 28年 度改 称)
			11	—	33		0.57			
	航空宇宙工学専攻	5	42	—	84		1.59			平7年度 改組
			11	—	33		1.11			
	量子エネルギー工 学専攻	5	38	—	76		1.04			昭33年 度(平8 年度改 称)
			11	—	33		0.78			
	電気エネルギーシ ステム専攻	5	32	—	64		1.06			平24年 度
			8	—	24		0.45			
	通信工学専攻	5	31	—	62		1.44			
			8	—	24		0.70			
	電子工学専攻	5	51	—	102		0.86			昭28年 度
			15	—	45		0.37			
	応用物理学専攻	5	32	—	64		1.12			
			11	—	33		0.75			
	応用化学専攻	5	26	—	52		1.11			
			8	—	24		0.83			
化学工学専攻	5	34	—	68	1.05	昭40年 度				
		7	—	21	0.42					
バイオ工学専攻	5	19	—	38	1.21	平4年度 (平16年 度改称)				
		5	—	15	0.60					
金属フロンティア 工学専攻	5	26	—	52	1.15	昭28年 度(平16 年度改 称)				
		7	—	21	1.23					
知能デバイス材料 学専攻	5	37	—	74	1.23	昭39年 度(昭62 年度・ 平16年 度改称)				
		10	—	30	1.23					
材料システム工学 専攻	5	30	—	60	1.16	昭44年 度(平9 年度・ 平16年 度改称)				
		8	—	24	0.87					
土木工学専攻	5	43	—	86	1.15	昭38年 度				
		12	—	36	1.35					
都市・建築学専攻	5	45	—	90	1.25	昭38年 度(平8 年度改 称)				
		8	—	24	1.29					
技術社会システム 専攻	5	21	—	42	1.14	平14年 度				
		13	—	39	0.32					

農学研究科	資源生物科学専攻	5	36 13	— —	72 39	修士 (農学) 修士 (学術) 博士 (農学) 博士 (学術)	1.29 0.91			平15年 度改組	宮城県仙台市青葉 区荒巻字青葉468- 1			
	応用生命科学専攻	5	35 13	— —	70 39		1.12 0.68							
	生物産業創成科学 専攻	5	38	—	76		1.27							
			11	—	33		1.18							
国際文化研究科	国際文化研究専攻	5	35	—	70	修士 (国際文化) 修士 (学術) 博士 (国際文化) 博士 (学術)	0.81			平27年 度改組	宮城県仙台市青葉 区川内41			
			16	—	48		0.62							
情報科学研究科	情報基礎科学専攻	5	38 11	— —	76 33	修士 (情報科学) 修士 (学術) 博士 (情報科学) 博士 (学術)	0.89 0.48			平5年 度	宮城県仙台市青葉 区荒巻字青葉6番3 号			
	システム情報科学 専攻	5	37 11	— —	74 33		1.40 0.99							
	人間社会情報科学 専攻	5	30 10	— —	60 30		0.70 0.60							
	応用情報科学専攻	5	35 10	— —	70 30		1.38 0.83		平15年 度					
生命科学研究科	脳生命統御科学専攻	5	36 10	— —	72 20	修士 (生命科学) 修士 (学術) 博士 (生命科学) 博士 (学術)	0.70 0.36	平成30 平成30	平30年 度改組	宮城県仙台市青葉 区片平二丁目1番1 号				
	生態発生活適科学 専攻	5	35 10	— —	70 20		0.86 0.53	平成30 平成30						
	分子化学生物学専攻	5	35 10	— —	70 20		1.30 0.33	平成30 平成30						
	分子生命科学専攻	5	— —	— —	— —		— —					平13年 度	宮城県仙台市青葉 区片平二丁目1番1 号	平成30年度より 学生募集停止
	生命機能科学専攻	5	— —	— —	— —		— —							平成30年度より 学生募集停止
	生態システム生命 科学専攻	5	— —	— —	— —		— —							平成30年度より 学生募集停止
環境科学研究科	先進社会環境学専攻	5	40 13	— —	80 39	修士 (環境科学) 修士 (学術) 博士 (環境科学) 博士 (学術)	1.19 1.33			平27年 度改組	宮城県仙台市青葉 区荒巻字青葉468- 1			
	先端環境創成学専攻	5	60 20	— —	120 60		0.95 0.43							
医工学研究科	医工学専攻	5	39	—	78	修士 (医工学) 修士 (学術) 博士 (医工学) 博士 (学術)	1.15			平20年 度	宮城県仙台市青葉 区星陵町2番1号 宮城県仙台市青葉 区荒巻字青葉6番6 号 宮城県仙台市青葉 区片平二丁目1番1 号			
			12	—	34		0.82							

教育情報学教育部	教育情報学専攻	5	—	—	—	修士 (教育情報学)	—	平14年 度	宮城県仙台市青葉 区川内27番1号	平成30年度より 学生募集停止
			—	—	—	修士 (学術) 修士 (教育情報学) 博士 (学術)	—			

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学（大学院含む）、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校種ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。（専攻科及び別科を除く）。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き（平成31年度改訂版）」と同じです。
  - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<文学研究科 広域文化学専攻 博士前期課程>

(1) -① 担当教員表

【事前伺い時】

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	沼崎 一郎 (59) <平成31年4月> P h. D. (アメリカ)
		広域文化学総合科目 I 文化人類学研究演習 III 文化人類学研究実習 I 文化人類学研究実習 II 修士論文研究
専	教授	木村 敏明 (52) <平成31年4月> 博士(文学)
		広域文化学総合科目 I 広域文化学総合科目 II 宗教学特論 I 宗教学死生学総合演習 I 宗教学死生学総合演習 II 宗教学死生学研究演習 II 宗教学研究実習 I 宗教学研究実習 II 修士論文研究
専	教授	桜井 宗信 (57) <平成31年4月> 博士(文学)
		広域文化学総合科目 I インド仏教史特論 I インド仏教史特論 II インド学仏教史特論 I インド仏教史研究演習 I インド仏教史研究演習 II 修士論文研究
専	教授	三浦 秀一 (60) <平成31年4月> 博士(文学)
		広域文化学総合科目 I 東洋文化学特論 I 東洋文化学特論 II 中国思想特論 II 中国思想史総合演習 I 中国思想史総合演習 II 中国思想文献研究演習 II 修士論文研究
専	教授	川合 安 (60) <平成31年4月> 博士(文学)
		広域文化学総合科目 I 東洋文化学特論 I 東洋文化学特論 II 東洋古代中世史特論 I 東洋古代中世史特論 II 東洋古代中世史特論 III 東洋史学研究演習 I 東洋史学研究演習 II 修士論文研究
専	教授	大河内 昌 (58) <平成31年4月> 博士(文学)
		広域文化学総合科目 I 英文学特論 I 英文学特論 II 英文学特論 III 英文学特論 IV 修士論文研究
専	教授	金子 義明 (61) <平成31年4月> 博士(文学)
		英語学特論 II 英語学特論 IV 英語学総合演習 I 英語学総合演習 II 英語学総合演習 III 英語学総合演習 IV 英語学研究演習 I 英語学研究演習 III 修士論文研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	沼崎 一郎 (60) <平成31年4月> P h. D. (アメリカ)
		広域文化学総合科目 I 文化人類学研究演習 III 文化人類学研究実習 I 文化人類学研究実習 II 修士論文研究
専	教授	木村 敏明 (53) <平成31年4月> 博士(文学)
		広域文化学総合科目 I 広域文化学総合科目 II 宗教学特論 I 宗教学死生学総合演習 I 宗教学死生学総合演習 II <b>宗教学死生学研究演習 I</b> 宗教学研究実習 I 宗教学研究実習 II 修士論文研究
専	教授	桜井 宗信 (58) <平成31年4月> 博士(文学)
		広域文化学総合科目 I インド仏教史特論 I インド仏教史特論 II インド仏教史研究演習 I インド仏教史研究演習 II 修士論文研究
専	教授	三浦 秀一 (61) <平成31年4月> 博士(文学)
		東洋文化学特論 II 中国思想特論 II 中国思想史総合演習 I 中国思想史総合演習 II <b>中国思想文献研究演習 I</b> 修士論文研究
専	教授	川合 安 (61) <平成31年4月> 博士(文学)
		広域文化学総合科目 I 東洋文化学特論 I 東洋古代中世史特論 I 東洋古代中世史特論 II 東洋史学研究演習 I 東洋史学研究演習 II 修士論文研究
専	教授	大河内 昌 (59) <平成31年4月> 博士(文学)
		広域文化学総合科目 I 英文学特論 I 英文学特論 II 英文学特論 III 英文学特論 IV 修士論文研究
専	教授	金子 義明 (62) <平成31年4月> 博士(文学)
		英語学特論 II 英語学特論 IV 英語学総合演習 I 英語学総合演習 II 英語学総合演習 III 英語学総合演習 IV 英語学研究演習 I 英語学研究演習 III 修士論文研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	島 越郎 (50) <平成31年4月> 博士(文学)
		広域文化学総合科目Ⅰ 英語学基礎特論Ⅰ 英語学基礎特論Ⅱ 英語学総合演習Ⅰ 英語学総合演習Ⅱ 英語学総合演習Ⅲ 英語学総合演習Ⅳ 英語学研究演習Ⅱ 英語学研究演習Ⅳ 修士論文研究
専	教授	森本 浩一 (61) <平成31年4月> 文学修士
		広域文化学総合科目Ⅰ 西洋文化学特論Ⅰ 西洋文化学特論Ⅱ ドイツ文化学特論Ⅱ 修士論文研究
専	教授	嶋崎 啓 (52) <平成31年4月> 博士(文学)
		ドイツ文学特論Ⅰ ドイツ文化学特論Ⅰ ドイツ学研究演習Ⅰ ドイツ学研究演習Ⅱ 修士論文研究
専	教授	NARROG HEIKO (52) <平成31年4月> P.h.D.(ドイツ)
		ドイツ語学研究演習Ⅰ ドイツ語学研究演習Ⅱ 修士論文研究
専	教授	阿部 宏 (59) <平成31年4月> 博士(情報科学)
		フランス語学研究演習Ⅰ フランス語学研究演習Ⅱ 修士論文研究
専	教授	今井 勉 (55) <平成31年4月> 博士(文学)
		広域文化学総合科目Ⅰ 広域文化学総合科目Ⅱ フランス文学特論Ⅰ フランス文学特論Ⅱ フランス文学特論Ⅲ フランス文学特論Ⅳ フランス文学研究演習Ⅰ フランス文学研究演習Ⅱ キャリア設計演習 修士論文研究
専	教授	有光 秀行 (57) <平成31年4月> 博士(文学)
		広域文化学総合科目Ⅰ 西洋史特論Ⅰ 西洋史特論Ⅱ 西洋古代・中世史研究演習Ⅰ 西洋古代・中世史研究演習Ⅱ 西洋古代・中世史研究演習Ⅲ 西洋古代・中世史研究演習Ⅳ 修士論文研究
専	教授	高橋 原 (49) <平成31年4月> 博士(文学)
		死生学特論Ⅰ 死生学特論Ⅱ 実践宗教学特論Ⅲ 実践宗教学特論Ⅳ 宗教学死生学総合演習Ⅰ 宗教学死生学総合演習Ⅱ 応用死生学研究実習Ⅰ 応用死生学研究実習Ⅱ 応用死生学研究実習Ⅲ 応用死生学研究実習Ⅳ 修士論文研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	島 越郎 (51) <平成31年4月> 博士(文学)
		広域文化学総合科目Ⅰ 英語学基礎特論Ⅰ 英語学基礎特論Ⅱ 英語学総合演習Ⅰ 英語学総合演習Ⅱ 英語学総合演習Ⅲ 英語学総合演習Ⅳ 英語学研究演習Ⅱ 英語学研究演習Ⅳ 修士論文研究
専	教授	森本 浩一 (62) <平成31年4月> 文学修士
		広域文化学総合科目Ⅰ 西洋文化学特論Ⅰ 西洋文化学特論Ⅱ ドイツ文化学特論Ⅱ 修士論文研究
専	教授	嶋崎 啓 (53) <平成31年4月> 博士(文学)
		ドイツ文学特論Ⅰ ドイツ学研究演習Ⅰ ドイツ学研究演習Ⅱ 修士論文研究
専	教授	NARROG HEIKO (53) <平成31年4月> P.h.D.(ドイツ)
		ドイツ語学研究演習Ⅰ ドイツ語学研究演習Ⅱ 修士論文研究
専	教授	阿部 宏 (60) <平成31年4月> 博士(情報科学)
		フランス語学研究演習Ⅰ フランス語学研究演習Ⅱ 修士論文研究
専	教授	今井 勉 (56) <平成31年4月> 博士(文学)
		広域文化学総合科目Ⅰ 広域文化学総合科目Ⅱ フランス文学特論Ⅰ フランス文学特論Ⅱ フランス文学特論Ⅲ フランス文学特論Ⅳ フランス文学研究演習Ⅰ フランス文学研究演習Ⅱ キャリア設計演習 修士論文研究
専	教授	有光 秀行 (58) <平成31年4月> 博士(文学)
		広域文化学総合科目Ⅰ 西洋史特論Ⅱ 西洋古代・中世史研究演習Ⅰ 西洋古代・中世史研究演習Ⅱ 西洋古代・中世史研究演習Ⅲ 西洋古代・中世史研究演習Ⅳ 修士論文研究
専	教授	高橋 原 (49) <平成31年4月> 博士(文学)
		死生学特論Ⅰ 死生学特論Ⅱ 実践宗教学特論Ⅲ 実践宗教学特論Ⅳ 宗教学死生学総合演習Ⅰ 宗教学死生学総合演習Ⅱ 応用死生学研究実習Ⅰ 応用死生学研究実習Ⅱ 応用死生学研究実習Ⅲ 応用死生学研究実習Ⅳ 修士論文研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	川口 (一条) 幸大 (42) <平成31年4月> 博士(文学) 文化人類学特論Ⅳ 文化人類学研究演習Ⅰ 文化人類学研究演習Ⅱ 修士論文研究
専	准教授	山田 仁史 (45) <平成31年4月> D.r.P.h.i.l.(ドイツ) 広域文化学総合科目Ⅰ 宗教学特論Ⅱ 宗教学死生学総合演習Ⅰ 宗教学死生学総合演習Ⅱ 宗教学死生学研究演習Ⅰ 宗教学研究実習Ⅰ 宗教学研究実習Ⅱ 修士論文研究
専	准教授	谷山 洋三 (46) <平成31年4月> 博士(文学) 広域文化学総合科目Ⅰ 死生学特論Ⅰ 死生学特論Ⅱ 死生学特論Ⅲ 実践宗教学特論Ⅰ 実践宗教学特論Ⅱ 宗教学死生学総合演習Ⅰ 宗教学死生学総合演習Ⅱ 応用死生学研究実習Ⅰ 応用死生学研究実習Ⅱ 応用死生学研究実習Ⅲ 応用死生学研究実習Ⅳ 人文社会科学研究 修士論文研究
専	准教授	齋藤 智寛 (43) <平成31年4月> 博士(文学) 広域文化学総合科目Ⅱ 東洋文化学特論Ⅰ 東洋文化学特論Ⅱ 中国思想特論Ⅰ 中国思想史総合演習Ⅰ 中国思想史総合演習Ⅱ 中国思想文献研究演習Ⅰ 修士論文研究
専	准教授	土屋 育子 (45) <平成31年4月> 博士(文学) 広域文化学総合科目Ⅰ 東洋文化学特論Ⅰ 東洋文化学特論Ⅱ 中国語学中国文学特論Ⅰ 中国語学中国文学特論Ⅱ 中国語学中国文学史総合演習Ⅰ 中国語学中国文学史総合演習Ⅱ 中国語学中国文学研究演習Ⅲ 中国語学中国文学研究演習Ⅳ 修士論文研究
専	准教授	矢田 尚子 (51) <平成31年4月> 博士(文学) 東洋文化学特論Ⅰ 東洋文化学特論Ⅱ 中国語学中国文学史総合演習Ⅰ 中国語学中国文学史総合演習Ⅱ 中国語学中国文学研究演習Ⅰ 中国語学中国文学研究演習Ⅱ 修士論文研究
専	准教授	馬 暁地 (63) <平成31年4月> 修士(文学) 修士論文研究
兼任	講師	馬 暁地 (63) <平成32年4月> 修士(文学) 修士論文研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	川口 (一条) 幸大 (43) <平成31年4月> 博士(文学) 文化人類学特論Ⅳ 文化人類学研究演習Ⅰ 文化人類学研究演習Ⅱ 修士論文研究
専	准教授	山田 仁史 (46) <平成31年4月> D.r.P.h.i.l.(ドイツ) 広域文化学総合科目Ⅰ 宗教学特論Ⅱ 宗教学死生学総合演習Ⅰ 宗教学死生学総合演習Ⅱ <b>宗教学死生学研究演習Ⅱ</b> 宗教学研究実習Ⅰ 宗教学研究実習Ⅱ 修士論文研究
専	准教授	谷山 洋三 (47) <平成31年4月> 博士(文学) 広域文化学総合科目Ⅰ 実践宗教学特論Ⅰ 実践宗教学特論Ⅱ 宗教学死生学総合演習Ⅰ 宗教学死生学総合演習Ⅱ 応用死生学研究実習Ⅰ 応用死生学研究実習Ⅱ 応用死生学研究実習Ⅲ 応用死生学研究実習Ⅳ 修士論文研究
専	准教授	齋藤 智寛 (44) <平成31年4月> 博士(文学) <b>広域文化学総合科目Ⅰ</b> 広域文化学総合科目Ⅱ 東洋文化学特論Ⅰ 中国思想特論Ⅰ 中国思想史総合演習Ⅰ 中国思想史総合演習Ⅱ <b>中国思想文献研究演習Ⅱ</b> 修士論文研究
専	教授	土屋 育子 (46) <平成31年4月> 博士(文学) 広域文化学総合科目Ⅰ 東洋文化学特論Ⅱ 中国語学中国文学特論Ⅰ 中国語学中国文学史総合演習Ⅰ 中国語学中国文学史総合演習Ⅱ 中国語学中国文学研究演習Ⅲ 中国語学中国文学研究演習Ⅳ 修士論文研究
専	准教授	矢田 尚子 (52) <平成31年4月> 博士(文学) <b>広域文化学総合科目Ⅰ</b> 東洋文化学特論Ⅰ <b>中国語学中国文学特論Ⅱ</b> 中国語学中国文学史総合演習Ⅰ 中国語学中国文学史総合演習Ⅱ 中国語学中国文学研究演習Ⅰ 中国語学中国文学研究演習Ⅱ 修士論文研究
専	准教授	馬 暁地 (64) <平成31年4月> 修士(文学) 修士論文研究
兼任	講師	馬 暁地 (64) <令和2年4月> 修士(文学) 修士論文研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	大野 晃嗣 (46) <平成31年4月> 博士(文学)
		東洋文化学特論Ⅰ 東洋文化学特論Ⅱ 東洋近世史特論Ⅰ 東洋近世史特論Ⅱ 東洋史学研究演習Ⅲ 東洋史学研究演習Ⅳ 修士論文研究
専	准教授	大貫 隆史 (43) <平成31年4月> 博士(文学)
		英語文化論研究演習Ⅰ 英語文化論研究演習Ⅱ 英語文化論研究演習Ⅲ 英語文化論研究演習Ⅳ 修士論文研究
専	准教授	TINK JAMES MICHAEL (47) <平成31年4月> P h . D . (イギリス)
		英文学・英語学論文作成法特論Ⅰ 英文学・英語学論文作成法特論Ⅱ 英文学・英語学論文作成法特論Ⅲ 英文学・英語学論文作成法特論Ⅳ 英文学研究演習Ⅰ 英文学研究演習Ⅱ 英文学研究演習Ⅲ 英文学研究演習Ⅳ 修士論文研究
専	准教授	黒岩 卓 (42) <平成31年4月> 博士(文学)
		フランス文学研究演習Ⅲ フランス文学研究演習Ⅳ 修士論文研究
専	准教授	MEVEL YANN ERIC (49) <平成31年4月> Doctorat (フランス)
		フランス文化学特論Ⅰ フランス語学研究演習Ⅲ フランス語学研究演習Ⅳ 修士論文研究
専	准教授	浅岡 善治 (46) <平成31年4月> 博士(文学)
		西洋史特論Ⅳ 西洋近現代史研究演習Ⅰ 西洋近現代史研究演習Ⅱ 修士論文研究
兼任	教授	高橋 章則 (60) <平成31年4月> 博士(社会学)
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ 日本語研究論文作成法
兼任	教授	齋藤 倫明 (63) <平成31年4月> 博士(文学)
		日本学総合科目Ⅱ
兼任	講師	齋藤 倫明 (63) <平成32年4月> 博士(文学)
		日本学総合科目Ⅱ
兼任	教授	小林 隆 (60) <平成31年4月> 博士(文学)
		日本学総合科目Ⅱ 研究倫理特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	大野 晃嗣 (47) <平成31年4月> 博士(文学)
		広域文化学総合科目Ⅰ 東洋文化学特論Ⅱ 東洋近世史特論Ⅰ 東洋近世史特論Ⅱ 東洋史学研究演習Ⅲ 東洋史学研究演習Ⅳ 修士論文研究
専	准教授	大貫 隆史 (44) <平成31年4月> 博士(文学)
		英語文化論研究演習Ⅰ 英語文化論研究演習Ⅱ 英語文化論研究演習Ⅲ 英語文化論研究演習Ⅳ 修士論文研究
専	准教授	TINK JAMES MICHAEL (48) <平成31年4月> P h . D . (イギリス)
		英文学・英語学論文作成法特論Ⅰ 英文学・英語学論文作成法特論Ⅱ 英文学・英語学論文作成法特論Ⅲ 英文学・英語学論文作成法特論Ⅳ 英文学研究演習Ⅰ 英文学研究演習Ⅱ 英文学研究演習Ⅲ 英文学研究演習Ⅳ 修士論文研究
専	准教授	黒岩 卓 (43) <平成31年4月> 博士(文学)
		フランス文学研究演習Ⅲ フランス文学研究演習Ⅳ 修士論文研究
専	准教授	MEVEL YANN ERIC (50) <平成31年4月> Doctorat (フランス)
		フランス文化学特論Ⅰ フランス語学研究演習Ⅲ フランス語学研究演習Ⅳ 修士論文研究
専	准教授	浅岡 善治 (47) <平成31年4月> 博士(文学)
		西洋史特論Ⅳ 西洋近現代史研究演習Ⅰ 西洋近現代史研究演習Ⅱ 修士論文研究
兼任	教授	高橋 章則 (61) <平成31年4月> 博士(社会学)
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ
兼任	教授	齋藤 倫明 (64) <平成31年4月> 博士(文学)
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ
兼任	講師	齋藤 倫明 (64) <令和2年4月> 博士(文学)
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ
兼任	教授	小林 隆 (61) <平成31年4月> 博士(文学)
		日本学総合科目Ⅱ 研究倫理特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	大木 一夫 (51) <平成31年4月> 博士(文学)
		日本学総合科目 I 日本学総合科目 II
兼任	教授	佐倉 由泰 (56) <平成31年4月> 博士(文学)
		日本学総合科目 I 日本学総合科目 II
兼任	教授	柳原 敏昭 (56) <平成31年4月> 博士(文学)
		日本学総合科目 II
兼任	教授	安達 宏昭 (52) <平成31年4月> 博士(文学)
		日本学総合科目 I 日本学総合科目 II
兼任	教授	阿子島 香 (62) <平成31年4月> P h. D. (アメリカ)
		日本学総合科目 I 日本学総合科目 II
兼任	教授	戸島 貴代志 (59) <平成31年4月> 博士(文学)
		研究倫理特論
兼任	教授	長岡 龍作 (58) <平成31年4月> 文学修士
		総合人間学総合科目 I 総合人間学総合科目 II 学術発表実習 I 学術発表実習 II 国際活動実習 I 国際活動実習 II 研究・教育実践活動実習 I 研究・教育実践活動実習 II
兼任	教授	阿部 恒之 (56) <平成31年4月> 博士(文学)
		総合人間学総合科目 I 総合人間学総合科目 II 研究倫理特論
兼任	教授	坂井 信之 (48) <平成31年4月> 博士(人間科学)
		総合人間学総合科目 I 研究倫理特論
兼任	教授	小泉 政利 (53) <平成31年4月> P h. D. (アメリカ)
		研究倫理特論
兼任	教授	永井 彰 (59) <平成31年4月> 博士(文学)
		総合人間学総合科目 II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	大木 一夫 (52) <平成31年4月> 博士(文学)
		日本学総合科目 II
兼任	教授	佐倉 由泰 (57) <平成31年4月> 博士(文学)
		日本学総合科目 I 日本学総合科目 II
兼任	教授	柳原 敏昭 (57) <平成31年4月> 博士(文学)
		日本学総合科目 II
兼任	教授	安達 宏昭 (53) <平成31年4月> 博士(文学)
		日本学総合科目 I 日本学総合科目 II
兼任	教授	阿子島 香 (63) <平成31年4月> P h. D. (アメリカ)
		日本学総合科目 I 日本学総合科目 II
兼任	教授	戸島 貴代志 (60) <平成31年4月> 博士(文学)
		研究倫理特論
兼任	教授	長岡 龍作 (59) <平成31年4月> 文学修士
		総合人間学総合科目 I 総合人間学総合科目 II 学術発表実習 I 学術発表実習 II 国際活動実習 I 国際活動実習 II 研究・教育実践活動実習 I 研究・教育実践活動実習 II
兼任	教授	阿部 恒之 (57) <平成31年4月> 博士(文学)
		総合人間学総合科目 I 総合人間学総合科目 II 研究倫理特論 <b>日本語・日本文化論特論 I</b> <b>日本語・日本文化論特論 II</b>
兼任	教授	坂井 信之 (49) <平成31年4月> 博士(人間科学)
		総合人間学総合科目 I 研究倫理特論
兼任	教授	小泉 政利 (54) <平成31年4月> P h. D. (アメリカ)
		<b>総合人間学総合科目 II</b> 研究倫理特論
兼任	教授	永井 彰 (59) <平成31年4月> 博士(文学)
		総合人間学総合科目 II



専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	小松 文晃 (49) <平成31年4月> 博士(文学)
		総合人間学総合科目Ⅰ
兼任	教授	木村 邦博 (59) <平成31年4月> 博士(文学)
		総合人間学総合科目Ⅰ 研究倫理特論 人文統計基礎演習
兼任	教授	岡 洋樹 (58) <平成31年4月> 博士(文学)
		東洋近世史特論Ⅲ
兼任	教授	寺山 恭輔 (56) <平成31年4月> 博士(文学)
		比較文化史学特論Ⅰ 比較文化史学研究演習Ⅰ 比較文化史学研究演習Ⅱ
兼任	准教授	田中(仙田)重人 (47) <平成31年4月> 博士(人間科学)
		日本学総合科目Ⅱ
兼任	准教授	CRAIG CHRISTOPHER ROBIN JAMIE (43) <平成31年4月> P h. D. (アメリカ)
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ 英語発表技能演習
兼任	准教授	片岡 龍 (52) <平成31年4月> 修士(文学)
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ
兼任	准教授	甲田(高橋)直美 (48) <平成31年4月> 博士(人間・環境学)
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ
兼任	准教授	小河原 義朗 (49) <平成31年4月> 博士(文学)
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ
兼任	准教授	横溝 博 (46) <平成31年4月> 博士(文学)
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	小松 文晃 (50) <平成31年4月> 博士(文学)
		総合人間学総合科目Ⅰ
兼任	教授	木村 邦博 (60) <平成31年4月> 博士(文学)
		総合人間学総合科目Ⅰ 研究倫理特論 人文統計基礎演習
兼任	教授	岡 洋樹 (59) <平成31年4月> 博士(文学)
		東洋近世史特論Ⅲ
兼任	教授	寺山 恭輔 (55) <平成31年4月> 博士(文学)
		比較文化史学特論Ⅰ 比較文化史学研究演習Ⅰ 比較文化史学研究演習Ⅱ
兼任	教授	尾崎 彰宏 (64) <平成31年4月> 修士(文学)
		総合人間学総合科目Ⅱ
兼任	教授	佐藤 嘉倫 (61) <平成31年4月> 博士(文学)
		総合人間学総合科目Ⅱ
兼任	准教授	田中(仙田)重人 (48) <平成31年4月> 博士(人間科学)
		日本学総合科目Ⅱ
兼任	准教授	CRAIG CHRISTOPHER ROBIN JAMIE (44) <平成31年4月> P h. D. (アメリカ)
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ 英語発表技能演習
兼任	教授	片岡 龍 (53) <平成31年4月> 博士(文学)
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ
兼任	准教授	甲田(高橋)直美 (49) <平成31年4月> 博士(人間・環境学)
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ
兼任	教授	小河原 義朗 (50) <平成31年4月> 博士(文学)
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ
兼任	教授	横溝 博 (47) <平成31年4月> 博士(文学)
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	堀 裕 (49) <平成31年4月> 博士(文学)
		日本学総合科目Ⅱ
兼任	准教授	籠橋 俊光 (46) <平成31年4月> 博士(文学)
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ
兼任	准教授	鹿又 喜隆 (44) <平成31年4月> 博士(文学)
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ
兼任	准教授	荻原 理 (50) <平成31年4月> P h . D . (アメリカ)
		総合人間学総合科目Ⅰ 西洋古典文化特論
兼任	准教授	原 塑 (49) <平成31年4月> P h . D . (ドイツ)
		総合人間学総合科目Ⅱ 研究倫理特論
兼任	准教授	辻本 昌弘 (46) <平成31年4月> 博士(文学)
		研究倫理特論
兼任	准教授	木山 幸子 (39) <平成31年4月> 博士(文学)
		総合人間学総合科目Ⅰ
兼任	准教授	佐藤 雪野 (57) <平成31年4月> 修士(学術)
		ドイツ文学特論Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	堀 裕 (50) <平成31年4月> 博士(文学)
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ
兼任	准教授	籠橋 俊光 (47) <平成31年4月> 博士(文学)
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ
兼任	准教授	鹿又 喜隆 (45) <平成31年4月> 博士(文学)
		日本学総合科目Ⅱ
兼任	准教授	荻原 理 (51) <平成31年4月> P h . D . (アメリカ)
		総合人間学総合科目Ⅰ 西洋古典文化特論
兼任	准教授	原 塑 (50) <平成31年4月> P h . D . (ドイツ)
		総合人間学総合科目Ⅱ 研究倫理特論
兼任	准教授	辻本 昌弘 (47) <平成31年4月> 博士(文学)
		研究倫理特論
兼任	准教授	木山 幸子 (40) <平成31年4月> 博士(文学)
		総合人間学総合科目Ⅰ
兼任	准教授	佐藤 雪野 (56) <平成31年4月> 修士(学術)
		ドイツ文化学特論Ⅰ
兼任	准教授	鳥崎 薫 (34) <平成31年4月> Ph. D. (オーストラリア)
		日本学総合科目Ⅰ
兼任	准教授	村山 達也 (43) <平成31年4月> 博士(哲学)
		総合人間学総合科目Ⅱ
兼任	准教授	大村 哲夫 (59) <平成31年4月> 博士(文学)
		実践宗教学特論Ⅲ 実践宗教学特論Ⅳ 宗教学死生学総合演習Ⅰ 宗教学死生学総合演習Ⅱ 応用死生学研究実習Ⅰ 応用死生学研究実習Ⅱ 応用死生学研究実習Ⅲ 応用死生学研究実習Ⅳ 人文社会科学研究Ⅰ 人文社会科学研究Ⅱ



専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	廣松 勲 (39) <平成31年4月> 博士(文学)			
		フランス文化学特論Ⅱ			
兼任	講師	山崎 彰 (60) <平成31年4月> 博士(文学)			
		西洋史特論Ⅲ			
兼任	講師	Max Phillips (49) <平成31年4月> MA (TESOL: Teaching English (to) Speakers (of)	兼任	講師	Max Phillips (50) <平成31年4月> MA (TESOL: Teaching English (to) Speakers (of)
		英語研究論文作成法			英語研究論文作成法Ⅰ 英語研究論文作成法Ⅱ
			兼任	講師	片岡 樹 (51) <平成31年4月> 博士(比較社会文化)
					文化人類学特論Ⅰ
			兼任	講師	相島 葉月 (41) <平成31年4月> 博士(東洋学)(イギリス)
					文化人類学特論Ⅱ
			兼任	講師	山崎 亮 (61) <平成31年4月> 博士(文学)
					宗教学特論Ⅲ
			兼任	講師	上原 究一 (39) <平成31年4月> 博士(文学)
					中国語学中国文学特論Ⅲ
			兼任	講師	末永 高康 (54) <平成31年4月> 博士(文学)
					中国思想特論Ⅲ
			兼任	講師	武田 将明 (45) <平成31年4月> Ph.D. (イギリス)
					英語文化論特論Ⅰ 英語文化論特論Ⅱ
			兼任	講師	西山 國雄 (52) <平成31年4月> 学術博士(言語学)
					英語学特論Ⅰ 英語学特論Ⅲ
			兼任	講師	熊谷 謙介 (43) <平成31年4月> Ph.D. (フランス)
					フランス文化学特論Ⅱ
			兼任	講師	佐藤 昇 (45) <平成31年4月> 博士(文学)
					西洋史特論Ⅲ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	宮宅 潔 (49) <平成31年4月> 博士(文学) 東洋古代中世史特論Ⅲ
兼任	講師	佐藤 研一 (67) <平成31年4月> 博士(文学) ドイツ文学特論Ⅱ
兼任	講師	高山 博 (62) <平成31年4月> Ph.D.(アメリカ) 西洋史特論Ⅰ
兼任	講師	新宮 学 (63) <平成31年4月> 博士(文学) 東洋近世史特論Ⅳ
兼任	講師	堂山 英次郎 (46) <平成31年4月> 博士(文学) インド学仏教史特論Ⅰ
兼任	講師	竹之内 裕文 (51) <平成31年4月> 博士(文学) 死生学特論Ⅲ
兼任	講師	高橋(安住) 亜希子 (50) <平成31年4月> 博士(文学) 日本語研究論文作成法Ⅰ 日本語研究論文作成法Ⅱ

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和元年度】

- ・担当教員見直しのため、木村敏明教授の授業担当科目を追加及び削除。
- ・担当教員見直しのため、桜井宗信教授の授業担当科目を削除。
- ・担当教員見直しのため、三浦秀一教授の授業担当科目を追加及び削除。
- ・担当教員見直しのため、川合安教授の授業担当科目を削除。
- ・担当教員見直しのため、嶋崎啓教授の授業担当科目を削除。
- ・担当教員見直しのため、有光秀行教授の授業担当科目を削除。
- ・平成31年4月高橋原教授就任。担当教員見直し及び教育内容の充実のための担当者増。
- ・担当教員見直しのため、山田仁史准教授の授業担当科目を削除及び追加。
- ・担当教員見直しのため、谷山洋三准教授の授業担当科目を削除。
- ・担当教員見直しのため、齋藤智寛教授の授業担当科目を追加及び削除。
- ・土屋育子准教授を教授に昇任。担当教員見直しのため、授業担当科目を削除。
- ・担当教員見直しのため、矢田尚子准教授の授業担当科目を追加及び削除。
- ・担当教員見直しのため、大野晃嗣准教授の授業担当科目を追加及び削除。
- ・担当教員見直しのため、高橋章則教授の授業担当科目を削除。
- ・教育内容の充実のため、齋藤倫明教授の授業担当科目を追加。
- ・担当教員見直しのため、大木一夫教授の授業担当科目を削除。
- ・教育課程の充実のため、阿部恒之教授の授業担当科目を追加。
- ・担当教員見直しのため、小泉政利教授の授業担当科目を追加。
- ・平成31年4月尾崎彰宏教授就任。担当教員見直しのため。
- ・平成31年4月佐藤嘉倫教授就任。担当教員見直しのため。
- ・片岡龍准教授を教授に昇任。
- ・小河原義朗准教授を教授に昇任。
- ・横溝博准教授を教授に昇任。
- ・堀裕准教授を教授に昇任。教育内容の充実のため、授業担当科目を追加。
- ・担当教員見直しのため、鹿又喜隆教授の授業担当科目を削除。
- ・担当教員見直しのため、佐藤雪野講師の授業担当科目を削除及び追加。
- ・平成31年4月島崎薫准教授就任。教育内容の充実のため。
- ・平成31年4月村山達也准教授就任。教育内容の充実のため。
- ・平成31年4月大村哲夫准教授就任。担当教員見直し及び教育課程の充実のため。
- ・平成31年4月KOPYLOVA OLGA助教就任。担当教員見直し及び教育課程の充実のため。
- ・伊藤敦規講師就任辞退により、片岡樹講師に変更。
- ・松前もゆる講師就任辞退により、相島葉月講師に変更。
- ・三木英講師就任辞退により、山崎亮講師に変更。
- ・平成31年4月西村直子准教授就任（兼任講師から切替）。尾園絢一講師就任辞退及び教育内容の充実のため、授業担当科目を追加。
- ・川合康三講師就任辞退により、上原究一講師に変更。
- ・小路聡講師就任辞退により、末永高康講師に変更。
- ・山田雄三講師就任辞退により、武田将明講師に変更。
- ・土橋善仁講師就任辞退により、西山國雄講師に変更。
- ・廣松勲講師就任辞退により、熊谷謙介講師に変更。
- ・山崎彰講師就任辞退により、佐藤昇講師に変更。
- ・教育課程の充実のため、Max Phillips講師の授業担当科目を名称変更及び追加。
- ・平成31年4月宮宅潔講師就任。担当教員見直しのため。
- ・平成31年4月佐藤研一講師就任。担当教員見直しのため。
- ・平成31年4月高山博講師就任。担当教員見直しのため。
- ・平成31年4月新宮学講師就任。教育課程の充実のため。
- ・平成31年4月堂山英次郎講師就任。担当教員見直しのため。
- ・平成31年4月竹之内裕文講師就任。担当教員見直しのため。
- ・平成31年4月高橋（安住）亜希子講師就任。高橋章則教授就任辞退及び教育課程の充実のため。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書（A C）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導補助教員数
3	2	3
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数【大学院】

設置時の計画					現在（報告時）の状況				
教授	准教授	講師	助教	計（A）	教授	准教授	講師	助教	計（B）
14	12	0	0	26	16	13	0	0	29
(16)	(13)	(0)	(0)	(29)					
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数	/		研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数	/	
26	0	0			29	0	0		
(29)	(0)	(0)			(29)	(0)	(0)		
現在（報告時）の完成年度時の状況					現在（報告時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計（C）	教授	准教授	講師	助教	計（D）
16	12	0	0	28	16	12	0	0	28
[ 2 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 2 ]	[ 2 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 2 ]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数	/		研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数	/	
28	0	0			28	0	0		
[ 2 ]	[ 0 ]	[ 0 ]			[ 2 ]	[ 0 ]	[ 0 ]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）  
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段階書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。  
 [ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{28}{26} = \boxed{107.69} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{29} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
		該当なし								
合計（D）					後任補充状況の集計（E）					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
		該当なし								
合計（F）					後任補充状況の集計（G）					
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について**に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（D）+（F）					後任補充状況の集計（E）+（G）					
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目



(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-(3)合計(D)+(F)}{(2)-(2)設置時の計画(A)} = \frac{0}{26} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
		該当なし					
合計					後任補充状況の集計		
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および( )書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
- ・ 兼任兼任教員が担当する(している)場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

5 教員組織の状況

<文学研究科 広域文化学専攻 博士後期課程>

(1) -① 担当教員表

【事前伺い時】

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	沼崎 一郎 (59) <平成31年4月> P h. D. (アメリカ)
		博士論文研究
専	教授	木村 敏明 (52) <平成31年4月> 博士 (文学)
		人文社会科学特別科目 博士論文研究
専	教授	桜井 宗信 (57) <平成31年4月> 博士 (文学)
		博士論文研究
専	教授	三浦 秀一 (60) <平成31年4月> 博士 (文学)
		博士論文研究
専	教授	川合 安 (60) <平成31年4月> 博士 (文学)
		博士論文研究
専	教授	大河内 昌 (58) <平成31年4月> 博士 (文学)
		博士論文研究
専	教授	金子 義明 (61) <平成31年4月> 博士 (文学)
		博士論文研究
専	教授	島 越郎 (50) <平成31年4月> 博士 (文学)
		博士論文研究
専	教授	森本 浩一 (61) <平成31年4月> 文学修士
		博士論文研究
専	教授	嶋崎 啓 (52) <平成31年4月> 博士 (文学)
		博士論文研究
専	教授	NARROG HEIKO (52) <平成31年4月> P h. D. (ドイツ)
		博士論文研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	沼崎 一郎 (60) <平成31年4月> P h. D. (アメリカ)
		人文社会科学特別科目 博士論文研究
専	教授	木村 敏明 (53) <平成31年4月> 博士 (文学)
		博士論文研究
専	教授	桜井 宗信 (58) <平成31年4月> 博士 (文学)
		博士論文研究
専	教授	三浦 秀一 (61) <平成31年4月> 博士 (文学)
		人文社会科学特別科目 博士論文研究
専	教授	川合 安 (61) <平成31年4月> 博士 (文学)
		博士論文研究
専	教授	大河内 昌 (59) <平成31年4月> 博士 (文学)
		博士論文研究
専	教授	金子 義明 (62) <平成31年4月> 博士 (文学)
		博士論文研究
専	教授	島 越郎 (51) <平成31年4月> 博士 (文学)
		博士論文研究
専	教授	森本 浩一 (62) <平成31年4月> 文学修士
		博士論文研究
専	教授	嶋崎 啓 (53) <平成31年4月> 博士 (文学)
		博士論文研究
専	教授	NARROG HEIKO (53) <平成31年4月> P h. D. (ドイツ)
		博士論文研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	阿部 宏 (59) <平成31年4月> 博士(情報科学)
		博士論文研究
専	教授	今井 勉 (56) <平成31年4月> 博士(文学)
		キャリア設計演習 博士論文研究
専	教授	有光 秀行 (57) <平成31年4月> 博士(文学)
		博士論文研究
専	准教授	川口(一条) 幸大 (42) <平成31年4月> 博士(文学)
		博士論文研究
専	准教授	山田 仁史 (45) <平成31年4月> Dr. Phil. (ドイツ)
		博士論文研究
専	准教授	谷山 洋三 (46) <平成31年4月> 博士(文学)
		人文社会科学特別科目 博士論文研究
専	准教授	齋藤 智寛 (43) <平成31年4月> 博士(文学)
		博士論文研究
専	准教授	土屋 育子 (46) <平成31年4月> 博士(文学)
		博士論文研究
専	准教授	矢田 尚子 (51) <平成31年4月> 博士(文学)
		博士論文研究
専	准教授	馬 暁地 (63) <平成31年4月> 修士(文学)
		博士論文研究
兼任	講師	馬 暁地 (63) <平成32年4月> 修士(文学)
		博士論文研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	阿部 宏 (60) <平成31年4月> 博士(情報科学)
		博士論文研究
専	教授	今井 勉 (57) <平成31年4月> 博士(文学)
		人文社会科学特別科目 キャリア設計演習 博士論文研究
専	教授	有光 秀行 (58) <平成31年4月> 博士(文学)
		博士論文研究
専	教授	高橋 原 (49) <平成31年4月> 博士(文学)
		博士論文研究
専	准教授	川口(一条) 幸大 (43) <平成31年4月> 博士(文学)
		博士論文研究
専	准教授	山田 仁史 (46) <平成31年4月> Dr. Phil. (ドイツ)
		人文社会科学特別科目 博士論文研究
専	准教授	谷山 洋三 (47) <平成31年4月> 博士(文学)
		人文社会科学特別科目 博士論文研究
専	准教授	齋藤 智寛 (44) <平成31年4月> 博士(文学)
		博士論文研究
専	教授	土屋 育子 (47) <平成31年4月> 博士(文学)
		博士論文研究
専	准教授	矢田 尚子 (52) <平成31年4月> 博士(文学)
		博士論文研究
専	准教授	馬 暁地 (64) <平成31年4月> 修士(文学)
		博士論文研究
兼任	講師	馬 暁地 (64) <令和2年4月> 修士(文学)
		博士論文研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	大野 晃嗣 (46) <平成31年4月> 博士(文学)
		博士論文研究
専	准教授	大貫 隆史 (43) <平成31年4月> 博士(文学)
		博士論文研究
専	准教授	TINK JAMES MICHAEL (47) <平成31年4月> P h. D. (イギリス)
		博士論文研究
専	准教授	黒岩 卓 (42) <平成31年4月> 博士(文学)
		博士論文研究
専	准教授	MEVEL YANN ERIC (49) <平成31年4月> Doctorat (フランス)
		博士論文研究
専	准教授	浅岡 善治 (46) <平成31年4月> 博士(文学)
		博士論文研究
兼任	教授	高橋 章則 (61) <平成31年4月> 博士(社会学)
		日本語研究論文作成法
兼任	教授	小林 隆 (60) <平成31年4月> 博士(文学)
		研究倫理特論
兼任	教授	佐倉 由泰 (56) <平成31年4月> 博士(文学)
		人文社会科学特別科目
兼任	教授	戸島 貴代志 (59) <平成31年4月> 博士(文学)
		研究倫理特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	大野 晃嗣 (47) <平成31年4月> 博士(文学)
		博士論文研究
専	准教授	大貫 隆史 (44) <平成31年4月> 博士(文学)
		博士論文研究
専	准教授	TINK JAMES MICHAEL (48) <平成31年4月> P h. D. (イギリス)
		博士論文研究
専	准教授	黒岩 卓 (43) <平成31年4月> 博士(文学)
		博士論文研究
専	准教授	MEVEL YANN ERIC (50) <平成31年4月> Doctorat (フランス)
		博士論文研究
専	准教授	浅岡 善治 (47) <平成31年4月> 博士(文学)
		博士論文研究
専	准教授	西村 直子 (49) <平成31年4月> 博士(文学)
		博士論文研究
兼任	教授	小林 隆 (61) <平成31年4月> 博士(文学)
		人文社会科学特別科目 研究倫理特論
兼任	教授	佐倉 由泰 (57) <平成31年4月> 博士(文学)
		人文社会科学特別科目
兼任	教授	戸島 貴代志 (60) <平成31年4月> 博士(文学)
		人文社会科学特別科目 研究倫理特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	長岡 龍作 (58) <平成31年4月> 文学修士
		学術発表実習Ⅰ 学術発表実習Ⅱ 国際活動実習Ⅰ 国際活動実習Ⅱ 研究・教育実践活動実習Ⅰ 研究・教育実践活動実習Ⅱ
兼任	教授	阿部 恒之 (56) <平成31年4月> 博士(文学)
		人文社会科学特別科目 研究倫理特論
兼任	教授	坂井 信之 (48) <平成31年4月> 博士(人間科学)
		研究倫理特論
兼任	教授	小泉 政利 (53) <平成31年4月> P h. D. (アメリカ)
		研究倫理特論
兼任	教授	木村 邦博 (59) <平成31年4月> 博士(文学)
		研究倫理特論 人文統計基礎演習
兼任	准教授	CRAIG CHRISTOPHER ROBIN JAMIE (43) <平成31年4月> P h. D. (アメリカ)
		英語発表技能演習
兼任	准教授	荻原 理 (51) <平成31年4月> P h. D. (アメリカ)
		西洋古典文化特論
兼任	准教授	原 望 (49) <平成31年4月> P h. D. (ドイツ)
		研究倫理特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	長岡 龍作 (59) <平成31年4月> 文学修士
		人文社会科学特別科目 学術発表実習Ⅰ 学術発表実習Ⅱ 国際活動実習Ⅰ 国際活動実習Ⅱ 研究・教育実践活動実習Ⅰ 研究・教育実践活動実習Ⅱ
兼任	教授	阿部 恒之 (57) <平成31年4月> 博士(文学)
		人文社会科学特別科目 日本語・日本文化論特論Ⅰ 日本語・日本文化論特論Ⅱ 研究倫理特論
兼任	教授	坂井 信之 (49) <平成31年4月> 博士(人間科学)
		研究倫理特論
兼任	教授	小泉 政利 (54) <平成31年4月> P h. D. (アメリカ)
		研究倫理特論
兼任	教授	木村 邦博 (60) <平成31年4月> 博士(文学)
		研究倫理特論 人文統計基礎演習
兼任	教授	小河原 義朗 (50) <平成31年4月> 博士(文学)
		人文社会科学特別科目
兼任	教授	小松 丈晃 (50) <平成31年4月> 博士(文学)
		人文社会科学特別科目
兼任	教授	佐藤 嘉倫 (61) <平成31年4月> 博士(文学)
		人文社会科学特別科目
兼任	准教授	CRAIG CHRISTOPHER ROBIN JAMIE (44) <平成31年4月> P h. D. (アメリカ)
		人文社会科学特別科目 英語発表技能演習
兼任	准教授	荻原 理 (52) <平成31年4月> P h. D. (アメリカ)
		西洋古典文化特論
兼任	准教授	原 望 (50) <平成31年4月> P h. D. (ドイツ)
		研究倫理特論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	辻本 昌弘 (46) <平成31年4月> 博士(文学)
		研究倫理特論
兼任	講師	Max Phillips (49) <平成31年4月> MA (TESOL: Teaching English (to) Speakers (of)
		英語研究論文作成法

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	辻本 昌弘 (47) <平成31年4月> 博士(文学)
		研究倫理特論
兼任	准教授	箱橋 俊光 (47) <平成31年4月> 博士(文学)
		人文社会科学特別科目
兼任	准教授	大村 哲夫 (59) <平成31年4月> 博士(文学)
		人文社会科学研究Ⅰ 人文社会科学研究Ⅱ
兼任	助教	KOPYLOVA OLGA (35) <平成31年4月> 博士(文学)
		日本語・日本文化論特論Ⅰ 日本語・日本文化論特論Ⅱ
兼任	講師	Max Phillips (50) <平成31年4月> MA (TESOL: Teaching English (to) Speakers (of)
		英語研究論文作成法Ⅰ 英語研究論文作成法Ⅱ
兼任	講師	高橋(安住) 亜希子 (50) <平成31年4月> 博士(文学)
		日本語研究論文作成法Ⅰ 日本語研究論文作成法Ⅱ

(1) ①-②担当教員表に関する変更内容

【令和元年度】

- ・教育内容の充実のため、沼崎一郎教授の授業担当科目を追加。
- ・担当教員見直しのため、木村敏明教授の授業担当科目を削除。
- ・教育内容の充実のため、三浦秀一教授の授業担当科目を追加。
- ・教育内容の充実のため、今井勉教授の授業担当科目を追加。
- ・平成31年4月高橋原准教授就任。教育内容の充実のための担当者増。
- ・教育内容の充実のため、山田仁史准教授の授業担当科目を追加。
- ・教育内容の充実及び担当教員の見直しのため、谷山洋三准教授の授業担当科目を追加及び削除。
- ・土屋育子准教授を教授に昇任。
- ・平成31年4月西村直子准教授就任。教育内容の充実のための担当者増。
- ・教育内容の充実のため、小林隆教授の授業担当科目を追加。
- ・教育内容の充実のため、戸島貴代志教授の授業担当科目を追加。
- ・教育内容の充実のため、長岡龍作教授の授業担当科目を追加。
- ・教育課程の充実のため、阿部恒之教授の授業担当科目を追加。
- ・平成31年4月小河原義朗教授就任。教育内容の充実のための担当者増。
- ・平成31年4月小松丈晃教授就任。教育内容の充実のための担当者増。
- ・平成31年4月佐藤嘉倫教授就任。教育内容の充実のための担当者増。
- ・教育内容の充実のため、CRAIG CHRISTOPHER ROBIN JAMIE准教授の授業担当科目を追加。
- ・平成31年4月籠橋俊光准教授就任。教育内容の充実のための担当者増。
- ・平成31年4月大村哲夫准教授就任。担当教員見直し及び教育課程の充実のため。
- ・平成31年4月KOPYLOVA OLGA助教就任。教育課程の充実のため。
- ・教育課程の充実のため、Max Phillips講師の授業担当科目を名称変更及び追加。
- ・平成31年4月高橋（安住）亜希子講師就任。高橋章則教授就任辞退及び教育課程の充実のため。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導補助教員数
3	2	3
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数【大学院】

設置時の計画					現在（報告時）の状況				
教授	准教授	講師	助教	計（A）	教授	准教授	講師	助教	計（B）
14	12	0	0	26	16	13	0	0	29
(16)	(13)	(0)	(0)	(35)					
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数	/		研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数	/	
26	0	0			29		0		
(29)	(0)	(0)							
現在（報告時）の完成年度時の状況					現在（報告時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計（C）	教授	准教授	講師	助教	計（D）
16	12	0	0	28	16	13	0	0	29
[ 2 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 2 ]	[ 2 ]	[ 1 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 3 ]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数	/		研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数	/	
28	0	0			29	0	0		
[ 2 ]	[ 0 ]	[ 0 ]			[ 3 ]	[ 0 ]	[ 0 ]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）  
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段階書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。  
 [ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C）}}{\text{設置時の計画（A）}} = \frac{28}{26} = \boxed{107.69} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況（B）}} = \frac{0}{29} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。



(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
		該当なし								
合計（D）					後任補充状況の集計（E）					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
		該当なし								
合計（F）					後任補充状況の集計（G）					
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（D）+（F）					後任補充状況の集計（E）+（G）					
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-(3)合計(D)+(F)}{(2)-(2)設置時の計画(A)} = \frac{0}{26} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		該当なし								
合計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および ( ) 書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」
- ・ 兼任兼任教員が担当する (している) 場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

## 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の の 実 施 計 画
	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

<文学研究科 広域文化学専攻>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

#### ① 実施体制

##### a 委員会の設置状況

運営会議、コンプライアンス推進委員会

##### b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

<運営会議>

木曜日を開催曜日とし、年間約20回開催。参加者は、研究科長（委員長）、副研究科長（国際交流室長を兼ねる）、評議員（評価・研究推進室長を兼ねる）、総務企画室長、学務教育室長、入試渉外室長、社会連携室長、事務長で、各係長が陪席する。

<コンプライアンス推進委員会>

令和元年度は不定期開催を予定。参加者は、研究科長（委員長）、副研究科長、評議員、事務長。

##### c 委員会の審議事項等

<運営会議>

研究科及び学部の運営に関する全般（中期目標・中期計画に関する事柄、各種評価・研究推進に関する事柄、を含む）。

<コンプライアンス推進委員会>

公正な研究・教育活動推進のための施策全般（研究倫理遵守・ハラスメント防止に関する教育・FDの実施に関する事柄、教員研修に関する事柄、研究データの保存・管理に関する事柄を含む）。

#### ② 実施状況

##### a 実施内容

令和元年度は、評価・研究推進室（運営会議）及びコンプライアンス推進委員会の企画のもと、APRIN eラーニングプログラムの100%受講を実現するとともに、「研究倫理に関するFD」を実施する予定である。

また、学務教育室（運営会議）の企画のもと、「教育に関するFD」を実施する予定である。

本学高度教養教育・学生支援機構・大学教育支援センターが提供する「新任教員プログラム（NFP）」を新任教員に受講させる。また、同センターが提供する「専門性開発プログラム（PDF）」の受講を教員に推奨する。

##### b 実施方法

APRIN eラーニングプログラムは ISTUを利用して実施する。FDは講義形式で実施する。高度教養教育・学生支援機構から講師を派遣してもらう。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

APRIN eラーニングプログラムは随時、FDは各年1回を予定。全員の受講を促す。また新任教員研修は、NFPに沿って1年間をかけて実施される。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

教育方法等に関して「教育に関するFD」で得られた知見を授業改善に反映させるべく、学務教育室（運営会議）を中心に検討を進める。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

すべての開講科目で実施。セメスターの終了時期にアンケートを配付し、実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

アンケート結果は教員にフィードバックし、次学期以降の授業の改善に役立てている。評価結果の公開は行っていない。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

（4）自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置の趣旨・目的の達成に向けて設置計画に沿って取り組んでいるところである。

設置の趣旨・目的の達成状況に関する自己点検・評価としては、東北大学が毎年度実施している部局評価において実施するが、これと並行して評価・研究推進室（運営会議）を中心に、当研究科独自の自己点検評価を行う予定である。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

令和元年度中に公表を予定。

b 公表方法

自己点検・評価報告書を作成し公表する予定。

③ 認証評価を受ける計画

令和3年度に評価機関の評価を受けるべく、学内で検討中。

（注）・設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）

- a ホームページへの公表予定の有無 （  有 ・  無 ）
- b 公表有の場合の公表（予定）時期 （ 令和元年8月1日 ）
- b 公表無の場合の特段の理由 （ ）

（注）・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

国立大学法人東北大学

## (2) 大学名

東北大学大学院

## (3) 調査対象大学等の位置

〒980-8576  
宮城県仙台市青葉区川内27番1号  
(〒980-8577  
宮城県仙台市青葉区片平2丁目1番1号)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(オオノ ヒデオ) 大野 英男 (平成30年4月)		
研究科長	(モリモト コウイチ) 森本 浩一 (平成29年4月)		
専攻長	(ナガオカ リュウサク) 長岡 龍作 (平成31年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合（令和元年度までの5年間）ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
文学研究科 総合人間学専攻 (博士前期課程) 修士(文学) 修士(学術)	文学関係	2年	31人	— 年次人	62人	基礎となる学部等 文学部

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和元年度		令和2年度		平均入学定員 超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	31 ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]	1.29倍	—	
志願者数	64 ( 0 ) [ 40 ]	— ( - ) [ - ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]			
受験者数	61 ( 0 ) [ 38 ]	— ( - ) [ - ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]			
合格者数	43 ( 0 ) [ 24 ]	— ( - ) [ - ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]			
B 入学者数	40 ( 0 ) [ 23 ]	— ( - ) [ - ]	( ) ( ) [ ]	( ) ( ) [ ]			
入学定員超過率 B/A	1.29						

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ ( ) 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。



(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和元年度		令和2年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	40 [ 23 ] ( - )	- [ - ] ( - )	[ ] ( )	[ ] ( )	
2年次	/		[ ] ( )	[ ] ( )	
計	40 [ 23 ] ( - )		[ ] ( )		

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和元年度	40 人	0 人	令和元年度	0 人	0 人	
令和2年度	人	人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
合計		0 人		0 人	0 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
  - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
  - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
  - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{40} = \boxed{0} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{0} \%$$

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合（令和元年度までの5年間）ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
文学研究科 総合人間学専攻 (博士後期課程) 博士（文学） 博士（学術）	文学関係	3年	12人	— 年次人	36人	基礎となる学部等 文学部

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区分	令和元年度		令和2年度		令和3年度		平均入学定員 超過率	開設年度から報告 年度までの平均 入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	12 (—) [—]	—	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	1.00倍	—	
志願者数	16 ( 0 ) [ 5 ]	— ( — ) [ — ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]			
受験者数	16 ( 0 ) [ 5 ]	— ( — ) [ — ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]			
合格者数	12 ( 0 ) [ 3 ]	— ( — ) [ — ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]			
B 入学者数	12 ( 0 ) [ 3 ]	— ( — ) [ — ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]			
入学定員超過率 B/A	1.00								

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ ( ) 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和元年度		令和2年度		令和3年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	12 [ 3 ] ( - )	- [ - ] ( - )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	
2年次	/		[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	
3年次	/		/		[ ] ( )	[ ] ( )	
計	12 [ 3 ] ( - )		[ ] ( )		[ ] ( )		

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留學生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和元年度	12 人	0 人	令和元年度	0 人	0 人	
令和2年度	人	人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
令和3年度	人	人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
合計		0 人		0 人	0 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
  - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
  - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
  - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{12} = \boxed{0} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{0} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{0} \%$$

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

## 2 授業科目の概要

<文学研究科 総合人間学専攻 博士前期課程>

### (1) ① 授業科目表

#### 【事前伺い時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
総合科目	日本学総合科目Ⅰ	1前		2							兼12
	日本学総合科目Ⅱ	1後			2						兼17
	広域文化学総合科目Ⅰ	1前		2							兼13
	広域文化学総合科目Ⅱ	1後			2						兼3
	総合人間学総合科目Ⅰ	1前	2			5	2				
	総合人間学総合科目Ⅱ	1後	2			3	1				
	小計(6科目)	—	4	4	4	6	3				
特論	哲学特論Ⅰ	1前		2							兼1
	哲学特論Ⅱ	1後		2							兼1
	哲学特論Ⅲ	1前		2			1				
	哲学特論Ⅳ	1後		2							兼1
	生命環境倫理学特論Ⅰ	1前		2		1					
	倫理学特論Ⅰ	1前		2			1				
	倫理学特論Ⅱ	1後		2		1					兼1
	倫理学特論Ⅲ	1前		2							兼1
	東洋・日本美術史特論Ⅰ	1前		2		1					
	東洋・日本美術史特論Ⅱ	1後		2			1				
	東洋・日本美術史特論Ⅲ	1後		2							兼1
	美学特論Ⅰ	1後		2			1				
	美学・西洋美術史特論Ⅰ	1前		2							兼1
	美学・西洋美術史特論Ⅱ	1後		2							兼1
	芸術学特論Ⅰ	1前		2		1					
	実験心理学特論Ⅰ	1前		2		1					
	実験心理学特論Ⅱ	1前		2		1					
	実験心理学特論Ⅲ	1後		2		1					
	実験心理学特論Ⅳ	1前		2							兼1
	社会心理学特論Ⅰ	1前		2			1				
	社会心理学特論Ⅱ	1後		2			1				
	心理学特論Ⅰ	1後		2		1					
	言語学特論Ⅰ	1前		2		1					
	言語学特論Ⅱ	1後		2		1					
	言語学特論Ⅲ	1前		2		1					
	言語学特論Ⅳ	1後		2			1				
	学習・言語心理学特論Ⅰ	1前		2			1				
	理論社会学特論Ⅰ	1後		2		1					
	理論社会学特論Ⅱ	1後		2		1					
	社会変動学特論Ⅰ	1前		2							兼1
	社会変動学特論Ⅱ	1前		2		1					
	社会学特論Ⅰ	1前		2							兼1
	社会学特論Ⅱ	1前		2							兼1
	社会学特論Ⅲ	1後		2							兼1
	社会行動科学特論Ⅰ	1前		2			1				
	社会行動科学特論Ⅱ	1後		2			1				
	計算人文社会学特論Ⅰ	1前		2		1					
小計(37科目)	—		74		11	8					兼11

#### 【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
総合科目	日本学総合科目Ⅰ	1前		2							兼13
	日本学総合科目Ⅱ	1後			2						兼17
	広域文化学総合科目Ⅰ	1前		2							兼15
	広域文化学総合科目Ⅱ	1後			2						兼3
	総合人間学総合科目Ⅰ	1前	2			5	2				
	総合人間学総合科目Ⅱ	1後	2			6	2				
	小計(6科目)	—	4	4	4	9	4				
特論	哲学特論Ⅰ	1前		2							兼1
	哲学特論Ⅱ	1後		2							兼1
	哲学特論Ⅲ	1前		2			1	2			
	哲学特論Ⅳ	1前		2							兼1
	生命環境倫理学特論Ⅰ	1前		2		1					
	倫理学特論Ⅰ	1前		2			1				
	倫理学特論Ⅱ	1後		2		1					兼1
	倫理学特論Ⅲ	1前		2							兼1
	東洋・日本美術史特論Ⅰ	1前		2		1					
	東洋・日本美術史特論Ⅱ	1前		2			1				
	東洋・日本美術史特論Ⅲ	1後		2							兼1
	東洋・日本美術史特論Ⅳ	1前		2			1				
	東洋・日本美術史特論Ⅴ	1後		2				1			
	美学特論Ⅰ	1後		2			1				
	美学・西洋美術史特論Ⅰ	1前		2			1				
	美学・西洋美術史特論Ⅱ	1後		2			1				
	芸術学特論Ⅰ	1前		2		1					兼1
	実験心理学特論Ⅰ	1前		2		1					兼1
	実験心理学特論Ⅱ	1前		2		1					
	実験心理学特論Ⅲ	1後		2		1					
	実験心理学特論Ⅳ	1前		2							兼1
	社会心理学特論Ⅰ	1前		2			1				
	社会心理学特論Ⅱ	1後		2			1				
	心理学特論Ⅰ	1後		2		1					兼1
	言語学特論Ⅰ	1前		2		1					
	言語学特論Ⅱ	1後		2		1					
	言語学特論Ⅲ	1前		2		1					兼1
	言語学特論Ⅳ	1後		2			1				兼1
	学習・言語心理学特論Ⅰ	1前		2			1				
	理論社会学特論Ⅰ	1後		2		1					
	理論社会学特論Ⅱ	1後		2		1					
	社会変動学特論Ⅰ	1前		2							兼1
	社会変動学特論Ⅱ	1前		2		1					
	社会学特論Ⅰ	1前		2							兼1
	社会学特論Ⅱ	1前		2							兼1
	社会学特論Ⅲ	1後		2							兼1
	社会行動科学特論Ⅰ	1前		2			1				
	社会行動科学特論Ⅱ	1後		2			1				兼1
	計算人文社会学特論Ⅰ	1前		2		1					
小計(39科目)	—		78		9	11					兼17

総合演習	哲学総合演習Ⅰ	1前	2	1	3				
	哲学総合演習Ⅱ	1後	2	1	3				
	倫理学総合演習Ⅰ	1前	2	1	1				
	倫理学総合演習Ⅱ	1後	2	1	1				
	心理学総合演習Ⅰ	1前	2	2	2				
	心理学総合演習Ⅱ	1後	2	2	2				
	言語学総合演習Ⅰ	1前	2	2	1				
	言語学総合演習Ⅱ	1後	2	2	1				
	小計(8科目)	—	16	6	7				
研究演習	哲学研究演習Ⅰ	1前	2						兼1
	哲学研究演習Ⅱ	1後	2		1				
	古代中世哲学研究演習Ⅰ	1前	2		1				
	古代中世哲学研究演習Ⅱ	1後	2		1				
	近代哲学研究演習Ⅰ	1前	2		1				
	近代哲学研究演習Ⅱ	1後	2		1				
	現代哲学研究演習Ⅰ	1前	2	1					
	現代哲学研究演習Ⅱ	1後	2	1					
	科学哲学研究演習Ⅰ	1前	2		1				
	科学哲学研究演習Ⅱ	1後	2		1				
	生命環境倫理学研究演習Ⅰ	1後	2		1				
	倫理学研究演習Ⅰ	1前	2		1				
	倫理学研究演習Ⅱ	1後	2		1				
	倫理学研究演習Ⅲ	1前	2		1				
	倫理学研究演習Ⅳ	1後	2		1				
	東洋・日本美術史研究演習Ⅰ	1前	2		1				
	東洋・日本美術史研究演習Ⅱ	1後	2		1				
	美学・西洋美術史研究演習Ⅰ	1前	2		1				
	美学・西洋美術史研究演習Ⅱ	1後	2		1				
	美学研究演習Ⅰ	1前	2		1				
	実験心理学研究演習Ⅰ	1後	2						兼1
	実験心理学研究演習Ⅱ	1後	2		1				
	実験心理学研究演習Ⅲ	1前	2		1				
	実験心理学研究演習Ⅳ	1後	2						兼1
	社会心理学研究演習Ⅰ	1後	2		1				
	社会心理学研究演習Ⅱ	1前	2		1				
	言語学研究演習Ⅰ	1後	2		1				
	言語学研究演習Ⅱ	1前	2		1				
	言語学研究演習Ⅲ	1後	2		1				
	社会学研究演習Ⅰ	1前	2		1				
	社会変動学研究演習Ⅰ	1前	2						兼1
	社会変動学研究演習Ⅱ	1後	2		1				
	理論社会学研究演習Ⅰ	1・2前	2		1				
	理論社会学研究演習Ⅱ	1・2後	2		1				
	理論社会学研究演習Ⅲ	1・2前	2		1				
	理論社会学研究演習Ⅳ	1・2後	2		1				
	数理行動科学研究演習Ⅰ	1前	2		1				
	数理行動科学研究演習Ⅱ	1後	2		1				
	数理行動科学研究演習Ⅲ	1前	2		1				
	数理行動科学研究演習Ⅳ	1後	2		1				
	計量行動科学研究演習Ⅰ	1前	2		1				
	計量行動科学研究演習Ⅱ	1後	2		1				
	計量行動科学研究演習Ⅲ	1前	2		1				
	計量行動科学研究演習Ⅳ	1後	2		1				
	計算人文社会学研究演習Ⅰ	1前	2		1				
	計算人文社会学研究演習Ⅱ	1後	2		1				
小計(46科目)	—	92		13	10				兼3

総合演習	哲学総合演習Ⅰ	1前	2	1	2				
	哲学総合演習Ⅱ	1後	2	1	2				
	倫理学総合演習Ⅰ	1前	2	1	1				
	倫理学総合演習Ⅱ	1後	2	1	1				
	心理学総合演習Ⅰ	1前	2	2	2				
	心理学総合演習Ⅱ	1後	2	2	2				
	言語学総合演習Ⅰ	1前	2	2	1				
	言語学総合演習Ⅱ	1後	2	2	1				
	小計(8科目)	—	16	6	6				
研究演習	哲学研究演習Ⅰ	1前	2						兼1
	哲学研究演習Ⅱ	1後	2		1				
	古代中世哲学研究演習Ⅰ	1前	2		1				
	古代中世哲学研究演習Ⅱ	1後	2		1				
	近代哲学研究演習Ⅰ	1前	2		1				
	近代哲学研究演習Ⅱ	1後	2		1				
	現代哲学研究演習Ⅰ	1前	2	1					
	現代哲学研究演習Ⅱ	1後	2	1					
	科学哲学研究演習Ⅰ	1前	2		1				
	科学哲学研究演習Ⅱ	1後	2		1				
	生命環境倫理学研究演習Ⅰ	1後	2		1				
	倫理学研究演習Ⅰ	1前	2		1				
	倫理学研究演習Ⅱ	1後	2		1				
	倫理学研究演習Ⅲ	1前	2		1				
	倫理学研究演習Ⅳ	1後	2		1				
	倫理学研究演習Ⅴ	1前	2		1				
	倫理学研究演習Ⅵ	1後	2		1				
	東洋・日本美術史研究演習Ⅰ	1前	2		1				
	東洋・日本美術史研究演習Ⅱ	1後	2		1				
	美学・西洋美術史研究演習Ⅰ	1前	2		1				
	美学・西洋美術史研究演習Ⅱ	1後	2		1				
	美学研究演習Ⅰ	1前	2		1				
	実験心理学研究演習Ⅰ	1後	2						兼1
	実験心理学研究演習Ⅱ	1後	2		1				
	実験心理学研究演習Ⅲ	1前	2		1				
	実験心理学研究演習Ⅳ	1後	2						兼1
	社会心理学研究演習Ⅰ	1後	2		1				
	社会心理学研究演習Ⅱ	1前	2		1				
	言語学研究演習Ⅰ	1後	2		1				
	言語学研究演習Ⅱ	1前	2		1				
	言語学研究演習Ⅲ	1後	2		1				
	社会学研究演習Ⅰ	1前	2		1				
	社会変動学研究演習Ⅰ	1前	2						兼1
	社会変動学研究演習Ⅱ	1後	2		1				
	理論社会学研究演習Ⅰ	1・2前	2		1				
	理論社会学研究演習Ⅱ	1・2後	2		1				
	理論社会学研究演習Ⅲ(未開講)	1・2前	2		1				
	理論社会学研究演習Ⅳ(未開講)	1・2後	2		1				
	数理行動科学研究演習Ⅰ	1前	2		1				1
	数理行動科学研究演習Ⅱ	1後	2		1				1
	数理行動科学研究演習Ⅲ	1前	2		1				
	数理行動科学研究演習Ⅳ	1後	2		1				
	計量行動科学研究演習Ⅰ	1前	2		1				
	計量行動科学研究演習Ⅱ	1後	2		1				
	計量行動科学研究演習Ⅲ	1前	2		1				
	計量行動科学研究演習Ⅳ	1後	2		1				
計算人文社会学研究演習Ⅰ	1前	2		1				1	
計算人文社会学研究演習Ⅱ	1後	2		1				1	
小計(48科目)	—	96		13	11				兼4

研究実習	心理学研究実習Ⅰ	1前		2		2	2														
	心理学研究実習Ⅱ	1後		2		2	2														
	社会学研究実習Ⅰ	1前		2		2															
	社会学研究実習Ⅱ	1後		2		2															
	小計(4科目)	—		8		4	2														
スキル科目	研究倫理特論	1前		2		5	2													兼1	
	西洋古典文化特論	1後		2																兼1	
	人文社会科学研究	1前		2			1													兼1	
	英語発表技能演習	1後		2																兼1	
	英語研究論文作成法	1前		2																兼1	
	日本語研究論文作成法	1前		2																兼1	
	人文統計基礎演習	1後		2																兼1	
	キャリア設計演習	1後		2		1															
	小計(8科目)	—		16		6	3														兼6
	学術実践活動	学術発表実習Ⅰ	1・2通		2		1														
学術発表実習Ⅱ		1・2通		2		1															
国際活動実習Ⅰ		1・2通		2		1															
国際活動実習Ⅱ		1・2通		2		1															
研究・教育実践活動実習Ⅰ		1・2通		2		1															
研究・教育実践活動実習Ⅱ		1・2通		2		1															
小計(6科目)		—		12		1															
論文研究	修士論文研究	1・2通	8			13	10													兼1	
	小計(1科目)	—	8			13	10													兼1	
合計(116科目)			—	12	222	4	13	10													兼57
修了要件及び履修方法																					
修了要件30単位を、総合科目6単位、専門科目等16単位、修士論文研究8単位から構成する。総合科目は、総合人間学専攻で開設するⅠ・Ⅱ(4単位)及び他専攻で開設するⅠ(2単位)を必修とする。専門科目等は、専攻で開設する専門科目(特論・総合演習・研究演習・研究実習)から16単位を選択必修とするが、このうち6単位までを、スキル科目、学術実践活動又は他専攻の専門科目で充当することができる。修士論文研究は学期毎に2単位、修了までに計8単位を履修しなければならない。																					

研究実習	心理学研究実習Ⅰ	1前		2		2	2														
	心理学研究実習Ⅱ	1後		2		2	2														
	社会学研究実習Ⅰ	1前		2		2		1													
	社会学研究実習Ⅱ	1後		2		2		1													
	小計(4科目)	—		8		4	3														
スキル科目	研究倫理特論	1前		2		5	2														兼1
	西洋古典文化特論	1後		2																	兼1
	人文社会科学研究Ⅰ	1前		2																	兼1
	人文社会科学研究Ⅱ	1後		2																	兼1
	日本語・日本文化論特論Ⅰ	1前		2			1														兼1
	日本語・日本文化論特論Ⅱ	1後		2			1														兼1
	英語発表技能演習	1後		2																	兼1
	英語研究論文作成法Ⅰ	1前		2																	兼1
	英語研究論文作成法Ⅱ	1後		2																	兼1
	日本語研究論文作成法Ⅰ	1前		2																	兼1
	日本語研究論文作成法Ⅱ	1後		2																	兼1
	人文統計基礎演習	1前		2			1														兼1
	キャリア設計演習	1後		2																	兼1
小計(13科目)	—		26		6	3															兼7
学術実践活動	学術発表実習Ⅰ	1・2通		2		1															
	学術発表実習Ⅱ	1・2通		2		1															
	国際活動実習Ⅰ	1・2通		2		1															
	国際活動実習Ⅱ	1・2通		2		1															
	研究・教育実践活動実習Ⅰ	1・2通		2		1															
	研究・教育実践活動実習Ⅱ	1・2通		2		1															
	小計(6科目)	—		12		1															
論文研究	修士論文研究	1・2通	8			13	12														兼1
	小計(1科目)	—	8			13	12														兼1
合計(125科目)			—	12	240	4	13	12													兼56
修了要件及び履修方法																					
修了要件30単位を、総合科目6単位、専門科目等16単位、修士論文研究8単位から構成する。総合科目は、総合人間学専攻で開設するⅠ・Ⅱ(4単位)及び他専攻で開設するⅠ(2単位)を必修とする。専門科目等は、専攻で開設する専門科目(特論・総合演習・研究演習・研究実習)から16単位を選択必修とするが、このうち6単位までを、スキル科目、学術実践活動又は他専攻の専門科目で充当することができる。修士論文研究は学期毎に2単位、修了までに計8単位を履修しなければならない。																					

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
  - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
  - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
  - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)



(1) 一②授業科目表に関する変更内容

【令和元年度】

<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育内容の充実のため、「日本学総合科目Ⅰ」の専任教員等の配置を「兼12」から「兼13」に変更。</li> <li>・教育内容の充実のため、「広域文化学総合科目Ⅰ」の専任教員等の配置を「兼13」から「兼15」に変更。</li> <li>・教育内容の充実のため、「総合人間学総合科目Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授3、准教授1」から「教授6、准教授2」に変更。</li> <li>・教育内容の充実のため、「哲学特論Ⅲ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1、准教授2」に変更。</li> <li>・教育効果向上のため、「哲学特論Ⅳ」の開講時期を「1後」から「1前」に変更。</li> <li>・担当教員見直しのため、「倫理学特論Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼1」に変更。</li> <li>・教育効果向上のため、「東洋・日本美術史特論Ⅱ」の開講時期を「1後」から「1前」に変更。</li> <li>・教育課程の充実のため、「東洋・日本美術史特論Ⅳ」を新設。</li> <li>・教育課程の充実のため、「東洋・日本美術史特論Ⅴ」を新設。</li> <li>・担当教員見直しのため、「美学・西洋美術史特論Ⅰ」の専任教員等の配置を「兼1」から「教授1」に変更。</li> <li>・担当教員見直しのため、「美学・西洋美術史特論Ⅱ」の専任教員等の配置を「兼1」から「教授1」に変更。</li> <li>・担当教員見直しのため、「芸術学特論Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼1」に変更。</li> <li>・担当教員見直しのため、「実験心理学特論Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼1」に変更。</li> <li>・担当教員見直しのため、「心理学特論Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼1」に変更。</li> <li>・担当教員見直しのため、「言語学特論Ⅲ」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼1」に変更。</li> <li>・担当教員見直しのため、「言語学特論Ⅳ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「兼1」に変更。</li> <li>・担当教員見直しのため、「社会変動学特論Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。</li> <li>・担当教員見直しのため、「社会行動科学特論Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「兼1」に変更。</li> <li>・担当教員見直しのため、「計算人文社会学特論Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。</li> <li>・担当教員見直しのため、「哲学総合演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授3」から「准教授2」に変更。</li> <li>・担当教員見直しのため、「哲学総合演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授3」から「准教授2」に変更。</li> <li>・担当教員見直しのため、「科学哲学研究演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。</li> <li>・教育課程の充実のため、「倫理学研究演習Ⅴ」を新設。</li> <li>・教育課程の充実のため、「倫理学研究演習Ⅵ」を新設。</li> <li>・担当教員見直しのため、「社会変動学研究演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。</li> <li>・准教授1名採用のため、「数理行動科学研究演習Ⅰ」の専任教員等の配置に「准教授1」を追加。</li> <li>・准教授1名採用のため、「数理行動科学研究演習Ⅱ」の専任教員等の配置に「准教授1」を追加。</li> <li>・担当教員見直しのため、「計算人文社会学研究演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。</li> <li>・担当教員見直しのため、「計算人文社会学研究演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。</li> <li>・准教授1名採用のため、「社会学研究実習Ⅰ」の専任教員等の配置に「准教授1」を追加。</li> <li>・准教授1名採用のため、「社会学研究実習Ⅱ」の専任教員等の配置に「准教授1」を追加。</li> <li>・教育課程の充実のため、授業科目名を「人文社会科学研究Ⅰ」に変更するとともに、「人文社会科学研究Ⅱ」を新設。</li> <li>・教育課程の充実のため、「日本語・日本文化論特論Ⅰ」を新設。</li> <li>・教育課程の充実のため、「日本語・日本文化論特論Ⅱ」を新設。</li> <li>・教育課程の充実のため、授業科目名を「英語研究論文作成法Ⅰ」に変更するとともに、「英語研究論文作成法Ⅱ」を新設。</li> <li>・教育課程の充実のため、授業科目名を「日本語研究論文作成法Ⅰ」から「日本語研究論文作成法Ⅱ」に変更するとともに、「日本研究論文作成法Ⅱ」を新設。</li> <li>・教育効果向上のため、「人文統計基礎演習」の開講時期を「1後」から「1前」に変更。</li> <li>・准教授2名採用のため、「修士論文研究」の専任教員等の配置を「准教授10」から「准教授12」に変更。</li> </ul>
---

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
3 科目	111 科目	2 科目	116 科目	3 科目	120 科目 [ 9 ]	2 科目	125 科目 [ 9 ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	理論社会学研究演習Ⅲ	2	1・2前	専門	選択	隔年開講（令和元年度非開講）
2	理論社会学研究演習Ⅳ	2	1・2後	専門	選択	隔年開講（令和元年度非開講）
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>「大学の所見」 未開講科目は、隔年開講の科目であるため今年度は開講しないものである。学生には在学期間中の履修機会を確保しているため、教育上の問題はない。</p> <p>「学生への周知方法」 学生便覧及び入学オリエンテーションにおいて周知を図っている。</p>
--

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（3）と廃止科目（4）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（A）}} = \frac{2}{116} = \boxed{1.72} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

## 2 授業科目の概要

<文学研究科 総合人間学専攻 博士後期課程>

### (1) -① 授業科目表

#### 【事前伺い時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合科目	人文社会科学特別科目	1前	2			1						兼2
	小計 (1科目)	—	2			1						兼2
スキル科目	研究倫理特論	1前	2			5	2					兼1
	西洋古典文化特論	1後	2				1					
	人文社会科学研究	1前	2									兼1
	英語発表技能演習	1後	2									兼1
	英語研究論文作成法	1前	2									兼1
	日本語研究論文作成法	1前	2									兼1
	人文統計基礎演習	1後	2			1						
	キャリア設計演習	1後	2									兼1
	小計 (8科目)	—		16		6	3					
学術実践活動	学術発表実習Ⅰ	1・2・3通	2			1						
	学術発表実習Ⅱ	1・2・3通	2			1						
	国際活動実習Ⅰ	1・2・3通	2			1						
	国際活動実習Ⅱ	1・2・3通	2			1						
	研究・教育実践活動実習Ⅰ	1・2・3通	2			1						
	研究・教育実践活動実習Ⅱ	1・2・3通	2			1						
小計 (6科目)	—		12		1							
論文研究	博士論文研究	1・2・3通	8			11	10					兼3
	小計 (1科目)	—	8			11	10					兼3
合計 (16科目)			—	10	28	11	10					兼11
修了要件及び履修方法												
修了要件12単位を、総合科目2単位、スキル科目又は学術実践活動 (選択必修) 2単位、博士論文研究8単位から構成する。博士論文研究は学期毎に2単位、修了までに計8単位を履修しなければならない。												

#### 【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合科目	人文社会科学特別科目	1前	2			5						兼10
	小計 (1科目)	—	2			5						兼10
スキル科目	研究倫理特論	1前	2			5	2					兼1
	西洋古典文化特論	1後	2				1					
	人文社会科学研究Ⅰ	1前	2									兼1
	人文社会科学研究Ⅱ	1後	2									兼1
	日本語・日本文化論特論Ⅰ	1前	2			1						兼1
	日本語・日本文化論特論Ⅱ	1後	2			1						兼1
	英語発表技能演習	1後	2									兼1
	英語研究論文作成法Ⅰ	1前	2									兼1
	英語研究論文作成法Ⅱ	1後	2									兼1
	日本語研究論文作成法Ⅰ	1前	2									兼1
	日本語研究論文作成法Ⅱ	1後	2									兼1
	人文統計基礎演習	1前	2			1						
	キャリア設計演習	1後	2									兼1
小計 (13科目)	—		26		6	3						兼7
学術実践活動	学術発表実習Ⅰ	1・2・3通	2			1						
	学術発表実習Ⅱ	1・2・3通	2			1						
	国際活動実習Ⅰ	1・2・3通	2			1						
	国際活動実習Ⅱ	1・2・3通	2			1						
	研究・教育実践活動実習Ⅰ	1・2・3通	2			1						
	研究・教育実践活動実習Ⅱ	1・2・3通	2			1						
小計 (6科目)	—		12		1							
論文研究	博士論文研究	1・2・3通	8			11	12					兼3
	小計 (1科目)	—	8			11	12					兼3
合計 (21科目)			—	10	38	11	12					兼17
修了要件及び履修方法												
修了要件12単位を、総合科目2単位、スキル科目又は学術実践活動 (選択必修) 2単位、博士論文研究8単位から構成する。博士論文研究は学期毎に2単位、修了までに計8単位を履修しなければならない。												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
  - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号 (その2の1) に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て (兼任、兼任教員が担当する科目を含む。) を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
  - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
  - ・ 不要な年度 (平成29年度開設であれば平成28年度) の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

**【令和元年度】**

- ・教育内容の充実のため、「人文社会科学特別科目」の専任教員等の配置を「教授1、兼2」から「教授5、兼10」に変更。
- ・教育課程の充実のため、授業科目名を「人文社会科学研究」から「人文社会科学研究Ⅰ」に変更するとともに、「人文社会科学研究Ⅱ」を新設。
- ・教育課程の充実のため、「日本語・日本文化論特論Ⅰ」を新設。
- ・教育課程の充実のため、「日本語・日本文化論特論Ⅱ」を新設。
- ・教育課程の充実のため、授業科目名を「英語研究論文作成法」から「英語研究論文作成法Ⅰ」に変更するとともに、「英語研究論文作成法Ⅱ」を新設。
- ・教育課程の充実のため、授業科目名を「日本語研究論文作成法」から「日本語研究論文作成法Ⅰ」に変更するとともに、「日本研究論文作成法Ⅱ」を新設。
- ・教育効果向上のため、「人文統計基礎演習」の開講時期を「1後」から「1前」に変更。
- ・准教授2名採用のため、「博士論文研修」の専任教員等の配置を「准教授10」から「准教授12」に変更。

- (注) ・ 2(1)① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
2	14	0	16	2	19	0	21	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
				[ 0 ]	[ 5 ]	[ 0 ]	[ 5 ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。  
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{16} = \boxed{\phantom{00}}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。  
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計				
	校舎敷地	21,915,365㎡	0㎡	0㎡	21,915,365㎡				
	運動場用地	132,573㎡	0㎡	0㎡	132,573㎡				
	小 計	22,047,938㎡	0㎡	0㎡	22,047,938㎡				
	そ の 他	0㎡	0㎡	0㎡	0㎡				
	合 計	22,047,938㎡	0㎡	0㎡	22,047,938㎡				
(2) 校舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計				
		1,121,513㎡ (1,121,513㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	1,121,513㎡ (1,121,513㎡)				
(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設				
	12 室	16 室	13 室	1 室 (補助職員 3 人)	0 室 (補助職員 0 人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	文学研究科総合人間学専攻			26 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	研究科単位での特定不能なため、大学全体の数	
	文学研究科総合人間学専攻	4,168,468 [1,974,876] (4,168,468 [1,974,876])	86,198 [42,422] (86,198 [42,422])	13,287 [13,272] (13,287 [13,272])	8,242 (8,242)	45,198 (45,198)	2,432,339 (2,432,339)		
	計	4,168,468 [1,974,876] (4,168,468 [1,974,876])	86,198 [42,422] (86,198 [42,422])	13,287 [13,272] (13,287 [13,272])	8,242 (8,242)	45,198 (45,198)	2,432,339 (2,432,339)		
(6) 図書館	面 積	閲覧座席数	収 納 可 能 冊 数						
	45,481㎡	2,885席	4,328,122冊	大学全体					
(7) 体育館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要							
	7,024㎡	武道場							
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員 1 人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円	
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円		
	学生 1 人当り納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次		
		千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要								

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第 2 号 (その 1 の 1) に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1) 校地等」及び「(2) 校舎」は大学全体の数字を、その他の項目は A C 対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨 (所要時間・距離等) を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5) 図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年 5 月 1 日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更 (校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延) がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
  - ・ 国立大学については「(8) 経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

#### 4 既設大学等の状況

大学の名称		東北大学									備考
既設学部等の名称		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
		年	人	年次人	人		倍	年度	年度		
文学部	人文社会学科	4	210	—	840	学士(文学)	1.06		平9年度改組	宮城県仙台市青葉区川内27番1号	大11年学部設置 法文学部から分立(昭24年度)
教育学部	教育科学科	4	70	—	280	学士(教育学)	1.05		平10年度改組	宮城県仙台市青葉区川内27番1号	昭24年度学部設置
法学部	法学科	4	160	—	640	学士(法学)	1.06		昭24年度	宮城県仙台市青葉区川内27番1号	
経済学部	経済学科	4	130	3年次10	540	学士(経済学)	1.04		昭24年度	宮城県仙台市青葉区川内27番1号	大11年学部設置 法文学部から分立(昭24年度)
	経営学科	4	130	3年次10	540				昭43年度		
	計		260	20	1,080						
理学部	数学科	4	45	—	180	学士(理学)	0.99		昭24年度	宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉6番3号	大8年理科大学から理学部となる
	物理学科	4	78	—	312		1.00		平6年度改組・統合		
	宇宙地球物理学科	4	41	—	164				平4年度改組		
	化学科	4	70	—	280		1.07		平7年度改組・統合		
	地圏環境科学科	4	30	—	120				平4年度改組		
	地球惑星物質科学科	4	20	—	80		0.99		平4年度改組(平20年度改称)		
	生物学科	4	40	—	160		0.99		昭24年度		
	計		324	—	1,296			1.01			
医学部	医学科	6	135	—	810	学士(医学)	1.00	平成30	昭24年度	宮城県仙台市青葉区星陵町2番1号	大8年医科大学から改称
	保健学科	4	144	—	576	学士(看護学) 学士(保健学)	1.01		平16年度改組		平16年医療技術短期大学部から医学部保健学科となる 平26年度より3年次編入学廃止
	計		279	—	1,386		1.01				
歯学部	歯学科	6	53	—	318	学士(歯学)	1.00		昭40年度	宮城県仙台市青葉区星陵町2番1号	

薬学部	創薬科学科	4	60	—	240	学士 (創薬科学)	1.07		平18年度改組	宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉6番3号	昭47年度学部設置	
	薬学科	6	20	—	120	学士 (薬学)	1.07					
	計		80	—	360		1.06					
工学部	機械知能・航空工学科	4	234	—	936	学士 (工学)	1.04		平16年度改組	宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉6番6号	大8年学部設置	
	電気情報物理工学科	4	243	—	972		1.01		平16年度改組 (平19年度・平27年度改称)			
	化学・バイオ工学科	4	113	—	452		0.99		平16年度改組			
	材料科学総合学科	4	113	—	452		1.02					
	建築・社会環境工学科	4	107	—	428		0.99					
	計		810	—	3,240			1.01				
農学部	生物生産科学科	4	90	—	360	学士 (農学)	1.04	平4年度	宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉468-1	昭22年度学部設置		
	応用生物化学科	4	60	—	240							
	計		150	—	600							1.04
※ 複数の学科を有する学部の学生募集は、経済学部、薬学部及び農学部にあつては学部一括で、理学部にあつては1又は複数の学科毎にそれぞれ行い、学生の所属学科は、第1年次修了時、第2年次又は第3年次に決定する。												
文学研究科	日本学専攻	5	29	—	29	修士 (文学) 修士 (学術) 博士 (文学) 博士 (学術)	1.13	令和元	令和元年度改組	宮城県仙台市青葉区川内27番1号	学生数は、上段が前期課程で、下段が後期課程である。	
		5	14	—	14		1.42	令和元				
	広域文化学専攻	5	29	—	29		1.00	令和元				
		5	12	—	12		0.75	令和元				
	総合人間学専攻	5	31	—	31		1.29	令和元				
		5	12	—	12		1.00	令和元				
	文化科学専攻	5	—	—	—		—		平11年度改組			令和元年度より学生募集停止
	言語科学専攻	5	—	—	—		—					
歴史科学専攻	5	—	—	—	—		平12年度改組	令和元年度より学生募集停止				
人間科学専攻	5	—	—	—	—				令和元年度より学生募集停止			
教育学研究科	総合教育科学専攻	5	45	—	90	修士 (教育学) 修士 (教育情報学) 博士 (教育学) 博士 (教育情報学)	0.97	平成30		平30年度改組	宮城県仙台市青葉区川内27番1号	平成30年度より学生募集停止
		5	15	—	46	修士 (教育学) 修士 (学術) 博士 (教育学) 博士 (学術)	1.09	平成30				
	教育設計評価専攻	5	—	—	—	—		平20年度改組				



法学研究科	法政理論研究専攻	5	10	—	20	修士 (法学) 修士 (学術) 博士 (法学) 博士 (学術)	0.65		平12年 度改組 (平18年 度改称)	宮城県仙台市青葉 区川内27番1号
			12	—	44	0.49				
	総合法制専攻 (法科大学院の課 程)	3	50	—	150	法務博士 (専門職)	0.76		平16年 度改組	宮城県仙台市青葉 区片平二丁目1番1 号
公共法政策専攻 (専門職学位課程)	2	30	—	60	公共法政策修 士 (専門職)	0.99				
経済学研究科	経済経営学専攻	5	50	—	100	修士 (経済学) 修士 (経営学) 修士 (学術) 博士 (経済学) 博士 (経営学) 博士 (学術)	0.77		平17年 度改組	宮城県仙台市青葉 区川内27番1号
			20	—	60	0.53				
	会計専門職専攻 (専門職学位課程)	2	40	—	80	会計修士 (専門職)	0.97		平17年 度	
理学研究科	数学専攻	5	38	—	76	修士 (理学) 修士 (学術) 博士 (理学) 博士 (学術)	0.93		平7年度 改組	宮城県仙台市青葉 区荒巻字青葉6番3 号
			18	—	54		0.55			
	物理学専攻	5	91	—	182		0.94		平6年度 改組	
			46	—	138		0.55			
	天文学専攻	5	9	—	18		1.16		平6年度 改組	
			4	—	12		0.58			
	地球物理学専攻	5	26	—	52		1.03		平7年度 改組	
			13	—	39		0.58			
	化学専攻	5	66	—	132		1.14		平7年度 改組	
			33	—	99		0.42			
地学専攻	5	32	—	64	1.35		平6年度 改組			
		16	—	48	0.68					

医学系研究科	医科学専攻 (修士課程)	2	30	—	60	修士 (医科学) 修士 (学術)	1.15		平15年 度改組	宮城県仙台市青葉 区星陵町2番1号
	医科学専攻 (博士課程)	4	130	—	520	博士 (医学) 博士 (学術)	1.11		平9年 度改組	
	障害科学専攻	5	20	—	40	修士 (障害科学) 修士 (学術)	0.72		平6年 度改組	
			9	—	29	博士 (障害科学) 博士 (学術)	1.27		平8年 度改組	
	保健学専攻	5	32	—	64	修士 (看護学) 修士 (保健学) 修士 (学術)	1.20		平20年 度改組	
			12	—	34	博士 (看護学) 博士 (保健学) 博士 (学術)	1.24		平22年 度改組	
公衆衛生学専攻 (修士課程)	2	10	—	20	修士 (公衆衛生学)	1.05		平27年 度		
歯学研究科	歯科学専攻 (修士課程)	2	6	—	12	修士 (口腔科学) 修士 (学術)	0.91		平16年 度	宮城県仙台市青葉 区星陵町4番1号
	歯科学専攻 (博士課程)	4	42	—	168	博士 (歯学) 博士 (学術)	0.97		平12年 度改組	
薬学研究科	分子薬科学専攻	5	22	—	44	修士 (薬科学) 修士 (学術)	1.35	平22年 度	宮城県仙台市青葉 区荒巻字青葉6番3 号	
			8	—	24		0.62			
	生命薬科学専攻	5	32	—	64	博士 (薬科学) 博士 (学術)	0.95			
			10	—	30	0.60				
医療薬学専攻 (博士課程)	4	4	—	16	博士 (薬学) 博士 (学術)	0.37		平24年 度		

工 学 研 究 科	機械機能創成専攻	5	42	—	84	修士 (工学) 修士 (学術) 博士 (工学) 博士 (学術)	1.29	平7年度 改組(平 16年度 改称・ 平28年 度改称)	宮城県仙台市青葉 区荒巻字青葉6番6 号	
			10	—	30		1.16			
	ファインメカニクス専攻	5	45	—	90		1.16			
			11	—	33		0.48			
	ロボティクス専攻	5	42	—	84		0.86			平15年 度(平 28年 度改 称)
			11	—	33		0.57			
	航空宇宙工学専攻	5	42	—	84		1.59			平7年度 改組
			11	—	33		1.11			
	量子エネルギー工 学専攻	5	38	—	76		1.04			昭33年 度(平8 年度改 称)
			11	—	33		0.78			
	電気エネルギーシ ステム専攻	5	32	—	64		1.06			平24年 度
			8	—	24		0.45			
	通信工学専攻	5	31	—	62		1.44			
			8	—	24		0.70			
	電子工学専攻	5	51	—	102		0.86			昭28年 度
			15	—	45		0.37			
	応用物理学専攻	5	32	—	64		1.12			
			11	—	33		0.75			
	応用化学専攻	5	26	—	52		1.11			
			8	—	24		0.83			
化学工学専攻	5	34	—	68	1.05	昭40年 度				
		7	—	21	0.42					
バイオ工学専攻	5	19	—	38	1.21	平4年度 (平16年 度改称)				
		5	—	15	0.60					
金属フロンティア 工学専攻	5	26	—	52	1.15	昭28年 度(平16 年度改 称)				
		7	—	21	1.23					
知能デバイス材料 学専攻	5	37	—	74	1.23	昭39年 度(昭62 年度・ 平16年 度改称)				
		10	—	30	1.23					
材料システム工学 専攻	5	30	—	60	1.16	昭44年 度(平9 年度・ 平16年 度改称)				
		8	—	24	0.87					
土木工学専攻	5	43	—	86	1.15	昭38年 度				
		12	—	36	1.35					
都市・建築学専攻	5	45	—	90	1.25	昭38年 度(平8 年度改 称)				
		8	—	24	1.29					
技術社会システム 専攻	5	21	—	42	1.14	平14年 度				
		13	—	39	0.32					

農学研究科	資源生物科学専攻	5	36 13	— —	72 39	修士 (農学) 修士 (学術) 博士 (農学) 博士 (学術)	1.29 0.91	平15年 度改組	宮城県仙台市青葉 区荒巻字青葉468- 1			
	応用生命科学専攻	5	35 13	— —	70 39		1.12 0.68					
	生物産業創成科学 専攻	5	38	—	76		1.27					
			11	—	33		1.18					
国際文化研究科	国際文化研究専攻	5	35	—	70	修士 (国際文化) 修士 (学術) 博士 (国際文化) 博士 (学術)	0.81	平27年 度改組	宮城県仙台市青葉 区川内41			
			16	—	48		0.62					
情報科学研究科	情報基礎科学専攻	5	38 11	— —	76 33	修士 (情報科学) 修士 (学術) 博士 (情報科学) 博士 (学術)	0.89 0.48	平5年 年度	宮城県仙台市青葉 区荒巻字青葉6番3 号			
	システム情報科学 専攻	5	37 11	— —	74 33		1.40 0.99					
	人間社会情報科学 専攻	5	30 10	— —	60 30		0.70 0.60					
	応用情報科学専攻	5	35 10	— —	70 30		1.38 0.83			平15年 年度		
生命科学研究科	脳生命統御科学専攻	5	36 10	— —	72 20	修士 (生命科学) 修士 (学術) 博士 (生命科学) 博士 (学術)	0.70 0.36	平成30 平成30	宮城県仙台市青葉 区片平二丁目1番1 号			
	生態発生活適科学 専攻	5	35	—	70		0.86 0.53	平成30 平成30				
			10	—	20		—	—				
	分子化学生物学専攻	5	35 10	— —	70 20		1.30 0.33	平成30 平成30				
	分子生命科学専攻	5	— —	— —	— —		— —	— —		平13年 年度	宮城県仙台市青葉 区片平二丁目1番1 号	平成30年度より 学生募集停止
	生命機能科学専攻	5	— —	— —	— —		— —	— —		— —	— —	平成30年度より 学生募集停止
生態システム生命 科学専攻	5	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	平成30年度より 学生募集停止			
環境科学研究科	先進社会環境学専攻	5	40 13	— —	80 39	修士 (環境科学) 修士 (学術) 博士 (環境科学) 博士 (学術)	1.19 1.33	平27年 度改組	宮城県仙台市青葉 区荒巻字青葉468- 1			
	先端環境創成学専攻	5	60 20	— —	120 60		0.95 0.43					
医工学研究科	医工学専攻	5	39	—	78	修士 (医工学) 修士 (学術) 博士 (医工学) 博士 (学術)	1.15	平20年 年度	宮城県仙台市青葉 区星陵町2番1号 宮城県仙台市青葉 区荒巻字青葉6番6 号 宮城県仙台市青葉 区片平二丁目1番1 号			
			12	—	34		0.82					

教育情報学教育部	教育情報学専攻	5	—	—	—	修士 (教育情報学)	—	平14年 度	宮城県仙台市青葉 区川内27番1号	平成30年度より 学生募集停止
			—	—	—	修士 (学術) 博士 (教育情報学) 博士 (学術)	—			

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学（大学院含む）、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校種ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。  
（専攻科及び別科を除く）。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き（平成31年度改訂版）」と同じです。
  - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<文学研究科 総合人間学専攻 博士前期課程>

(1) -① 担当教員表

【事前伺い時】

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	直江 清隆 (57) <平成31年4月> 博士(文学)
		生命環境倫理学特論Ⅰ 哲学総合演習Ⅰ 哲学総合演習Ⅱ 現代哲学研究演習Ⅰ 現代哲学研究演習Ⅱ 生命環境倫理学研究演習Ⅰ 修士論文研究
専	教授	戸島 貴代志 (59) <平成31年4月> 博士(文学)
		倫理学特論Ⅱ 倫理学総合演習Ⅰ 倫理学総合演習Ⅱ 倫理学研究演習Ⅰ 倫理学研究演習Ⅱ 研究倫理特論 修士論文研究
専	教授	長岡 龍作 (58) <平成31年4月> 文学修士
		総合人間学総合科目Ⅰ 総合人間学総合科目Ⅱ 東洋・日本美術史特論Ⅰ 東洋・日本美術史研究演習Ⅰ 学術発表実習Ⅰ 学術発表実習Ⅱ 国際活動実習Ⅰ 国際活動実習Ⅱ 研究・教育実践活動実習Ⅰ 研究・教育実践活動実習Ⅱ 修士論文研究
専	教授	尾崎 彰宏 (63) <平成31年4月> 修士(文学)
		芸術学特論Ⅰ 美学・西洋美術史研究演習Ⅰ 美学・西洋美術史研究演習Ⅱ 修士論文研究
専	教授	阿部 恒之 (56) <平成31年4月> 博士(文学)
		総合人間学総合科目Ⅰ 総合人間学総合科目Ⅱ 実験心理学特論Ⅰ 実験心理学特論Ⅱ 心理学特論Ⅰ 心理学総合演習Ⅰ 心理学総合演習Ⅱ 実験心理学研究演習Ⅱ 心理学研究実習Ⅰ 心理学研究実習Ⅱ 研究倫理特論 修士論文研究
専	教授	坂井 信之 (48) <平成31年4月> 博士(人間科学)
		総合人間学総合科目Ⅰ 実験心理学特論Ⅲ 心理学総合演習Ⅰ 心理学総合演習Ⅱ 実験心理学研究演習Ⅲ 心理学研究実習Ⅰ 心理学研究実習Ⅱ 研究倫理特論 修士論文研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	直江 清隆 (58) <平成31年4月> 博士(文学)
		生命環境倫理学特論Ⅰ <b>哲学特論Ⅲ</b> 哲学総合演習Ⅰ 哲学総合演習Ⅱ <b>科学哲学研究演習Ⅱ</b> 現代哲学研究演習Ⅰ 現代哲学研究演習Ⅱ 生命環境倫理学研究演習Ⅰ 修士論文研究
専	教授	戸島 貴代志 (60) <平成31年4月> 博士(文学)
		倫理学総合演習Ⅰ 倫理学総合演習Ⅱ 倫理学研究演習Ⅰ 倫理学研究演習Ⅱ 研究倫理特論 修士論文研究
専	教授	長岡 龍作 (59) <平成31年4月> 文学修士
		総合人間学総合科目Ⅰ 総合人間学総合科目Ⅱ 東洋・日本美術史特論Ⅰ <b>東洋・日本美術史特論Ⅳ</b> 東洋・日本美術史研究演習Ⅰ 学術発表実習Ⅰ 学術発表実習Ⅱ 国際活動実習Ⅰ 国際活動実習Ⅱ 研究・教育実践活動実習Ⅰ 研究・教育実践活動実習Ⅱ 修士論文研究
専	教授	尾崎 彰宏 (64) <平成31年4月> 修士(文学)
		<b>総合人間学総合科目Ⅱ</b> <b>美学・西洋美術史特論Ⅰ</b> <b>美学・西洋美術史特論Ⅱ</b> 美学・西洋美術史研究演習Ⅰ 美学・西洋美術史研究演習Ⅱ 修士論文研究
専	教授	阿部 恒之 (57) <平成31年4月> 博士(文学)
		総合人間学総合科目Ⅰ 総合人間学総合科目Ⅱ 実験心理学特論Ⅱ 心理学総合演習Ⅰ 心理学総合演習Ⅱ 実験心理学研究演習Ⅱ 心理学研究実習Ⅰ 心理学研究実習Ⅱ 研究倫理特論 <b>日本語・日本文化論特論Ⅰ</b> <b>日本語・日本文化論特論Ⅱ</b> 修士論文研究
専	教授	坂井 信之 (49) <平成31年4月> 博士(人間科学)
		総合人間学総合科目Ⅰ 実験心理学特論Ⅲ 心理学総合演習Ⅰ 心理学総合演習Ⅱ 実験心理学研究演習Ⅲ 心理学研究実習Ⅰ 心理学研究実習Ⅱ 研究倫理特論 修士論文研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	後藤 斉 (62) <平成31年4月> 修士(文学)
		言語学特論 I 言語学特論 III 言語学総合演習 I 言語学総合演習 II 言語学研究演習 I 修士論文研究
専	教授	小泉 政利 (53) <平成31年4月> P h. D. (アメリカ)
		言語学特論 II 言語学総合演習 I 言語学総合演習 II 言語学研究演習 II 研究倫理特論 修士論文研究
専	教授	長谷川 公一 (63) <平成31年4月> 博士(社会学)
		社会変動学特論 I 社会変動学研究演習 I 修士論文研究
兼任	講師	長谷川 公一 (63) <平成32年4月> 博士(社会学)
		社会変動学特論 I 社会変動学研究演習 I 修士論文研究
専	教授	永井 彰 (58) <平成31年4月> 博士(文学)
		総合人間学総合科目 II 理論社会学特論 I 社会学研究演習 I 社会変動学研究演習 II 理論社会学研究演習 II 理論社会学研究演習 IV 社会学研究実習 I 社会学研究実習 II 修士論文研究
専	教授	小松 文晃 (49) <平成31年4月> 博士(文学)
		総合人間学総合科目 I 理論社会学特論 II 社会変動学特論 II 理論社会学研究演習 I 理論社会学研究演習 III 社会学研究実習 I 社会学研究実習 II 修士論文研究
専	教授	佐藤 嘉倫 (60) <平成31年4月> 博士(文学)
		数理行動科学研究演習 I 数理行動科学研究演習 II 計算人文社会学研究演習 I 修士論文研究
専	教授	木村 邦博 (59) <平成31年4月> 博士(文学)
		総合人間学総合科目 I 計算人文社会学特論 I 計量行動科学研究演習 I 計量行動科学研究演習 II 研究倫理特論 人文統計基礎演習 修士論文研究
専	教授	浜田 宏 (47) <平成31年4月> 博士(社会学)
		数理行動科学研究演習 III 数理行動科学研究演習 IV 計算人文社会学研究演習 II 修士論文研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	後藤 斉 (63) <平成31年4月> 修士(文学)
		言語学特論 I 言語学総合演習 I 言語学総合演習 II 言語学研究演習 I 修士論文研究
専	教授	小泉 政利 (54) <平成31年4月> P h. D. (アメリカ)
		<b>総合人間学総合科目 II</b> 言語学特論 II 言語学総合演習 I 言語学総合演習 II 言語学研究演習 II 研究倫理特論 修士論文研究
専	教授	長谷川 公一 (64) <平成31年4月> 博士(社会学)
		修士論文研究
兼任	講師	長谷川 公一 (64) <令和2年4月> 博士(社会学)
		修士論文研究
専	教授	永井 彰 (59) <平成31年4月> 博士(文学)
		総合人間学総合科目 II 理論社会学特論 I 社会学研究演習 I 理論社会学研究演習 II 理論社会学研究演習 IV 社会学研究実習 I 社会学研究実習 II 修士論文研究
専	教授	小松 文晃 (50) <平成31年4月> 博士(文学)
		総合人間学総合科目 I 理論社会学特論 II 理論社会学研究演習 I 理論社会学研究演習 III 社会学研究実習 I 社会学研究実習 II 修士論文研究
専	教授	佐藤 嘉倫 (61) <平成31年4月> 博士(文学)
		<b>総合人間学総合科目 II</b> 数理行動科学研究演習 I 数理行動科学研究演習 II 修士論文研究
専	教授	木村 邦博 (60) <平成31年4月> 博士(文学)
		総合人間学総合科目 I 計量行動科学研究演習 I 計量行動科学研究演習 II 研究倫理特論 人文統計基礎演習 修士論文研究
専	教授	浜田 宏 (48) <平成31年4月> 博士(社会学)
		数理行動科学研究演習 III 数理行動科学研究演習 IV 修士論文研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	萩原 理 (50) <平成31年4月> P h . D . (アメリカ)
		総合人間学総合科目Ⅰ 哲学総合演習Ⅰ 哲学総合演習Ⅱ 古代中世哲学研究演習Ⅰ 古代中世哲学研究演習Ⅱ 西洋古典文化特論 修士論文研究
専	准教授	原 望 (49) <平成31年4月> P h . D . (ドイツ)
		総合人間学総合科目Ⅱ 哲学総合演習Ⅰ 哲学総合演習Ⅱ 哲学研究演習Ⅱ 科学哲学研究演習Ⅰ 科学哲学研究演習Ⅱ 研究倫理特論 修士論文研究
専	准教授	城戸 淳 (45) <平成31年4月> 博士(文学)
		哲学特論Ⅲ 哲学総合演習Ⅰ 哲学総合演習Ⅱ 近代哲学研究演習Ⅰ 近代哲学研究演習Ⅱ 修士論文研究
専	准教授	村山 達也 (42) <平成31年4月> 博士(哲学)
		倫理学特論Ⅰ 倫理学総合演習Ⅰ 倫理学総合演習Ⅱ 倫理学研究演習Ⅲ 倫理学研究演習Ⅳ 修士論文研究
専	准教授	杉本 欣久 (45) <平成31年4月> 博士(文学)
		東洋・日本美術史特論Ⅱ 東洋・日本美術史研究演習Ⅱ 修士論文研究
専	准教授	FONGARO ENRICO (48) <平成31年4月> laureato in filosofia (イタリア)
		美学特論Ⅰ 美学研究演習Ⅰ 修士論文研究
専	准教授	辻本 昌弘 (46) <平成31年4月> 博士(文学)
		社会心理学特論Ⅱ 心理学総合演習Ⅰ 心理学総合演習Ⅱ 社会心理学研究演習Ⅱ 心理学研究実習Ⅰ 心理学研究実習Ⅱ 研究倫理特論 修士論文研究
専	准教授	荒井 崇史 (38) <平成31年4月> 博士(心理学)
		社会心理学特論Ⅰ 心理学総合演習Ⅰ 心理学総合演習Ⅱ 社会心理学研究演習Ⅰ 心理学研究実習Ⅰ 心理学研究実習Ⅱ 修士論文研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	萩原 理 (51) <平成31年4月> P h . D . (アメリカ)
		総合人間学総合科目Ⅰ <b>哲学特論Ⅲ</b> 哲学総合演習Ⅰ 哲学総合演習Ⅱ <b>科学哲学研究演習Ⅰ</b> 古代中世哲学研究演習Ⅰ 古代中世哲学研究演習Ⅱ 西洋古典文化特論 修士論文研究
専	准教授	原 望 (50) <平成31年4月> P h . D . (ドイツ)
		総合人間学総合科目Ⅱ 研究倫理特論 修士論文研究
専	准教授	城戸 淳 (46) <平成31年4月> 博士(文学)
		哲学特論Ⅲ 哲学総合演習Ⅰ 哲学総合演習Ⅱ <b>哲学研究演習Ⅱ</b> 近代哲学研究演習Ⅰ 近代哲学研究演習Ⅱ 修士論文研究
専	准教授	村山 達也 (43) <平成31年4月> 博士(哲学)
		<b>総合人間学総合科目Ⅱ</b> 倫理学特論Ⅰ 倫理学総合演習Ⅰ 倫理学総合演習Ⅱ 倫理学研究演習Ⅲ 倫理学研究演習Ⅳ <b>倫理学研究演習Ⅴ</b> <b>倫理学研究演習Ⅵ</b> 修士論文研究
専	准教授	杉本 欣久 (46) <平成31年4月> 博士(文学)
		東洋・日本美術史特論Ⅱ <b>東洋・日本美術史特論Ⅴ</b> 東洋・日本美術史研究演習Ⅱ 修士論文研究
専	准教授	FONGARO ENRICO (49) <平成31年4月> laureato in filosofia (イタリア)
		美学特論Ⅰ 美学研究演習Ⅰ 修士論文研究
専	准教授	辻本 昌弘 (47) <平成31年4月> 博士(文学)
		社会心理学特論Ⅱ 心理学総合演習Ⅰ 心理学総合演習Ⅱ 社会心理学研究演習Ⅱ 心理学研究実習Ⅰ 心理学研究実習Ⅱ 研究倫理特論 修士論文研究
専	准教授	荒井 崇史 (39) <平成31年4月> 博士(心理学)
		社会心理学特論Ⅰ 心理学総合演習Ⅰ 心理学総合演習Ⅱ 社会心理学研究演習Ⅰ 心理学研究実習Ⅰ 心理学研究実習Ⅱ 修士論文研究



専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	木山 幸子 (39) <平成31年4月> 博士(文学)
		総合人間学総合科目Ⅰ 言語学特論Ⅳ 学習・言語心理学特論Ⅰ 言語学総合演習Ⅰ 言語学総合演習Ⅱ 言語学研究演習Ⅲ 修士論文研究
専	准教授	永吉(大野) 希久子 (35) <平成31年4月> 博士(人間科学)
		社会行動科学特論Ⅰ 社会行動科学特論Ⅱ 計量行動科学研究演習Ⅲ 計量行動科学研究演習Ⅳ 修士論文研究
兼任	教授	沼崎 一郎 (59) <平成31年4月> P h. D. (アメリカ)
		広域文化学総合科目Ⅰ
兼任	教授	木村 敏明 (52) <平成31年4月> 博士(文学)
		広域文化学総合科目Ⅰ 広域文化学総合科目Ⅱ
兼任	教授	桜井 宗信 (57) <平成31年4月> 博士(文学)
		広域文化学総合科目Ⅰ
兼任	教授	三浦 秀一 (60) <平成31年4月> 博士(文学)
		広域文化学総合科目Ⅰ
兼任	教授	川合 安 (60) <平成31年4月> 博士(文学)
		広域文化学総合科目Ⅰ
兼任	教授	大河内 昌 (58) <平成31年4月> 博士(文学)
		広域文化学総合科目Ⅰ
兼任	教授	島 越郎 (50) <平成31年4月> 博士(文学)
		広域文化学総合科目Ⅰ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	木山 幸子 (40) <平成31年4月> 博士(文学)
		総合人間学総合科目Ⅰ 学習・言語心理学特論Ⅰ 言語学総合演習Ⅰ 言語学総合演習Ⅱ 言語学研究演習Ⅲ 修士論文研究
専	准教授	永吉(大野) 希久子 (36) <平成31年4月> 博士(人間科学)
		社会行動科学特論Ⅰ 計量行動科学研究演習Ⅲ 計量行動科学研究演習Ⅳ 修士論文研究
専	准教授	田代 志門 (42) <平成31年4月> 博士(文学)
		社会行動科学特論Ⅱ 社会行動科学研究演習Ⅱ 社会学研究実習Ⅰ 社会学研究実習Ⅱ 修士論文研究
専	准教授	瀬川 裕貴 (44) <平成31年4月> 博士(社会学)
		計算人文社会学特論Ⅰ 数理行動科学研究演習Ⅰ 数理行動科学研究演習Ⅱ 計算人文社会学研究演習Ⅰ 計算人文社会学研究演習Ⅱ 修士論文研究
兼任	教授	沼崎 一郎 (60) <平成31年4月> P h. D. (アメリカ)
		広域文化学総合科目Ⅰ
兼任	教授	木村 敏明 (53) <平成31年4月> 博士(文学)
		広域文化学総合科目Ⅰ 広域文化学総合科目Ⅱ
兼任	教授	桜井 宗信 (58) <平成31年4月> 博士(文学)
		広域文化学総合科目Ⅰ
兼任	教授	川合 安 (61) <平成31年4月> 博士(文学)
		広域文化学総合科目Ⅰ
兼任	教授	大河内 昌 (59) <平成31年4月> 博士(文学)
		広域文化学総合科目Ⅰ
兼任	教授	島 越郎 (51) <平成31年4月> 博士(文学)
		広域文化学総合科目Ⅰ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	森本 浩一 (61) <平成31年4月> 文学修士
		広域文化学総合科目 I
兼任	教授	今井 勉 (55) <平成31年4月> 博士(文学)
		広域文化学総合科目 I 広域文化学総合科目 II キャリア設計演習
兼任	教授	有光 秀行 (57) <平成31年4月> 博士(文学)
		広域文化学総合科目 I
兼任	教授	森 一郎 (55) <平成31年4月> 博士(文学)
		哲学研究演習 I
兼任	教授	徳川 直人 (56) <平成31年4月> 博士(文学)
		社会学特論 I
兼任	教授	倉元 直樹 (55) <平成31年4月> 博士(教育学)
		実験心理学特論IV 実験心理学研究演習 I 実験心理学研究演習IV
兼任	教授	高橋 章則 (60) <平成31年4月> 博士(社会学)
		日本学総合科目 I 日本学総合科目 II 日本語研究論文作成法
兼任	教授	齋藤 倫明 (63) <平成31年4月> 博士(文学)
		日本学総合科目 II
兼任	講師	齋藤 倫明 (63) <令和2年4月> 博士(文学)
		日本学総合科目 II
兼任	教授	小林 隆 (60) <平成31年4月> 博士(文学)
		日本学総合科目 II 研究倫理特論
兼任	教授	大木 一夫 (51) <平成31年4月> 博士(文学)
		日本学総合科目 I 日本学総合科目 II
兼任	教授	佐倉 由泰 (56) <平成31年4月> 博士(文学)
		日本学総合科目 I 日本学総合科目 II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	森本 浩一 (62) <平成31年4月> 文学修士
		広域文化学総合科目 I
兼任	教授	今井 勉 (56) <平成31年4月> 博士(文学)
		広域文化学総合科目 I 広域文化学総合科目 II キャリア設計演習
兼任	教授	有光 秀行 (58) <平成31年4月> 博士(文学)
		広域文化学総合科目 I
兼任	教授	森 一郎 (56) <平成31年4月> 博士(文学)
		哲学研究演習 I
兼任	教授	徳川 直人 (57) <平成31年4月> 博士(文学)
		社会学特論 I
兼任	教授	倉元 直樹 (56) <平成31年4月> 博士(教育学)
		実験心理学特論IV 実験心理学研究演習IV
兼任	教授	高橋 章則 (61) <平成31年4月> 博士(社会学)
		日本学総合科目 I 日本学総合科目 II
兼任	教授	齋藤 倫明 (64) <平成31年4月> 博士(文学)
		日本学総合科目 I 日本学総合科目 II
兼任	講師	齋藤 倫明 (64) <令和2年4月> 博士(文学)
		日本学総合科目 I 日本学総合科目 II
兼任	教授	小林 隆 (61) <平成31年4月> 博士(文学)
		日本学総合科目 II 研究倫理特論
兼任	教授	大木 一夫 (52) <平成31年4月> 博士(文学)
		日本学総合科目 II
兼任	教授	佐倉 由泰 (57) <平成31年4月> 博士(文学)
		日本学総合科目 I 日本学総合科目 II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	柳原 敏昭 (56) <平成31年4月> 博士(文学)
		日本学総合科目Ⅱ
兼任	教授	安達 宏昭 (52) <平成31年4月> 博士(文学)
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ
兼任	教授	阿子島 香 (62) <平成31年4月> P h. D. (アメリカ)
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ
兼任	准教授	田中(仙田) 重人 (47) <平成31年4月> 博士(人間科学)
		日本学総合科目Ⅱ
兼任	准教授	CRAIG CHRISTOPHER ROBIN JAMIE (43) <平成31年4月> P h. D. (アメリカ)
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ 英語発表技能演習
兼任	准教授	片岡 龍 (52) <平成31年4月> 修士(文学)
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ
兼任	准教授	甲田(高橋) 直美 (48) <平成31年4月> 博士(人間・環境学)
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ
兼任	准教授	小河原 義朗 (49) <平成31年4月> 博士(文学)
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ
兼任	准教授	横溝 博 (46) <平成31年4月> 博士(文学)
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ
兼任	准教授	堀 裕 (49) <平成31年4月> 博士(文学)
		日本学総合科目Ⅱ
兼任	准教授	籠橋 俊光 (46) <平成31年4月> 博士(文学)
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ
兼任	准教授	鹿又 喜隆 (44) <平成31年4月> 博士(文学)
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	柳原 敏昭 (57) <平成31年4月> 博士(文学)
		日本学総合科目Ⅱ
兼任	教授	安達 宏昭 (53) <平成31年4月> 博士(文学)
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ
兼任	教授	阿子島 香 (63) <平成31年4月> P h. D. (アメリカ)
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ
兼任	准教授	田中(仙田) 重人 (48) <平成31年4月> 博士(人間科学)
		日本学総合科目Ⅱ
兼任	准教授	CRAIG CHRISTOPHER ROBIN JAMIE (44) <平成31年4月> P h. D. (アメリカ)
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ 英語発表技能演習
兼任	教授	片岡 龍 (53) <平成31年4月> 博士(文学)
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ
兼任	准教授	甲田(高橋) 直美 (49) <平成31年4月> 博士(人間・環境学)
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ
兼任	教授	小河原 義朗 (50) <平成31年4月> 博士(文学)
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ
兼任	教授	横溝 博 (47) <平成31年4月> 博士(文学)
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ
兼任	教授	堀 裕 (50) <平成31年4月> 博士(文学)
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ
兼任	准教授	籠橋 俊光 (47) <平成31年4月> 博士(文学)
		日本学総合科目Ⅰ 日本学総合科目Ⅱ
兼任	准教授	鹿又 喜隆 (45) <平成31年4月> 博士(文学)
		日本学総合科目Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	山田 仁史 (45) <平成31年4月> Dr. Phil. (ドイツ)
		広域文化学総合科目 I
兼任	准教授	谷山 洋三 (46) <平成31年4月> 博士(文学)
		広域文化学総合科目 I 人文社会科学研究
兼任	准教授	齋藤 智寛 (43) <平成31年4月> 博士(文学)
		広域文化学総合科目 II
兼任	准教授	土屋 育子 (45) <平成31年4月> 博士(文学)
		広域文化学総合科目 I
兼任	講師	伊藤 春樹 (68) <平成31年4月> 文学修士
		哲学特論 I
兼任	講師	齋藤 直樹 (47) <平成31年4月> 博士(文学)
		哲学特論 II
兼任	講師	柏端 達也 (52) <平成31年4月> 博士(人間科学)
		哲学特論 IV

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	山田 仁史 (46) <平成31年4月> Dr. Phil. (ドイツ)
		広域文化学総合科目 I
兼任	准教授	谷山 洋三 (47) <平成31年4月> 博士(文学)
		広域文化学総合科目 I
兼任	准教授	齋藤 智寛 (44) <平成31年4月> 博士(文学)
		広域文化学総合科目 I 広域文化学総合科目 II
兼任	教授	土屋 育子 (46) <平成31年4月> 博士(文学)
		広域文化学総合科目 I
兼任	准教授	島崎 薫 (34) <平成31年4月> Ph. D. (オーストラリア)
		日本学総合科目 I
兼任	准教授	矢田 尚子 (52) <平成31年4月> 博士(文学)
		広域文化学総合科目 I
兼任	准教授	大野 晃嗣 (47) <平成31年4月> 博士(文学)
		広域文化学総合科目 I
兼任	准教授	大村 哲夫 (59) <平成31年4月> 博士(文学)
		人文社会科学研究 I 人文社会科学研究 II
兼任	助教	KOPYLOVA OLGA (35) <平成31年4月> 博士(文学)
		日本語・日本文化論特論 I 日本語・日本文化論特論 II
兼任	講師	伊藤 春樹 (69) <平成31年4月> 文学修士
		哲学特論 I
兼任	講師	齋藤 直樹 (48) <平成31年4月> 博士(文学)
		哲学特論 II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	魚住 孝至 (64) <平成31年4月> 博士(文学)			
		倫理学特論Ⅲ			
兼任	講師	泉 武夫 (64) <平成31年4月> 博士(文学)			
		東洋・日本美術史特論Ⅲ			
兼任	講師	京谷 啓徳 (48) <平成31年4月> 博士(文学)			
		美学・西洋美術史特論Ⅰ 美学・西洋美術史特論Ⅱ			
兼任	講師	清水 晋作 (42) <平成31年4月> 博士(文学)			
		社会学特論Ⅱ			
兼任	講師	菅原 真枝 (45) <平成31年4月> 博士(文学)			
		社会学特論Ⅲ			
兼任	講師	Max Phillips (49) <平成31年4月> MA (TESOL: Teaching English to) Speakers (of) Other Languages)	兼任	講師	Max Phillips (50) <平成31年4月> MA (TESOL: Teaching English to) Speakers (of) Other Languages)
		英語研究論文作成法			英語研究論文作成法Ⅰ 英語研究論文作成法Ⅱ
			兼任	講師	染谷 昌義 (48) <平成31年4月> 博士(学術)
					哲学特論Ⅳ
			兼任	講師	木田 直人 (45) <平成31年4月> 博士(文学)
					倫理学特論Ⅲ
			兼任	講師	高岸 輝 (47) <平成31年4月> 博士(美術)
					東洋・日本美術史特論Ⅲ
			兼任	講師	佐久間 政広 (61) <平成31年4月> 修士(文学)
					社会学特論Ⅱ
			兼任	講師	太田 健児 (58) <平成31年4月> 修士(教育学)
					社会学特論Ⅲ
			兼任	講師	池田 準 (40) <平成31年4月> 博士(文学)
					倫理学特論Ⅱ
			兼任	講師	芳賀 京子 (50) <平成31年4月> 博士(文学)
					芸術学特論Ⅰ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	河地 庸介 (39) <平成31年4月> 博士(文学) 実験心理学特論Ⅰ 実験心理学研究演習Ⅰ
兼任	講師	山口 浩 (64) <平成31年4月> 修士(文学) 心理学特論Ⅰ
兼任	講師	那須川 訓也 (51) <平成31年4月> Ph.D(イギリス) 言語学特論Ⅲ
兼任	講師	井上 優 (57) <平成31年4月> 修士(文学) 言語学特論Ⅳ
兼任	講師	中川 恵 (32) <平成31年4月> 博士(文学) 社会実働学特論Ⅰ 社会実働学研究演習Ⅰ
兼任	講師	田辺 俊介 (42) <平成31年4月> 博士(社会学) 社会行動科学特論Ⅱ
兼任	講師	高橋(安住) 亜希子 (50) <平成31年4月> 博士(文学) 日本語研究論文作成法Ⅰ 日本語研究論文作成法Ⅱ

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和元年度】

- ・教育内容の充実及び担当教員見直しのため、直江清隆教授の授業担当科目を追加。
- ・担当教員見直しのため、戸島貴代志教授の授業担当科目を削除。
- ・教育課程の充実のため、長岡龍作教授の授業担当科目を追加。
- ・教育内容の充実及び担当教員見直しのため並びに京谷啓徳講師就任辞退により、尾崎彰宏教授の授業担当科目を追加及び削除。
- ・担当教員見直し及び教育課程の充実のため、阿部恒之教授の授業担当科目を削除及び追加。
- ・担当教員見直しのため、後藤齊教授の授業担当科目を削除。
- ・教育内容の充実及び担当教員見直しのため、小泉政利教授の授業担当科目を追加。
- ・担当教員見直しのため、長谷川公一教授の授業担当科目を削除。
- ・担当教員見直しのため、永井彰教授の授業担当科目を削除。
- ・担当教員見直しのため、小松文晃教授の授業担当科目を削除。
- ・教育内容の充実及び担当教員見直しのため、佐藤嘉倫教授の授業担当科目を追加及び削除。
- ・担当教員見直しのため、木村邦博教授の授業担当科目を削除。
- ・担当教員見直しのため、浜田宏教授の授業担当科目を削除。
- ・教育内容の充実及び担当教員見直しのため、萩原理准教授の授業担当科目を追加。
- ・担当教員見直しのため、原聖准教授の授業担当科目を削除。
- ・担当教員見直しのため、城戸淳准教授の授業担当科目を追加。
- ・教育内容及び教育課程の充実のため、村山達也准教授の授業担当科目を追加。
- ・教育課程の充実のため、杉本欣久准教授の授業担当科目を追加。
- ・担当教員見直しのため、木山幸子准教授の授業担当科目を削除。
- ・担当教員見直しのため、永吉（大野）希久子准教授の授業担当科目を削除。
- ・平成31年4月田代志門准教授就任。担当教員見直し及び教育内容の充実のための担当者増。
- ・平成31年4月瀧川裕貴准教授就任。担当教員見直し及び教育内容の充実のための担当者増。
- ・三浦秀一教授就任辞退により、矢田尚子准教授に変更。
- ・担当教員見直しのため、倉元直樹教授の授業担当科目を削除。
- ・担当教員見直しのため、高橋章則教授の授業担当科目を削除。
- ・教育内容の充実のため、齋藤倫明教授の授業担当科目を追加。
- ・担当教員見直しのため、大木一夫教授の授業担当科目を削除。
- ・片岡龍准教授を教授に昇任。
- ・小河原義朗准教授を教授に昇任。
- ・横溝博准教授を教授に昇任。
- ・堀裕准教授を教授に昇任。教育内容の充実のため、授業担当科目を追加。
- ・担当教員見直しのため、鹿又喜隆准教授の授業担当科目を削除。
- ・担当教員見直しのため、谷山洋三准教授の授業担当科目を削除。
- ・教育内容の充実のため、齋藤智寛准教授の授業担当科目を追加。
- ・土屋育子准教授を教授に昇任。
- ・平成31年4月島崎薫准教授就任。教育内容の充実のための担当者増。
- ・平成31年4月大野晃嗣准教授就任。教育内容の充実のための担当者増。
- ・平成31年4月大村哲夫准教授就任。教育課程の充実のため。
- ・平成31年4月KOPYLOVA OLGA助教就任。教育課程の充実のため。
- ・柏端達也講師就任辞退により、梁谷昌義講師に変更。
- ・魚住孝至講師就任辞退により、木田直人講師に変更。
- ・泉武夫講師就任辞退により、高岸輝講師に変更。
- ・清水晋作講師就任辞退により、佐久間政広講師に変更。
- ・菅原真枝講師就任辞退により、太田健児講師に変更。
- ・教育課程の充実のため、Max Phillips講師の授業担当科目を名称変更及び追加。
- ・平成31年4月池田準講師就任。担当教員見直しのため。
- ・平成31年4月芳賀京子講師就任。担当教員見直しのため。
- ・平成31年4月河地庸介講師就任。担当教員見直しのため。
- ・平成31年4月山口浩講師就任。担当教員見直しのため。
- ・平成31年4月那須川訓也講師就任。担当教員見直しのため。
- ・平成31年4月井上優講師就任。担当教員見直しのため。
- ・平成31年4月中川恵講師就任。担当教員見直しのため。
- ・平成31年4月田辺俊介講師就任。担当教員見直しのため。
- ・平成31年4月高橋（安住）亜希子講師就任。高橋章則教授就任辞退及び教育課程の充実のため。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書（A C）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導補助教員数
4	3	3
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数【大学院】

設置時の計画					現在（報告時）の状況				
教授	准教授	講師	助教	計（A）	教授	准教授	講師	助教	計（B）
13	10	0	0	23	14	12	0	0	26
(14)	(12)	(0)	(0)	(26)					
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数	/		研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数	/	
23	0	0			26	0	0		
(26)	(0)	(0)							
現在（報告時）の完成年度時の状況					現在（報告時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計（C）	教授	准教授	講師	助教	計（D）
13	12	0	0	25	13	12	0	0	25
[ 0 ]	[ 2 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 2 ]	[ 0 ]	[ 2 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 2 ]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数	/		研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数	/	
25	0	0			25	0	0		
[ 2 ]	[ 0 ]	[ 0 ]			[ 2 ]	[ 0 ]	[ 0 ]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）  
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段階書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。  
 [ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況（C）}}{\text{設置時の計画（A）}} = \frac{26}{23} = \boxed{113.04} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況（B）}} = \frac{0}{26} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。



(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
		該当なし								
合計（D）					後任補充状況の集計（E）					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
		該当なし								
合計（F）					後任補充状況の集計（G）					
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について**に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（D）+（F）					後任補充状況の集計（E）+（G）					
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-(3)合計(D)+(F)}{(2)-(2)設置時の計画(A)} = \frac{0}{23} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		該当なし								
合計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および ( ) 書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」
- ・ 兼任兼任教員が担当する (している) 場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

5 教員組織の状況

<文学研究科 総合人間学専攻 博士後期課程>

(1) -① 担当教員表

【事前伺い時】			【令和元年度】		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	直江 清隆 (57) <平成31年4月> 博士(文学)	専	教授	直江 清隆 (58) <平成31年4月> 博士(文学)
		博士論文研究			博士論文研究
専	教授	戸島 貴代志 (59) <平成31年4月> 博士(文学)	専	教授	戸島 貴代志 (60) <平成31年4月> 博士(文学)
		研究倫理特論 博士論文研究			人文社会科学特別科目 研究倫理特論 博士論文研究
専	教授	長岡 龍作 (58) <平成31年4月> 文学修士	専	教授	長岡 龍作 (59) <平成31年4月> 文学修士
		学術発表実習Ⅰ 学術発表実習Ⅱ 国際活動実習Ⅰ 国際活動実習Ⅱ 研究・教育実践活動実習Ⅰ 研究・教育実践活動実習Ⅱ 博士論文研究			人文社会科学特別科目 学術発表実習Ⅰ 学術発表実習Ⅱ 国際活動実習Ⅰ 国際活動実習Ⅱ 研究・教育実践活動実習Ⅰ 研究・教育実践活動実習Ⅱ 博士論文研究
専	教授	尾崎 彰宏 (62) <平成31年4月> 修士(文学)	専	教授	尾崎 彰宏 (63) <平成31年4月> 修士(文学)
		博士論文研究			博士論文研究
兼任	講師	尾崎 彰宏 (62) <平成33年4月> 修士(文学)	兼任	講師	尾崎 彰宏 (63) <令和3年4月> 修士(文学)
		博士論文研究			博士論文研究
専	教授	阿部 恒之 (56) <平成31年4月> 博士(文学)	専	教授	阿部 恒之 (57) <平成31年4月> 博士(文学)
		人文社会科学特別科目 研究倫理特論 博士論文研究			人文社会科学特別科目 日本語・日本文化論特論Ⅰ 日本語・日本文化論特論Ⅱ 研究倫理特論 博士論文研究
専	教授	坂井 信之 (48) <平成31年4月> 博士(人間科学)	専	教授	坂井 信之 (49) <平成31年4月> 博士(人間科学)
		研究倫理特論 博士論文研究			研究倫理特論 博士論文研究
専	教授	後藤 斉 (62) <平成31年4月> 修士(文学)	専	教授	後藤 斉 (63) <平成31年4月> 修士(文学)
		博士論文研究			博士論文研究
兼任	講師	後藤 斉 (62) <平成33年4月> 修士(文学)	兼任	講師	後藤 斉 (63) <令和3年4月> 修士(文学)
		博士論文研究			博士論文研究
専	教授	小泉 政利 (53) <平成31年4月> Ph. D. (アメリカ)	専	教授	小泉 政利 (54) <平成31年4月> Ph. D. (アメリカ)
		研究倫理特論 博士論文研究			研究倫理特論 博士論文研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	長谷川 公一 (63) <平成31年4月> 博士(社会学)
		博士論文研究
兼任	講師	長谷川 公一 (63) <平成32年4月> 博士(社会学)
		博士論文研究
専	教授	永井 彰 (58) <平成31年4月> 博士(文学)
		博士論文研究
専	教授	小松 文晃 (49) <平成31年4月> 博士(文学)
		博士論文研究
専	教授	佐藤 嘉倫 (60) <平成31年4月> 博士(文学)
		博士論文研究
専	教授	木村 邦博 (59) <平成31年4月> 博士(文学)
		研究倫理特論 人文統計基礎演習 博士論文研究
専	教授	浜田 宏 (47) <平成31年4月> 博士(社会学)
		博士論文研究
専	准教授	萩原 理 (51) <平成31年4月> P h. D. (アメリカ)
		西洋古典文化特論 博士論文研究
専	准教授	原 望 (49) <平成31年4月> P h. D. (ドイツ)
		研究倫理特論 博士論文研究
専	准教授	城戸 淳 (45) <平成31年4月> 博士(文学)
		博士論文研究
専	准教授	村山 達也 (42) <平成31年4月> 博士(哲学)
		博士論文研究
専	准教授	杉本 欣久 (45) <平成31年4月> 博士(文学)
		博士論文研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	長谷川 公一 (64) <平成31年4月> 博士(社会学)
		博士論文研究
兼任	講師	長谷川 公一 (64) <令和2年4月> 博士(社会学)
		博士論文研究
専	教授	永井 彰 (59) <平成31年4月> 博士(文学)
		博士論文研究
専	教授	小松 文晃 (50) <平成31年4月> 博士(文学)
		人文社会科学特別科目 博士論文研究
専	教授	佐藤 嘉倫 (61) <平成31年4月> 博士(文学)
		人文社会科学特別科目 博士論文研究
専	教授	木村 邦博 (60) <平成31年4月> 博士(文学)
		研究倫理特論 人文統計基礎演習 博士論文研究
専	教授	浜田 宏 (48) <平成31年4月> 博士(社会学)
		博士論文研究
専	准教授	萩原 理 (52) <平成31年4月> P h. D. (アメリカ)
		西洋古典文化特論 博士論文研究
専	准教授	原 望 (50) <平成31年4月> P h. D. (ドイツ)
		研究倫理特論 博士論文研究
専	准教授	城戸 淳 (46) <平成31年4月> 博士(文学)
		博士論文研究
専	准教授	村山 達也 (43) <平成31年4月> 博士(哲学)
		博士論文研究
専	准教授	杉本 欣久 (46) <平成31年4月> 博士(文学)
		博士論文研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	FONGARO ENRICO (48) ＜平成31年4月＞ laureato in filosofia (イタリア)
		博士論文研究
専	准教授	辻本 昌弘 (46) ＜平成31年4月＞ 博士(文学)
		研究倫理特論 博士論文研究
専	准教授	荒井 崇史 (38) ＜平成31年4月＞ 博士(心理学)
		博士論文研究
専	准教授	木山 幸子 (39) ＜平成31年4月＞ 博士(文学)
		博士論文研究
専	准教授	永吉(大野) 希久子 (35) ＜平成31年4月＞ 博士(人間科学)
		博士論文研究
兼任	教授	高橋 章則 (61) ＜平成31年4月＞ 博士(社会学)
		日本語研究論文作成法
兼任	教授	小林 隆 (60) ＜平成31年4月＞ 博士(文学)
		研究倫理特論
兼任	教授	佐倉 由泰 (56) ＜平成31年4月＞ 博士(文学)
		人文社会科学特別科目
兼任	教授	木村 敏明 (52) ＜平成31年4月＞ 博士(文学)
		人文社会科学特別科目
兼任	教授	今井 勉 (56) ＜平成31年4月＞ 博士(文学)
		キャリア設計演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	FONGARO ENRICO (49) ＜平成31年4月＞ laureato in filosofia (イタリア)
		博士論文研究
専	准教授	辻本 昌弘 (47) ＜平成31年4月＞ 博士(文学)
		研究倫理特論 博士論文研究
専	准教授	荒井 崇史 (39) ＜平成31年4月＞ 博士(心理学)
		博士論文研究
専	准教授	木山 幸子 (40) ＜平成31年4月＞ 博士(文学)
		博士論文研究
専	准教授	永吉(大野) 希久子 (36) ＜平成31年4月＞ 博士(人間科学)
		博士論文研究
専	准教授	田代 志門 (42) ＜平成31年4月＞ 博士(文学)
		博士論文研究
専	准教授	瀧川 裕貴 (44) ＜平成31年4月＞ 博士(社会学)
		博士論文研究
兼任	教授	小林 隆 (61) ＜平成31年4月＞ 博士(文学)
		人文社会科学特別科目 研究倫理特論
兼任	教授	佐倉 由泰 (57) ＜平成31年4月＞ 博士(文学)
		人文社会科学特別科目
兼任	教授	今井 勉 (57) ＜平成31年4月＞ 博士(文学)
		人文社会科学特別科目 キャリア設計演習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	CRAIG CHRISTOPHER ROBIN JAMIE (43) <平成31年4月> Ph. D. (アメリカ)
		英語発表技能演習
兼任	准教授	谷山 洋三 (46) <平成31年4月> 博士(文学)
		人文社会科学研究
兼任	講師	Max Phillips (49) <平成31年4月> MA (TESOL: Teaching English (to) Speakers (of) Other Languages)
		英語研究論文作成法

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	小河原 義朗 (50) <平成31年4月> 博士(文学)
		人文社会科学特別科目
兼任	教授	三浦 秀一 (61) <平成31年4月> 博士(文学)
		人文社会科学特別科目
兼任	教授	沼崎 一郎 (60) <平成31年4月> Ph. D. (アメリカ)
		人文社会科学特別科目
兼任	准教授	CRAIG CHRISTOPHER ROBIN JAMIE (44) <平成31年4月> Ph. D. (アメリカ)
		人文社会科学特別科目 英語発表技能演習
兼任	准教授	谷山 洋三 (47) <平成31年4月> 博士(文学)
		人文社会科学特別科目
兼任	准教授	籠橋 俊光 (47) <平成31年4月> 博士(文学)
		人文社会科学特別科目
兼任	准教授	山田 仁史 (46) <平成31年4月> Dr. Phil. (ドイツ)
		人文社会科学特別科目
兼任	准教授	大村 哲夫 (50) <平成31年4月> 博士(文学)
		人文社会科学研究 I 人文社会科学研究 II
兼任	助教	KOPYLOVA OLGA (35) <平成31年4月> 博士(文学)
		日本語・日本文化論特論 I 日本語・日本文化論特論 II
兼任	講師	Max Phillips (50) <平成31年4月> MA (TESOL: Teaching English (to) Speakers (of) Other Languages)
		英語研究論文作成法 I 英語研究論文作成法 II
兼任	講師	高橋 (安住) 亜希子 (50) <平成31年4月> 博士(文学)
		日本語研究論文作成法 I 日本語研究論文作成法 II

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和元年度】

- ・教育内容の充実のため、戸島貴代志教授の授業担当科目を追加。
- ・教育内容の充実のため、長岡龍作教授の授業担当科目を追加。
- ・教育課程の充実のため、阿部恒之教授の授業担当科目を追加。
- ・教育内容の充実のため、小松丈晃教授の授業担当科目を追加。
- ・教育内容の充実のため、佐藤嘉倫教授の授業担当科目を追加。
- ・平成31年4月田代志門准教授就任。教育内容の充実のための担当者増。
- ・平成31年4月瀧川裕貴准教授就任。教育内容の充実のための担当者増。
- ・教育内容の充実のため、小林隆教授の授業担当科目を追加。
- ・教育内容の充実のため、今井勉教授の授業担当科目を追加。
- ・木村敏明教授就任辞退により、小河原義朗教授に変更。
- ・平成31年4月三浦秀一教授就任。教育内容の充実のための担当者増。
- ・平成31年4月沼崎一郎教授就任。教育内容の充実のための担当者増。
- ・教育内容の充実のため、CRAIG CHRISTOPHER ROBIN JAMIE准教授の授業担当科目を追加。
- ・教育内容の充実及び担当教員見直しのため、谷山洋三准教授の授業担当科目を追加及び削除。
- ・平成31年4月籠橋俊光准教授就任。教育内容の充実のための担当者増。
- ・平成31年4月山田仁史准教授就任。教育内容の充実のための担当者増。
- ・平成31年4月大村哲夫准教授就任。担当教員見直し及び教育課程の充実のため。
- ・平成31年4月KOPYLOVA OLGA助教就任。教育課程の充実のため。
- ・教育課程の充実のため、Max Phillips講師の授業担当科目を名称変更及び追加。
- ・平成31年4月高橋（安住）亜希子講師就任。高橋章則教授就任辞退及び教育課程の充実のため。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書（A-C）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導補助教員数
3	2	3
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数【大学院】

設置時の計画					現在（報告時）の状況				
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
11	10	0	0	21	14	12	0	0	26
(14)	(12)	(0)	(0)	(26)					
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/		研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/	
21	0	0			26	0	0		
(26)	(0)	(0)			(26)	(0)	(0)		
現在（報告時）の完成年度時の状況					現在（報告時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	教授	准教授	講師	助教	計 (D)
11	12	0	0	23	11	12	0	0	23
[ 0 ]	[ 2 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 2 ]	[ 0 ]	[ 2 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 2 ]
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/		研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/	
23	0	0			23	0	0		
[ 2 ]	[ 0 ]	[ 0 ]			[ 2 ]	[ 0 ]	[ 0 ]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( ) 内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）  
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）  
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員 うち、定年を延長 して採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段階書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。  
 [ ] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{23}{21} = \boxed{109.52} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{26} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。



(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
		該当なし								
合計（D）					後任補充状況の集計（E）					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
		該当なし								
合計（F）					後任補充状況の集計（G）					
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について**に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（D）+（F）					後任補充状況の集計（E）+（G）					
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-(3)合計(D)+(F)}{(2)-(2)設置時の計画(A)} = \frac{0}{21} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		該当なし								
合計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および ( ) 書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

## 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の の 実 施 計 画
	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

＜文学研究科 総合人間学専攻＞

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

#### ① 実施体制

##### a 委員会の設置状況

運営会議、コンプライアンス推進委員会

##### b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

〈運営会議〉

木曜日を開催曜日とし、年間約20回開催。参加者は、研究科長（委員長）、副研究科長（国際交流室長を兼ねる）、評議員（評価・研究推進室長を兼ねる）、総務企画室長、学務教育室長、入試渉外室長、社会連携室長、事務長で、各係長が陪席する。

〈コンプライアンス推進委員会〉

令和元年度は不定期開催を予定。参加者は、研究科長（委員長）、副研究科長、評議員、事務長。

##### c 委員会の審議事項等

〈運営会議〉

研究科及び学部の運営に関する全般（中期目標・中期計画に関する事柄、各種評価・研究推進に関する事柄、を含む）。

〈コンプライアンス推進委員会〉

公正な研究・教育活動推進のための施策全般（研究倫理遵守・ハラスメント防止に関する教育・FDの実施に関する事柄、教員研修に関する事柄、研究データの保存・管理に関する事柄を含む）。

#### ② 実施状況

##### a 実施内容

令和元年度は、評価・研究推進室（運営会議）及びコンプライアンス推進委員会の企画のもと、APRIN eラーニングプログラムの100%受講を実現するとともに、「研究倫理に関するFD」を実施する予定である。

また、学務教育室（運営会議）の企画のもと、「教育に関するFD」を実施する予定である。

本学高度教養教育・学生支援機構・大学教育支援センターが提供する「新任教員プログラム（NFP）」を新任教員に受講させる。また、同センターが提供する「専門性開発プログラム（PDF）」の受講を教員に推奨する。

##### b 実施方法

APRIN eラーニングプログラムは ISTUを利用して実施する。FDは講義形式で実施する。高度教養教育・学生支援機構から講師を派遣してもらう。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

APRIN eラーニングプログラムは随時、FDは各年1回を予定。全員の受講を促す。また新任教員研修は、NFPに沿って1年間をかけて実施される。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

教育方法等に関して「教育に関するFD」で得られた知見を授業改善に反映させるべく、学務教育室（運営会議）を中心に検討を進める。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

すべての開講科目で実施。セメスターの終了時期にアンケートを配付し、実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

アンケート結果は教員にフィードバックし、次学期以降の授業の改善に役立てている。評価結果の公開は行っていない。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

（4）自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置の趣旨・目的の達成に向けて設置計画に沿って取り組んでいるところである。

設置の趣旨・目的の達成状況に関する自己点検・評価としては、東北大学が毎年度実施している部局評価において実施するが、これと並行して評価・研究推進室（運営会議）を中心に、当研究科独自の自己点検評価を行う予定である。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

令和元年度中に公表を予定。

b 公表方法

自己点検・評価報告書を作成し公表する予定。

③ 認証評価を受ける計画

令和3年度に評価機関の評価を受けるべく、学内で検討中。

（注）・設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）

- a ホームページへの公表予定の有無 （  有 ・  無 ）
- b 公表有の場合の公表（予定）時期 （ 令和元年8月1日 ）
- b 公表無の場合の特段の理由 （ ）

（注）・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。